MAKE JUST ONE

名古屋芸術大学　大学案内 2021

Nagoya University Of The Arts

Department of Child Development
子ども発達学科

Music Division
音楽領域

Art Division
美術領域

Arts and Liberal Arts Division
芸術教養領域

Performing Arts Production and Management Division
舞台芸術領域

Design Division
デザイン領域

自分だけの「道」をつくる場所

かつて、今ほど複雑多様で変化の多い時代はありませんでした。
どんなふうに、どこへ向かって、どのように生きていけばいいのか。
今私たちは、正解のない時代を生きています。
言い換えれば、すでにある「道」を歩むのではなく、
一人ひとりが自分の頭で考え、学び、行動していくことで、
もう一度新しく「道」をつくっていく時代であるということ。

名古屋芸術大学は、あなただけの「道」をつくる場所です。
専門性を深め、領域を越え、様々な人に出会う4年間。
ここにはいくつもの選択肢、いくつもの「道」が存在しています。
たくさん迷い、たくさん経験しましょう。
人生の幅を広げ、軌道修正を重ねながら、
歩むべき方向を見つけましょう。
そして誰のものでもない、
あなただけの「道」をつくり出してください。

特徴

1

専門性を高める現場に根ざした学び

POINT

01

広い視野のもと、一人ひとりが持っている感性を生かす

名古屋芸大が大切にしているのは「学生の感性を生かす」こと。まずは先入観を取り払い、視野を広げるために、1年次は特定の分野だけでなく、幅広い学びの選択肢を用意しています。様々な学びと体験を経て、自分の感性が何に惹かれるのかを知ることが重要です。そして、一人ひとりの個性や適性、成長に合わせて、将来の目標達成のサポートをしていきます。

POINT

02

なりたい姿を明確にし、段階的な学びで確実に成長する

入学時は皆、きっかけもこれまで歩んできた道も様々です。名古屋芸大では誰もが段階的に学びを身につけられるよう、学びのステップがデザインされています。また豊富にある実践や発表の場は、自分と向き合い、自分を磨く貴重な機会になります。なりたい姿を明確にし、確実にそこに近づいていくカリキュラムが用意されています。

POINT

03

現場の中で専門性を高め、自分の言葉で語れるようになる

専門性を高めるために重視しているのは、学内外問わない「現場」での学び。地域や企業と連携したり、学科・領域を横断したプロジェクトに取り組んだりと、多様な人々と関わりながら、現場での実践を繰り返します。リサーチや企画、制作から運営までを一貫して自分たちで行うことで、知識と理論を経験に変え、自分の言葉で語れるようになります。

特徴

2

視野を広げるための横断的な学び

POINT

04

情報を集めるだけでなく、自分で問いを見つける力を養う

表現し、人に伝えるためには、インプットだけでなく集めた情報をどう解釈するかという「自分だけの視点」も必要です。その力を身につけるため、身近な場所で「問い」を探したり、第一線で活躍するゲストを招いて話を伺うなど、幅広い視野を身につけ、問いを見つける力を養うための機会を多く設けています。

POINT

05

いくつもの価値基準の中で、結果だけでなくプロセスも大切にする

結果にフォーカスしがちな現代社会ですが、名古屋芸大ではプロセスを重要視しています。考える力、文脈を生み出す力、表現の深みなどは、結果に至るまでのプロセスの中で養われるからです。学内外での様々な取り組みを通じて、「上手・下手」「成功・失敗」だけでなく、いくつもの価値基準の中でプロセスを踏む経験を積み上げます。

POINT

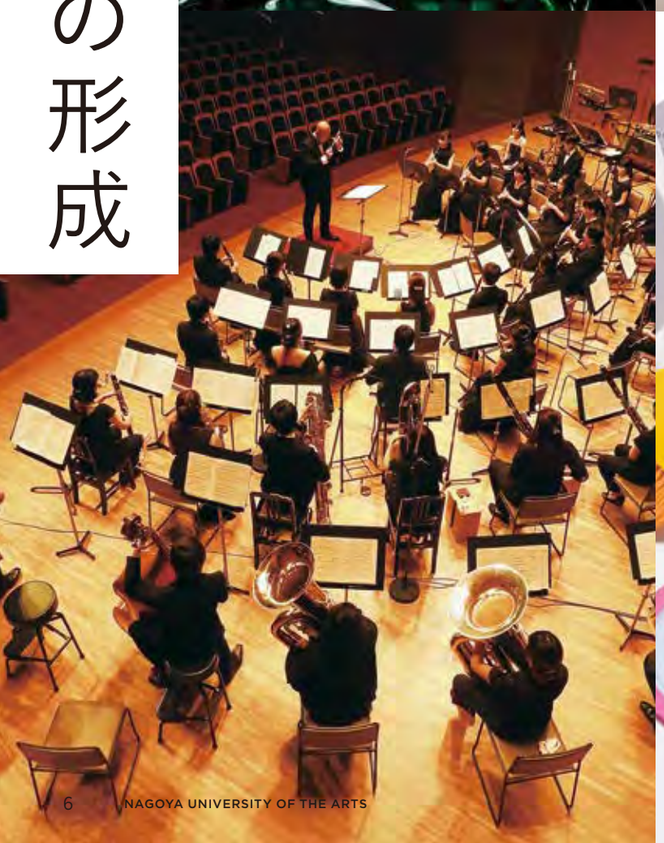
06

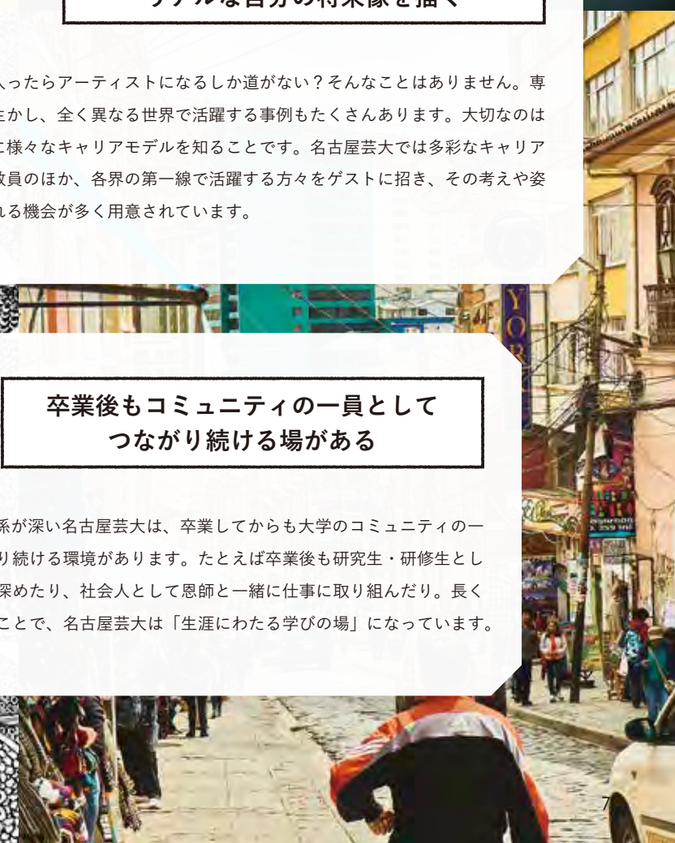
社会で生きる「コミュニケーション」としての芸術を追求する

名古屋芸大が目指すのは「自己表現」だけにとどまらない「コミュニケーション」としての芸術です。芸術を通して「人と人をつなげる」可能性を追求するからこそ、卒業後に活躍できるフィールドは広く、多くの卒業生が芸術という枠を越えて、社会の様々な場所で活躍しています。

特徴

3 多彩なキャリアの形成





POINT

07 多様なキャリアモデルを知り、リアルな自分の将来像を描く

芸大に入ったらアーティストになるしか道がない？そんなことはありません。専門性を生かし、全く異なる世界で活躍する事例もたくさんあります。大切なのは在学中に様々なキャリアモデルを知ることです。名古屋芸大では多彩なキャリアを持つ教員のほか、各界の第一線で活躍する方々をゲストに招き、その考えや姿勢に触れる機会が多く用意されています。

POINT

08 卒業後もコミュニティの一員としてつながり続ける場がある

OB・OGとの関係が深い名古屋芸大は、卒業してからも大学のコミュニティの一員としてつながり続ける環境があります。たとえば卒業後も研究生・研修生として自身の学びを深めたり、社会人として恩師と一緒に仕事に取り組んだり。長くつながり続けることで、名古屋芸大は「生涯にわたる学びの場」になっています。

特徴

4 各分野の第一線で活躍する多彩な教員

POINT

09 時代の変化に合わせて、学びの内容が進化する

名古屋芸大は時代とともに学びの内容を進化させています。それは、多くの教員が各分野のシーンに精通し、時代のトレンドを敏感にキャッチしているからこそできること。大学全体で時代の動向や社会のニーズを捉え、教育内容を常に精査し、ブラッシュアップし続けています。

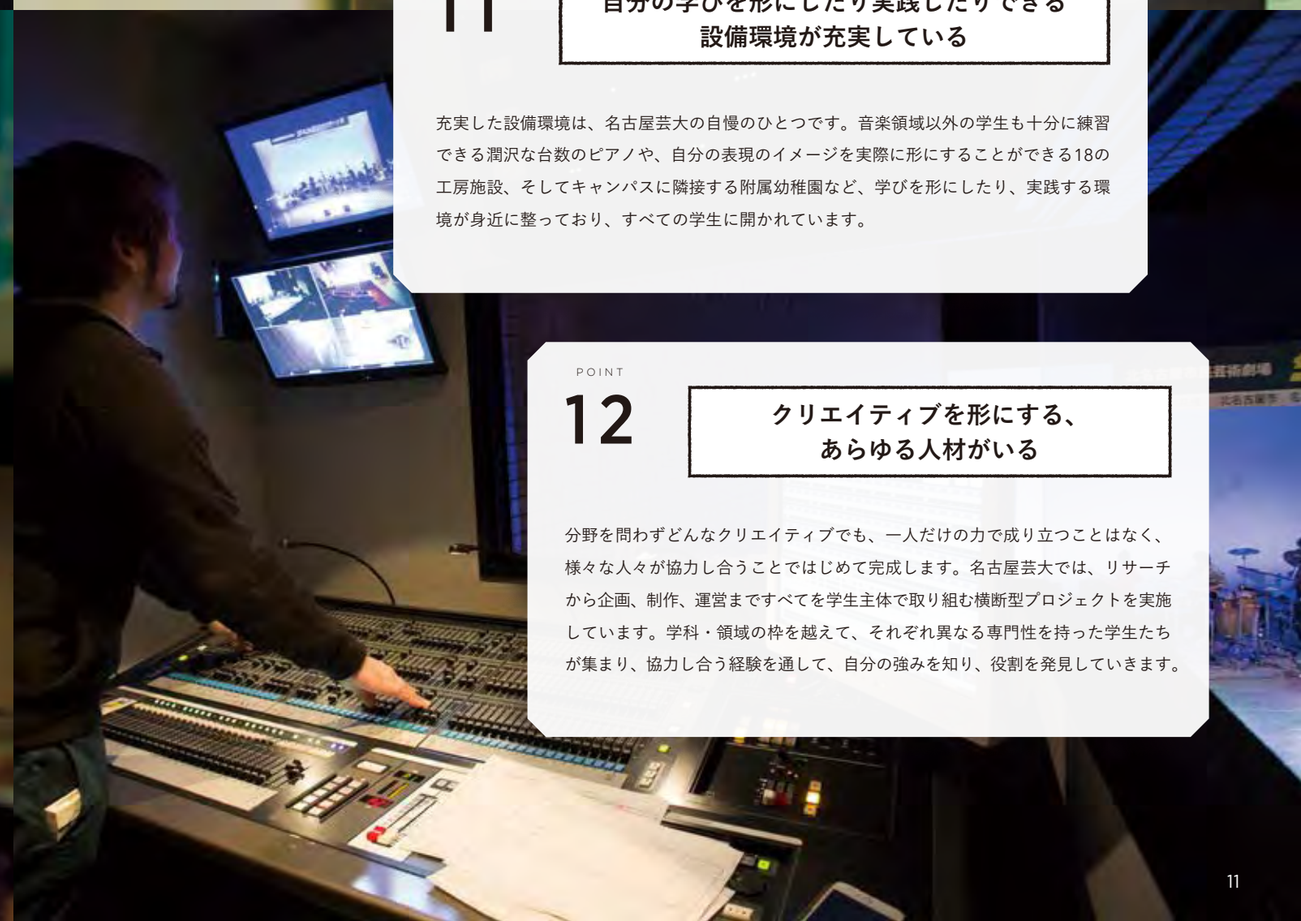
POINT

10 第一線で活躍するプロフェッショナルから指導を受けられる

「何を学ぶのか」と同じくらいに重要なのが「誰に学ぶのか」ということ。名古屋芸大の教員には各分野の第一線で活躍する者が多数おり、学生にとっては最も身近な将来のモデルにもなっています。また、学びは学内に留まらず、学外の企業やアーティスト、卒業生などとも積極的に連携し、一流の指導を受けられる環境が整っています。

特徴

5 キャンパスの特徴



POINT 11

自分の学びを形にしたり実践したりできる設備環境が充実している

充実した設備環境は、名古屋芸大の自慢のひとつです。音楽領域以外の学生も十分に練習できる潤沢な台数のピアノや、自分の表現のイメージを実際に形にすることができる18の工房施設、そしてキャンパスに隣接する附属幼稚園など、学びを形にしたり、実践する環境が身近に整っており、すべての学生に開かれています。

POINT 12

クリエイティブを形にする、あらゆる人材がいる

分野を問わずどんなクリエイティブでも、一人だけの力で成り立つことはなく、様々な人々が協力し合うことではじめて完成します。名古屋芸大では、リサーチから企画、制作、運営まですべてを学生主体で取り組む横断型プロジェクトを実施しています。学科・領域の枠を越えて、それぞれ異なる専門性を持った学生たちが集まり、協力し合う経験を通して、自分の強みを知り、役割を発見していきます。

特徴

6 地域との関係

POINT

13

地域との信頼関係のもと、社会で学びを実践する

名古屋芸大はこれまでに、地元の愛知県北名古屋市など近隣地域と強い信頼関係を築いてきました。そのためリサーチや実習では地元の積極的な協力が得られ、連携した取り組みも数多く行われています。芸術面をはじめ地域への様々な貢献活動を通して、自分たちの学びが社会に生かされている手応えを実感することができます。

POINT

14

人間力を身につけ、社会の一員として自らの個性を探求できる

社会には芸術と関係しない仕事はありません。逆に言えば、社会と関係しない芸術もまたないのです。名古屋芸大では「芸術＝人間力」と考え、一人ひとりの「人間」を地域社会とともに育てる教育を行っています。その中で学生は、社会の一員としてどのように個性を発揮していくべきかの答えを見つけていきます。

BORDERLESS

Borderless Education

ボーダレス エデュケーション

あなただけの「道」をつくる、名古屋芸術大学の学び

複雑で多様性にあふれ、変化の多い今の時代において、
これからの私たちに必要とされるのは、

本質を見極める力
道を切り拓く力
時代に寄り添う柔軟性
そして、
自分の言葉を持つこと
と考えます。

正解のないこの時代、
自分だけの「道」をつくり出していくために、
様々な選択肢と可能性に触れながら、
旧来の縛りや境界線を新しい発想で越えていく
「ボーダレス」という考え方。

専門性を磨きながら、学部・領域を越えて幅広く学べる
ボーダレスなカリキュラムで
異なる分野や未知の領域に触れていったその先には、
きっと、いくつもの「道」が拓かれています。

名古屋芸術大学のボーダレスな学びで、
あなただけの「道」を歩んでください。

EDUCATION

名古屋芸術大学　学部構成

人間発達学部
School of Human Development

子ども発達学科
Department of Child Development

- 保育・幼児教育コース
- 学校教育コース
- 発達・福祉コース
- 子ども芸術コース

芸術学部
School of the Arts

芸術学科
Department of the Arts

音楽領域
Music Division

- 声楽コース
- 鍵盤楽器コース（ピアノ・電子オルガン）
- 弦管打コース
- ウインドアカデミーコース
- ポップス・ロック＆パフォーマンスコース
- ワールドミュージック・カルチャーコース
- ミュージカルコース
- ダンスパフォーマンスコース
- 声優アクティングコース
- サウンドメディア・コンポジションコース
- ミュージックエンターテインメント・ディレクションコース ＊2021年度コース名称変更
- 音楽ケアデザインコース
- 音楽総合コース

2021年度 New

舞台芸術領域
Performing Arts Production and Management Division

- 舞台美術コース
- 演出空間コース
- 舞台プロデュースコース

美術領域
Art Division

- 日本画コース
- 洋画コース
- 現代アートコース 2021年度NEW
- コミュニケーションアートコース 2021年度NEW
- 工芸コース 2021年度NEW
- 美術総合コース 2021年度NEW

デザイン領域
Design Division

- ヴィジュアルデザインコース
- イラストレーションコース
- 先端メディア表現コース 2021年度NEW
- メディアコミュニケーションデザインコース
- ライフスタイルデザインコース
- スペースデザインコース
- インダストリアル＆セラミックデザインコース
- カーデザインコース
- メタル＆ジュエリーデザインコース
- テキスタイルデザインコース
- 文芸・ライティングコース

芸術教養領域
Arts and Liberal Arts Division

- リベラルアーツコース

Interview

卒業生インタビュー

幼稚園教諭 / ミュージシャン

認定こども園 森のくまっこ（名古屋芸大グループ園）
THE BOY MEETS GIRLS
Vocal&Guitar, Keyboard

髙島 大輔
Daisuke Takashima

幼稚園の先生もミュージシャンも、どちらも全力100%

ずっとなりたかった幼稚園の先生と、憧れていたミュージシャン。そのどちらも叶えたい。そんな僕の欲張りな夢が、叶いました。幼稚園教諭の免許取得を目指して入学した名古屋芸大。子ども発達学科に所属しながら音楽領域の学生と交流したり、先輩とバンドを組んで芸大祭で演奏したりと、まさに勉強と音楽活動どちらも充実した大学時代だったと思います。卒業後、園で働きだすと同時に、同じ学科の仲間と組んだバンドが、僕がボーカル・ギター・キーボードを担当する「THE BOY MEETS GIRLS（ザボーイミーツガールズ）」です。現在は幼稚園教諭として勤務しつつ、バンド活動を並行させています。子どもたちと向き合う中で日々感じているのは「子どもを信頼することの大切さ」。先生だからといって何でもしてあげるのではなく、本人が成長できるように自分自身で考えさせ、いざという時にサポートするのが自分の役目だと思っています。「誰も一人ぼっちにしない音楽」がボーイミーツのテーマ。メンバー4人とも子どもが好きだということ、他のバンドがやらないことをやろうとの思いから、2018年にはバンド史上初！「幼稚園・保育園ツアー」を開催しました。子どもを対象にライブをするとなると、「曲の振付をMCでわかりやすく伝える」「知らない曲でも楽しんでもらえるように工夫する」など気を付けなければいけないこともたくさんあります。しかし、自分たちの曲で子どもたちが「楽しい!」と感じ、夢中になって踊ってくれるのを見ると、たまらなく嬉しいです。好きなことを続けるのは、難しいことかもしれません。僕の場合は好きなことが2つありましたが、それらを大事にしてきたことで今の自分があると思っています。「幼稚園の先生」と「ミュージシャン」、どちらも100%全力で楽しめている今を嬉しく思います。将来は大きな規模で「子ども限定ライブ」をするのが夢です。子どもから大人まで楽しめる音楽を、これからもつくり続けていきます。

◀ 幼稚園・保育園ツアー
名古屋芸術大学附属クリエ幼稚園でのライブの様子

PROFILE
名古屋芸大では人間発達学部子ども発達学科に所属し、幼稚園教諭・保育士の免許・資格を取得。2012年卒業。現在は幼稚園教諭とロックバンド「THE BOY MEETS GIRLS」のギターボーカルを両立している。2018年にはバンド初となるフルアルバム「HITCH HIKE」をリリース。ポップなサウンドとユニークな歌詞で音楽ファンを魅了し、様々なライブや音楽フェスにも出演中。

CMFデザイナー

マツダ株式会社

寺島 佑紀

Yuki Terashima

大学時代から変わらない、色と素材へのこだわり

CMFとはColor, Material, Finishの頭文字。色と素材のデザイナーです。自分の選択したものが直接自動車に反映される、やりがいの大きな仕事をしています。大学時代は、テキスタイルデザインコースで有松絞や草木染に熱中していました。染めた色がとにかく綺麗で、自分の思い通りにならないところがおもしろかったです。染めの材料は、山で拾った栗や食堂でもらった玉ねぎの皮。京都まで染料を買いに行ったこともありました。自動車業界を知ったきっかけは、カーデザインコースの先生にすすめられて行った講演会。初めて「自動車のカラーデザイナー」という職業があることを知りました。そこから興味を持ちインターンに参加し、この業界に入ろうと決めました。

今は、CMFデザイナーとして自動車の内装の色と素材のデザイン、コーディネートをしています。この仕事はカスタマーのイメージを構築していく「プランニング」の領域も含んでいるのが特徴。カスタマー像をしっかりと捉えられるように心がけてやっているのは、感性を磨くことです。たとえば、様々な分野の雑誌を読んだり、美術館や展示会に行ったりと、いろいろなものを見て感性を磨き、カスタマーを想定したどんな商品づくりにも対応できるようにしています。

カーデザインの現場では、ひとりで製品化することはできません。アイデアをできるだけ早く具現化して、やりたいことを共有することが必須スキル。どんなにうまく説明できても、やりたいことが具現化されていないとGOサインは出ません。様々な工房を利用できることで、自分の作りたいものを具現化しやすい環境があった名古屋芸大。そこでの経験が、今の仕事に生きていると感じています。

現在は内装を担当することが多いですが、コンセプトからモデルまで自分のアイデアでできたらデザイナーとして最高だと思っています。また、少し余裕ができたらひとりで工房に篭って、大学時代にはまった染めの作品制作を、自由にやってみたいです。

PROFILE

名古屋芸大ではデザイン学部デザイン学科テキスタイルデザインコース（現・デザイン領域テキスタイルデザインコース）に所属し、有松絞や草木染で手づくりの作品を制作。現在はマツダ株式会社のCMFデザイナーとしてCX-3の初代特別仕様車と現行のCX-3の商品改良の内装を担当。2015年卒業。

「クラリネットを続けたい」という思いが今の自分をつくっている

「クラリネットを続けていきたい」。私はこの一心で進路を考えていました。自分が将来音楽の道に進むのではないかと感じていたのは、ピアノを習っていた小学生の頃。中学でクラリネットに出合ってからはさらに音楽にのめり込み、高校、大学と続けていきました。大学で取り組んだのは、毎週のレッスン、合奏の授業に向けての練習、たくさんの演奏会。ソロだけでなく、室内楽や吹奏楽、オーケストラなども経験し、まさに音楽漬けの日々でした。

今は陸上自衛隊西部方面音楽隊に所属し、演奏会や儀式、隊員の激励の場などで演奏を行っています。時には吹奏楽部の学生を対象に、パートごとにレッスンを行うこともある、幅の広い仕事です。もちろん有事に備えた野外での訓練や射撃訓練、体づくりなど、自衛官としての仕事もあるため、その分演奏をしているときには、人一倍楽しさを感じています。仕事として楽器の訓練をすることで、自分をレベルアップできるという部分が、音楽隊の大きな魅力だと思っています。

音楽隊の演奏は、年間80〜120回。多くの演奏の場があることが特徴です。コンサートホールで演奏することもあれば、屋外のパレードで演奏することもあります。突発的に演奏する機会が発生することも多々あるため、いつでも演奏できるコンディションに整えておくことが重要です。音楽に「完璧」は存在しないので、常に追求していかなければなりません。その時々で自分のベストを尽くし、お客様から拍手を頂いたときには、なんともいえないやりがいと喜びを感じます。それこそが、音楽を続けていてよかったと心から思う瞬間です。学生時代に、自分が納得できるまで音楽を追求できる環境があったことが、今の充実した自分をつくっているのだと思います。これからは、お客様の心に響くような演奏のできるプレイヤーになれるよう、もっと腕を磨いていきたいです。

PROFILE

音楽学部弦管打コース（現・音楽領域弦管打コース）を2015年に首席で卒業。理事長賞受賞。同大学院音楽研究科修了。学長賞受賞。大学同窓会よりゴールデンプライズ受賞。同大学主催のコンチェルトの夕べ、卒業演奏会、新人演奏会に出演。第15回ヤマハ管楽器新人演奏会、第85回読売新人演奏会に出演。クラリネットを竹内雅一氏に師事。

陸上自衛隊

西部方面音楽隊

丹羽 夏望

Natsumi Niwa

立体造形作家

植田 明志
Akishi Ueda

ファンタジーという名の日常を創造する

やりたいことを突き詰めた結果、今の自分がある。僕はそう思っています。美術系の科のある高校に通っているときから、彫刻や粘土での制作に取り組んでいましたが、その一方で僕にはイラストレーターになりたいという夢がありました。名古屋芸大に入学してからもイラストの勉強をしていましたが、粘土の自由制作に一番楽しさを感じていたということもあり、今まで触ってきた粘土でやっていこうと決心。僕は、働くよりも作品を作ることで社会に貢献することが自分の性に合うとわかっていたので、作家としてやっていくことに迷いはありませんでした。今は主に粘土を使用した、「少年性と記憶と夢」がテーマのファンタジーな立体造形作品を制作しています。ファンタジー作品を作るようになったのは、日常がつまらなかったから。ファンタジーの世界は日常がなければ成り立ちません。日常が光だとすれば、ファンタジーは影。でも、見方を変えればファンタジー世界のファンタジーは日常なわけです。ファンタジーを作ることは、日常を作ることでもあり、そこがファンタジー作品の魅力だと思っています。制作期間は1つの作品で約1ヶ月。個展を開くとなると、準備に半年〜1年かかりますが、ギャラリーにたくさんのお客様が見に来てくださっているのを見ているときが一番幸せだと感じます。最近では、ギャラリーからの提案でクラウドファンディングを行って作品集を作ることもでき、手ごたえを感じました。
僕は作家としてやっていこうと早々に決めていたので、名古屋芸大時代には授業以外の時間で自主制作に注力。自主制作を先生に提出するとしっかり見てもらえて、自分のやりたいことを後押ししてくれたので、熱中して取り組むことができました。「やりたいことをやり続ける」というのが僕の夢なので、これからも日々作品を生み出していきたいと思っています。

PROFILE
名古屋芸大では美術学部美術学科アートクリエイターコース（2021年4月から美術領域コミュニケーションアートコース）に所属し、主に粘土や樹脂を使った作品を制作。現在はフリーの立体造形作家として独特の世界観を持つ作品を生み出し、企画展への参加や個展を開催するなど、精力的に活動中。2014年卒業。

保育士

社会福祉法人照光会 照光愛育園

坂口 瑠菜
Runa Sakaguchi

子どもたちの笑顔が何よりのやりがい

児童養護施設への就職を考えたのは、授業で施設のことを知った大学3年生の頃。4年生で実習へ行き、気持ちが固まりました。施設には、保護者のいない児童や虐待を受けた児童などが入所しています。子どもたちと接する際、何よりも気を付けているのは「寂しい思いをさせない」こと。子ども一人ひとりの個性を見ながら声かけをし、信頼関係をつくっています。自分の指導で子どもたちが成長し、半期で立てた目標を達成できるよう、自分に何ができるのかを考える毎日です。私はもともと保育士を目指していましたが、名古屋芸大では保育士・幼稚園教諭・小学校教諭の3つの免許・資格、すべてに挑戦し取得しました。大変ではありましたが、様々な実習を経験する中で、やりたい仕事を決められたのではないかと思います。これからもっと子どもたちに頼られる存在となって、子どもたちの笑顔を増やしていきたいです。

PROFILE
保育士を目指し、名古屋芸大に入学。4年間で、保育士資格・幼稚園教諭1種免許状・小学校教諭1種免許状の3つの免許・資格を取得し、社会福祉法人照光会 照光愛育園へ就職。現在は幼児を担当し、日中の読み聞かせ・手遊びなどから就寝まで生活指導を行う。人間発達学部子ども発達学科2018年卒業。

イラストレーター

株式会社Cygames

赤堀 公美
Kumi Akahori

「モンスターなら赤堀に」と言われたい

「モンスターを描きたい」という理由で入ったこの業界。ゲームに登場するモンスターのヴィジュアルを担当し、その動きや生態などをチームで話し合って決めています。もともとイラストを描くことが好きで、その中でもモンスターを描くのが特に好きだった自分。大学時代にはセラミックやインダストリアルデザインを学んでいましたが、将来を考えたとき「本当にやりたいことをやろう」と決意しイラストレーターの道に進みました。仕事をする上で心がけている「見た人が一瞬でわかるデザインをすること」は、学んだインダストリアルデザインと通じるところがあります。ゲームユーザーが違和感なく楽しめるデザインをするようにしています。なかなか注目されないモンスターという存在だからこそ、ユーザーに興味を持ってもらえたときの喜びもひとしお。「モンスターなら赤堀に」と頼られる存在になっていきたいです。

PROFILE
在学中には主にセラミックを用いた製品づくりに注力し、卒業制作では急須を制作。現在は株式会社Cygamesでゲームに登場するモンスターのデザインを担当している。デザイン学部デザイン学科インダストリアル＆セラミックデザインコース（現・デザイン領域インダストリアル＆セラミックデザインコース）2017年卒業。

音楽療法士

本町クリニック・服部神経内科

中島 千尋
Chihiro Nakajima

音楽を通して コミュニケーションを取ることが私のやりがい。

音楽療法士は音楽を介して相手と顔を向き合わせる仕事。歌や楽器を用いた音楽療法のプログラムをつくって実施し、例えば発達障害を持つお子さんや認知症などを患う方の症状の改善を試みる仕事です。学生時代はバンドを組んで音楽活動をしていましたが、将来はプレイヤーとお客様ではなく音楽を通して相手と関係を築くような仕事がしたいと思い、音楽療法士になりました。今の職場は高齢の患者様が多いので、その方々になじみのある曲を覚えるのも仕事の一つ。音楽療法のセッションに参加されている患者様はそれぞれ症状が違うので、一人ひとりに気を配って声掛けをするように意識しています。近年、医療や福祉の現場から、音楽療法への期待も徐々に高まってきています。私自身も定期的に学会に参加し、成果を発表するよう心がけているので、音楽療法がどんどん広がればと思っています。これからも音楽療法士として患者様を元気づけていきたいです。

PROFILE

名古屋芸大では音楽学部音楽文化創造学科音楽療法コース（現・音楽領域音楽ケアデザインコース）に所属。コピーバンドでドラムをつとめるなど、授業以外でも音楽に多くふれてきた。現在は、在学中に取得したヘルパーの資格も生かし、本町クリニック・服部神経内科にて音楽療法士として活躍している。2015年卒業。社団法人日本音楽療法学会認定音楽療法士。

努力を努力だと感じないほど、夢中になれるものが見つかった。

僕が会社を立ち上げ、日本初のフリマアプリ「Fril」を開発したのは2012年のこと。様々な会社でWebデザイナーとして働くうちに、すぐに利用者の反応がわかるWebサービスのおもしろさに気づき、のめり込んでいきました。自らの手で「世の中に変化を生むものをつくりたい」との思いから起業。できたのが「Fril」でした。名古屋芸大時代には、授業でゲームや映像、立体や平面の制作をしてきましたし、授業以外でもギターや舞台に取り組んできました。そうやって幅広い課題や活動に挑戦していく中で、自分の好きなことや得意なことを発見していったのだと思います。自分の「好き」かつ「得意」を見つけること。努力を努力だと感じないほど夢中になれることを見つけた人は、楽しみながら成長していけます。今後も世の中を変える新しいサービスを考え続け、今までを超えるヒットを出すことが僕の夢です。

PROFILE

元株式会社 Fablic 取締役 共同創業者／デザイナー／エンジェル投資家。1984年生まれ。デザイン学部デザイン学科造形実験コース（2021年4月からデザイン領域先端メディア表現コース）卒。2007年に株式会社ECナビ（現・VOYAGEGROUP）に入社。新規事業のデザイナーとして、サービスの立ち上げ・グロースに携わる。2010年に株式会社ライブドアに入社し、新規サービスのディレクターを経験。2012年に株式会社Fablicを設立し、日本初のフリマアプリ「フリル」をリリース。2016年にFablic社を楽天に売却、2018年に「ラクマ」との統合を完了。現在は退任しエンジェル投資を通じて後進のスタートアップを育成しながら、新規サービスでの起業準備中。ユーザーファーストなものづくりと、それを追求できる組織づくりが仕事のテーマ。

デザイナー／起業家

takejune

洋食器デザイナー

鳴海製陶株式会社

水野 愛弓
Ayumi Mizuno

食器は使われて 初めてデザインが完成する。

食器は使われる場所や文化、歴史と密接に結びついているため、そのモノ自体に存在理由が生じます。私はそういった環境で生まれたモノに興味があり、学生時代には日本画の中でも屏風や掛け軸に着目して制作していました。その経験を生かし、伊勢志摩の景色を下絵からデザインしたこともあります。また、平面ではなく立体である食器のデザインをするうえで、授業で学んだ構図力も生かされていると感じています。仕事で一番やりがいを感じるのは、現場の環境になじむ食器のデザインができたとき。現場で使われているところを見ると、この仕事に就いてよかったと感じます。幼い頃から好きだった「絵を描くこと」を仕事にできたのも、本当に幸せなことだと実感しています。これは、好きなことに熱中できる名古屋芸大の環境があったからこそ。これからも、「絵を描くこと」を自分の生活の一部にして、ずっと続けていけたらと思っています。

PROFILE

名古屋芸大では美術学部絵画科日本画コース（現・美術領域日本画コース）に所属し、卒業制作では屏風を制作。「絵を描く仕事に就きたい」という思いから鳴海製陶株式会社に入社し、洋食器デザイナーとしてパターンや絵の原画制作を行っている。2011年卒業。

子どもたちの「わかった！」が何よりもうれしい。

小学校教員は、授業はもちろん子どもとの関わり方など、様々なことに目を向けなければいけない大変な仕事。でも子どもたちと過ごすことが本当に楽しいので、大変なことも大変だと思いません。子どもたちが僕の授業を受けて「わかった!」と言ってくれるのが本当にうれしいんです。今感じているのは、学生時代に受けていた、校長先生を経験された方をはじめ教育のプロフェッショナルによる授業が、本当に素晴らしい機会だったということ。社会に出て自分で授業をするようになって、あらためて実感しています。最近僕が心がけているのは、子どもたちにたくさん話をさせること。コミュニケーションの基本である「話すこと」を今のうちに身につけてほしいからです。あとは箸・茶碗の持ち方や、やるときはやるということの大切さなど、大人になるために必要なこともしっかりと伝えながら、子どもたちの成長を見守っていきたいです。

PROFILE

2007年人間発達学部子ども発達学科1期生として入学し、2011年卒業。卒業後は愛知県弥富市内の小学校に常勤講師として着任、2012年教員採用試験合格。OBそして現役小学校教員として、教員志望の学生を対象にした教員採用試験の勉強会を企画するなど、後進の育成にも尽力している。人間発達学部同窓会初代会長。

小学校教諭

愛西市立西川端小学校

菅野 謙一
Kenichi Sugano

2 名古屋芸術大学の特徴

14 名古屋芸術大学の学び
「ボーダレス エデュケーション」

15 学部構成

16 卒業生インタビュー

24 目次

26 PICK UP NEWS 2020-2021

学科・領域の紹介

人間発達学部

30 子ども発達学科

芸術学部・芸術学科

46 音楽領域

52 声楽コース

54 鍵盤楽器コース（ピアノ）

56 鍵盤楽器コース（電子オルガン）

58 弦管打コース

60 ウインドアカデミーコース

62 ポップス・ロック＆パフォーマンスコース

64 ワールドミュージック・カルチャーコース

66 ミュージカルコース

68 ダンスパフォーマンスコース

70 声優アクティングコース

72 サウンドメディア・コンポジションコース

74 ミュージックエンターテインメント・ディレクションコース

76 音楽ケアデザインコース

78 音楽総合コース

80 舞台芸術領域

84 美術領域

90 日本画コース

92 洋画コース

94 現代アートコース

96 コミュニケーションアートコース

98 工芸コース

100 美術総合コース

102 デザイン領域

108 ヴィジュアルデザインコース

110 イラストレーションコース

112 先端メディア表現コース

114 メディアコミュニケーションデザインコース

116 ライフスタイルデザインコース

118 インダストリアル＆セラミックデザインコース

120 カーデザインコース

122 スペースデザインコース

124 メタル＆ジュエリーデザインコース

126 テキスタイルデザインコース

128 文芸・ライティングコース

130 芸術教養領域

学びの仕組み

143 学長メッセージ

144 グローバル人材育成プログラム
（Worldea）

145 学内連携プロジェクト

146 産学官連携・社会貢献

148 国際交流

150 キャリア教育

151 就職活動支援／
取得できる免許・資格

152 大学院

153 奨学金・学生支援

キャンパス紹介

154 EAST CAMPUS

158 WEST CAMPUS

162 クラブ紹介

164 名古屋芸術大学の歴史

165 アクセス

PICK UP NEWS 2020-2021

PICK UP NEWS

「舞台芸術領域」の詳しい説明は、P.80へ!

2021年4月、芸術学部に「舞台芸術領域」新設

舞台に立つだけが、舞台芸術のぜんぶじゃない

2021年4月、芸術学部芸術学科に、東海地区では初となる、舞台制作を専門的に学ぶ領域が開設されます。本領域は、音楽や演劇、舞踊といった「舞台芸術」全般について幅広く学び、次世代の舞台制作を担う専門家の養成を目指します。

舞台芸術領域の3つの専門コース

舞台美術コース	演出空間コース	舞台プロデュースコース
大道具・小道具の製作から劇場での仕込みまで舞台美術に関するスキルを学ぶ。	音響と照明を総合的に学び、空間デザインにおける実践力を育む。	企画・立案や演出・キャスティング等、舞台プランニングとともにビジネススキルを養う。

PICK UP NEWS

2020年10月中旬、東キャンパスに『交流テラス』が誕生!

2020年度に名古屋芸大が開学50周年を迎えることを記念し、東キャンパスに「交流テラス」が誕生します。キャンパス内の各建物が回廊でつながり、より利用しやすく、より開放的なキャンパス空間へ。そのほか作品展示や演奏会といった様々な用途で利用できるギャラリースペースやカフェコーナーが設けられるなど、学部や領域を越えた幅広い交流が生まれます。

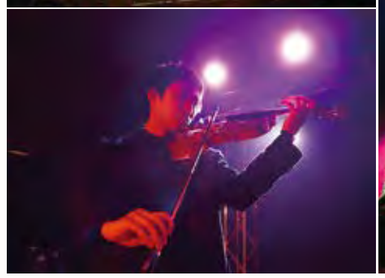
PICK UP NEWS

「ワールドミュージック・カルチャーコース」の詳しい説明は、P.64へ!

2020年4月、音楽領域「ワールドミュージック・カルチャーコース」開設

グローバルな視点で、新時代の音楽を創る

芸術学部芸術学科 音楽領域では、2020年4月から東海地区で初となる、民族音楽とその文化を専門的に学ぶ「ワールドミュージック・カルチャーコース」がスタート。民族音楽の演奏技術を習得しながら、その音楽と文化的背景への理解を深めていきます。さらに録音・音響といった音楽制作スキルの習得や、ロックや邦楽など多彩なジャンルとのコラボレーションなど、これからの時代の音楽のあり方を探求します。



PICK UP NEWS

2020年度『認定絵本士養成講座』がスタート!

保育士、幼稚園、小学校の免許・資格に「+α」の強みを持とう

人間発達学部子ども発達学科では、2020年度から、愛知県初の認定校として『認定絵本士養成講座』がスタート。「認定絵本士」とは、絵本に関する幅広い知識や技能を生かし、活躍する専門資格。子どもたちに絵本の魅力や可能性を伝え、読書活動を推進する役割を担います。芸術大学ならではの創造性あふれる環境を生かして、子どもたちの気持ちを汲み取れる「感性」を兼ね備えた認定絵本士を養成します。

「子ども発達学科」の詳しい説明は、P.30へ!

PICK UP NEWS 2020-2021

「美術領域」の詳しい紹介は、P.84へ！

PICK UP NEWS

2021年4月、美術領域が生まれ変わる！

① 自分だけの表現方法を探求する —「美術総合コース」誕生

美術総合コースは、自分の興味や目指す道に応じて、複数ある専門コースの中から学びたい分野を自由に選択できるコースです。多彩な表現方法や考え方を身につけながら、将来の進路や自分のやりたいことを探求し、自分の可能性を見出します。

② 専門コースがより充実へ— 3つのコースがスタート！

・「現代アートコース」
・「コミュニケーションアートコース」
・「工芸コース」

③ 体験型の共通カリキュラム —「アート・ファンデーション」導入

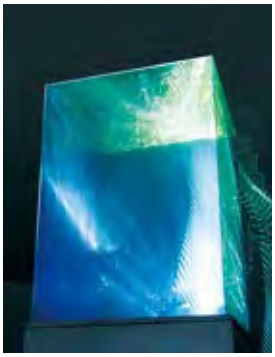
ファンデーションでは、自分が専門に学ぶ分野だけでなく、絵画、彫刻、工芸、版画といったアートの様々な分野を幅広く体験します。1年次から多様な素材や技法に触れて、基礎的な造形力と知識を養うことで、アートへの視野と表現の可能性を拡げます。

PICK UP NEWS

2021年4月、デザイン領域に「先端メディア表現コース」が誕生

「先端メディア表現コース」の詳しい説明は、P.112へ！

「映像」「メディア」「デザイン」の3つのテクノロジーを駆使し、最先端のデザインの可能性を探求する「先端メディア表現コース」がスタート。創造的思考力を発揮させる高度な「ものづくり」のクリエイターを養成します。これにあわせて3Dプリンタやカッティングマシンといった、多様で高度な工作機械を備えた「ファブラボ」も開設予定。アナログとデジタル表現とを分け隔てなく学ぶことで、将来変化していく社会環境を柔軟に生き抜くスキルを磨きます。



超域創造プログラム「ALPS」（アルプス）が始動

「ALPS」（Applied-design Leading Programs）とは、第一線で活躍するディレクター陣のもと、専門分野、学部、大学院、学年を越えて参加できるプロジェクト型の実践的プログラムです。現代社会の様々な課題に対し、他の学問分野や企業・自治体等とも超域的に連携しながら、デザインの知と技術で立ち向かい、より良い未来の創造を目指します。またプロジェクトを通じて、次の時代に必要とされる高度なデザイン人材を養成します。

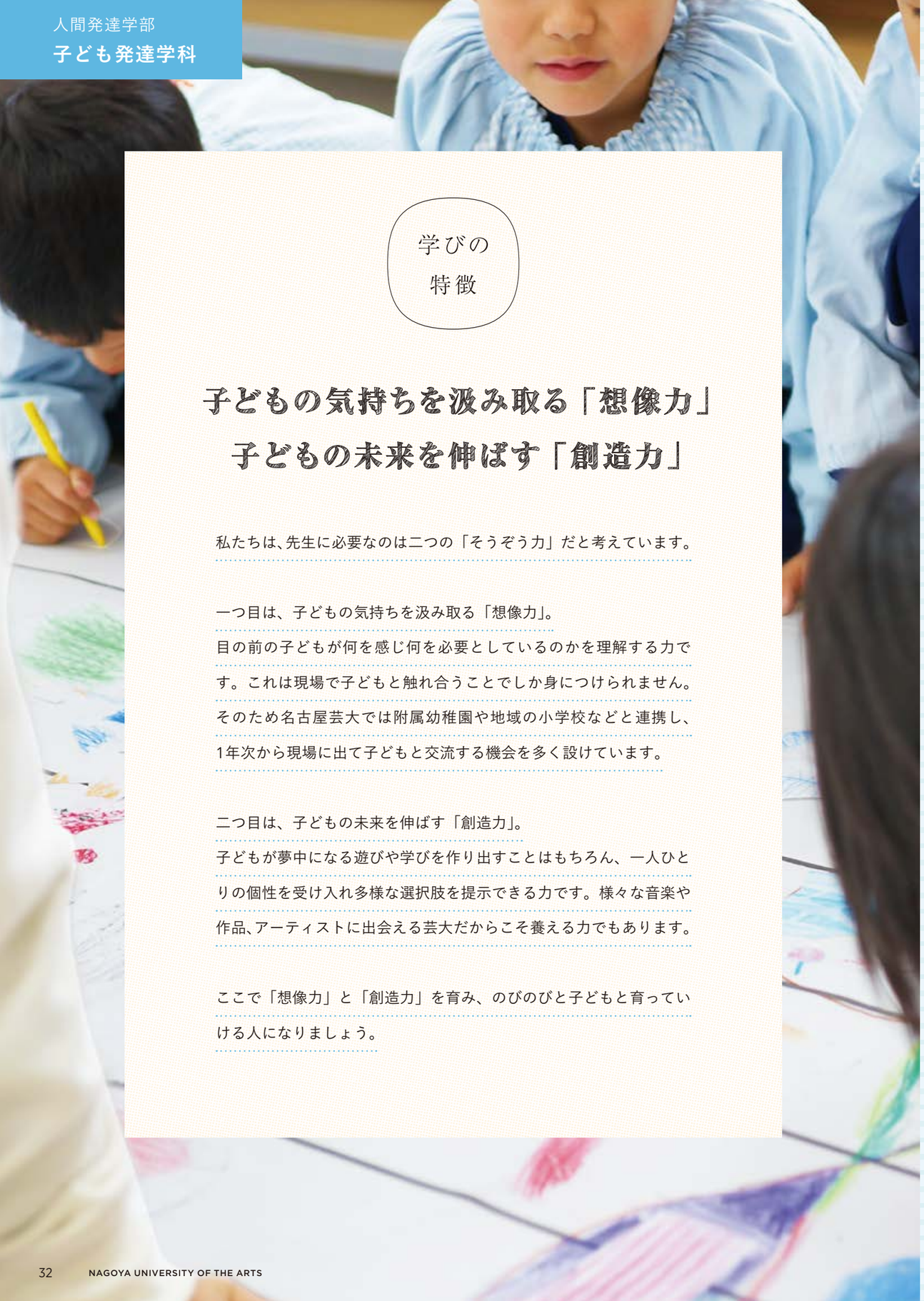
Department Division

学科・領域

子ども発達学科

人間発達学部

School of
Human Development
–
Department of
Child Development



学びの
特徴

子どもの気持ちを汲み取る「想像力」
子どもの未来を伸ばす「創造力」

私たちは、先生に必要なのは二つの「そうぞう力」だと考えています。

一つ目は、子どもの気持ちを汲み取る「想像力」。
目の前の子どもが何を感じ何を必要としているのかを理解する力です。これは現場で子どもと触れ合うことでしか身につけられません。そのため名古屋芸大では附属幼稚園や地域の小学校などと連携し、1年次から現場に出て子どもと交流する機会を多く設けています。

二つ目は、子どもの未来を伸ばす「創造力」。
子どもが夢中になる遊びや学びを作り出すことはもちろん、一人ひとりの個性を受け入れ多様な選択肢を提示できる力です。様々な音楽や作品、アーティストに出会える芸大だからこそ養える力でもあります。

ここで「想像力」と「創造力」を育み、のびのびと子どもと育っていける人になりましょう。

特徴
01

現場で子どもとふれ合う中で、子どもの気持ちを感じ取る力を培う

名古屋芸大では、現場に出て子どもと直接交流することを大切にしており、1年次からその機会を多く設けています。キャンパスに隣接する附属幼稚園、そして地域の小学校などと密に連携し、授業はもちろん、サークルやボランティア活動などを通して現場学習を多数実施。実際に現場で子どもと関わることで、保育や教育において核となる「子どもの気持ちを感じ取る力」を養っています。
また早期から現場学習を体験することは、自分の適性を知ることにも繋がります。自分がどんな先生になりたいのか、早い段階から将来を具体的にイメージできるカリキュラムで、4年間を有意義に過ごせるよう一人ひとりをサポートします。

Teacher's VOICE

鎌倉 博 准教授
Hiroshi Kamakura

本を読む（頭で理解する）ことと
同じくらい、
子どもと交流する（体で覚える）ことを
大切にしています

特徴を実現するための授業や取り組み

附属クリエ幼稚園

東キャンパスには附属クリエ幼稚園が隣接。実習のほかに、普段の授業やゼミ、ボランティア活動など、様々な場面で子どもたちと交流しており、日々の学生生活の中で、保育士・教員としての実践力が自然に身につく環境です。

豊橋市自然史博物館との連携

将来を担う子どもたちに「科学的リテラシー」を身につけてもらうことは大変重要です。名古屋芸大では豊橋市自然史博物館と包括連携協定を締結し、理科学習の場も整備しています。自然科学に関する正しい知識を身につけ奥深さを知ることで、子どもたちに楽しくわかる授業を行うことができる教員を目指します。

特徴
02

丁寧なコミュニケーションで、一人ひとりの適性に合った手厚いサポート

少人数のゼミにより、学生一人ひとりに行き届いたコミュニケーションを心掛けています。研究室は常に開かれ、オープンな場所となっており、課題や進路で悩んだときには気軽に相談できる環境。教員と学生との間でコミュニケーションを大切にしながら、個人の資質や適性に合った支援を行っています。

また普段の授業はもちろん、現場実習においても、事前準備から実習中、アフターケアまで手厚くサポートします。保育や授業の方法はもちろん、書類の添削や実習先への電話の掛け方などのマナー、手遊びやピアノなどの実技も丁寧に指導。実習後は先輩との交流会で、いろんな悩みを相談できる機会も用意。自信をつけて社会に出ていけるよう、あらゆる面からサポートしています。

Teacher's VOICE

溝口 哲夫 教授
Tetsuo Mizoguchi

名古屋芸術大学から
優秀な教育者を育てていきたい

教員採用試験対策学習会

教職を目指す学生が定期的に集まり、互いに切磋琢磨しながら、教員採用試験に向けた勉強や、面接の練習などをグループで実施しています。教職志望学生の「先生になりたい」という願いを叶えるため、子ども発達学科の教員による丁寧な指導により、学生個々に応じたサポートを行っています。

特徴を実現するための授業や取り組み

特徴
03

芸大という クリエイティブな環境で、多様性を知り創造力を養う

名古屋芸大の最大の特徴は、芸術大学であること。学内には芸術に触れられる環境が整っており、表現活動が盛んに行われています。子ども発達学科の学生も、芸術学科との横断的な授業やプロジェクトに取り組んだり、約200台あるピアノや本格設備の音楽ホールを使用できるなど、自由に表現し感性を磨く機会が用意されています。

またいろんな人や表現方法に出会い、多様な考えや生き方を理解することも大事なこと。そうした多様性を理解することで、子ども一人ひとりに適切な選択肢を示すことができるのです。子どもの個性や興味関心を大事にし、その子にしかない能力を伸ばせる豊かな感性を持った教員となるために、芸大のクリエイティブな環境を十分に活用しましょう。

Teacher's VOICE

久保 博満 准教授
Hiromitsu Kubo

芸術に触れ、自らも表現に
関わることで教育者としての
人間性・創造性・豊かさを
高められます

春を呼ぶ芸術フェスティバル、サマーコンサート

子ども発達学科の学生が芸術大学ならではの環境を生かして、芸術を表現し発表する催し。子ども発達学科の学生は、音楽や美術、デザインなどを学ぶ芸術学科の学生と同じキャンパスで過ごします。日々、創造性あふれる環境の中で自然に芸術と触れあう機会が生まれ、子どもの気持ちを汲み取る「感性」が養われます。

こまぶんフェスタ

「こまぶんフェスタ」とは、愛知県小牧市のこまき市民文化財団と名古屋芸大とが協同で開催する音楽の祭典です。学内横断型プロジェクトとして取り組まれ、学部・領域の枠を越えて多くの学生が参加。子ども発達学科の学生たちは会場内に設置された託児サービスや、子ども向けの楽器作りワークショップなどを担当し、来場したたくさんの親子連れを笑顔にしました。

特徴を実現するための授業や取り組み

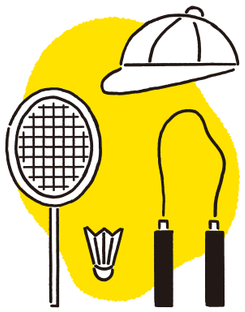
教育・保育のために、必要なスキル

ピアノの演奏

学ぶ科目
ピアノ実習

「遊び」を支える

学ぶ科目
子どもの運動あそび



子どもの体調ケア

学ぶ科目
子どもの健康と安全

保護者とのコミュニケーション

学ぶ科目
子ども家庭支援論

工作の指導

学ぶ科目
図画工作

いじめのケア

学ぶ科目
子どもの理解と援助

名古屋芸術大学では、保育士、幼稚園・小学校教諭と3つの免許・資格に対応。これらの免許・資格取得の課程を学ぶ中で、乳幼児期から青年期までの発達を総合的に理解し、広い視野で保育・教育・福祉の分野に携わることができる人材を育成します。また、現場で様々なことに対応できる力や必要なスキルを身につけます。

取得できる3つの免許・資格

1 保育士（保育士資格）

保育所・認定こども園で活躍する保育士になるための資格です。また、児童福祉施設・児童養護施設・知的障がい者施設など、子どもの福祉や教育に関する高度な専門性を必要とされる仕事を目指す際にも、有効となる資格です。

管轄 厚生労働省／児童福祉法
対象 0歳から18歳未満

2 幼稚園教諭（幼稚園教諭一種免許状）

文部科学省管轄の幼稚園・認定こども園の教諭となるために必要な免許です。免許取得のためには、4年制大学で定められた科目の履修、所定の単位の取得、大学卒業が必須条件とされています。

管轄 文部科学省／学校教育法
対象 3歳から小学校就学まで

3 小学校教諭（小学校教諭一種免許状）

公立および私立小学校の教員になるために必要な免許です。また、教育関連の職業に携わる選択肢を広げます。免許取得のためには、4年制大学で定められた科目の履修、所定の単位の取得、大学卒業が必須条件とされています。

管轄 文部科学省／学校教育法
対象 6歳から12歳

※他にも、各種資格を取得することができます。

子どもを知り、子どもに学ぶ、注目の授業

ピアノ実習1、ピアノ実習2

それぞれのレベルに応じた個人レッスンを行います。初心者は、子どもの歌の弾き歌いが自在にできるレベルを目標としています。東キャンパスの個別練習室には200台のピアノがあり、いつでも練習することができるので安心です。先生にとって大きな強みとなるピアノのスキルを、初心者でも楽しみながら習得することができます。

子どもの運動あそび

幼い頃から運動の楽しさを知らず、十分な身体の発達ができないまま成長していく子どもが増えている現代、能力差のある子どもたちに対して「安全かつ楽しい運動指導」が求められています。この授業では既存の運動あそびのプログラムを実践したのち、より楽しく行うためのプログラムを自分たちで考え、お互いに指導し合う内容へと発展させていきます。

図画工作

子どもたちにとって最も重要なことは、「作る喜びや表現する喜びを得ること」です。そのための指導のあり方を学び、学生自身が様々なものづくり体験を通して、材料や用具の知識、技術を習得していきます。作品づくりのヒントに満ちた芸術系総合大学という環境の中で、チームで協力し、一つのものを完成させる重要性を学ぶことができます。

発達心理学

発達とは「誕生してから高齢に至るまでの生涯にわたる心身の変化」を指します。将来、保育士・幼稚園教諭・小学校教諭として幼い子どもに関わっていくとき、ヒトの生涯にわたる大きな変化を知っておくことで、子どもを広い視点から理解し、支援しやすくなります。また、現代社会の中で何が起きているかを知るために、子どもや育児に関する新聞記事を用いていきます。

基礎からはじまり、専門性を深めるカリキュラム

1年次　子どもと学びの基礎力を習得

子ども・ファンデーション

子どもに関する幅広い知識と基礎的な技能を身につける

乳児期から青年期までの、子どもに関する知識を幅広く学び、子どもの体と心の発達に合わせて指導するための基礎力を身につけます。そして、将来の目指す職業・イメージを明確にして、なりたい自分の基礎を培います。

子ども学総論・子ども学演習（入門ゼミナール）

大学で子どもを学ぶための方法や考え方、スキルを養う

子ども発達学科での学習や生活、保育・教育に必要な基礎知識や技術・観察・研究の進め方を学びます。さらに、レポートやレジュメの書き方、グループディスカッション、イベントの企画・運営の方法など、社会に出ても役立つスキルも身につけます。

1年次の主な科目

子ども学総論
保育原理
社会福祉
保育の心理学
生涯発達心理学
保育内容総論
保育内容演習　健康
保育内容演習　人間関係
保育内容演習　環境
保育内容演習　言葉
保育内容演習　表現
子どもの造形
子どものうたとピアノ1
子どもの運動あそび
国語（書写を含む）
社会
算数
生活
音楽
図画工作
家庭
体育
ピアノ実習1
ピアノ実習2
地域活動
子ども学演習　など

2年次　4コースから選択、専門性を高める

保育・幼児教育コース

0〜6歳までの子どもの遊びや生活文化について学ぶコース。人生で重要な基礎段階にある年齢の子どもの興味や環境などについて、主体的・体験的に学びを深め、充実した保育を構成できる専門性・実践力を習得します。

学校教育コース

6〜12歳までの子どもの学校での学びや生活について幅広く学ぶコース。学校・子ども・家庭・社会などを「学校生活」という視点から考察し、先生たちが日常の教育活動をどう行うべきか学びながら小学校教員を目指します。

発達・福祉コース

0〜18歳までの子どもの発達と障がい、児童福祉の問題などを学ぶコース。個性を尊重し成長するための支援、子どもの貧困や児童虐待などに問題意識を向け、福祉や発達支援の専門施設・機関に足を運び学びを深めます。

子ども芸術コース

0〜12歳までの子どもの音楽・美術活動を、優れた芸術的環境の中で学ぶコース。芸術的な環境の中で自分自身を磨きながら、また保育・教育現場に足を運んで子どもの豊かな感性を育むための援助を考えます。

2年次の主な科目

子どもの保健
子どもの食と栄養
乳児保育Ⅰ
障害児保育
子ども家庭支援の心理学
子どもの理解と援助
子どもの健康と安全
保育者論
保育指導法
保育内容と方法
乳児保育Ⅱ
乳幼児心理学
保育所実習Ⅰ
保育所実習指導1
教育実習
（幼稚園基礎実習・実習指導）
教職論
教育原論
教育制度論
教育課程論
特別支援の理解
発達心理学
理科
外国語（英語）
国語科指導法
社会科指導法
算数科指導法
音楽科指導法
家庭科指導法
体育科指導法
子ども文化創造論
声楽表現
器楽表現
子どもの絵画
子どものうたとピアノ2
子どもの身体表現
基礎演習　など

3・4年次　ゼミに分かれ、それぞれの進路に向けて学びを深める

8つの専門領域ゼミナール

自分の関心に合わせて選択。
学びたい分野を掘り下げ、資質を磨きます。

- 乳幼児の教育と保育
- 子どもと学校
- 子どもの生活と教育
- 子どもの発達と障がい
- 子どもと福祉
- 子どもと音楽
- 子どもと美術
- 子どもとメディア

期待される進路
保育所／幼稚園／認定こども園 など

取得を目指す免許・資格
保育士／幼稚園教諭

期待される進路
幼稚園／小学校 など

取得を目指す免許・資格
幼稚園教諭／小学校教諭

期待される進路
保育所／児童養護施設／乳児院／幼稚園／認定こども園／児童発達支援センター／障がい児入所施設 など

取得を目指す免許・資格
保育士／幼稚園教諭

期待される進路
保育所／幼稚園／小学校／児童養護施設
音楽教室・美術教室講師 など

取得を目指す免許・資格
保育士／幼稚園教諭

3・4年次の主な科目

子ども家庭福祉
社会的養護Ⅰ
社会的養護Ⅱ
子育て支援
子ども家庭支援論
幼児理解
保育課程論
保育所実習Ⅱ
保育所実習指導2
教育実習（幼稚園応用実習）
教育実習指導（幼稚園応用実習）
子どものデザイン
教育方法論
教育相談
道徳教育指導論
総合的な学習の時間の指導法
特別活動論
生徒・進路指導論
理科指導法
図画工作科指導法
外国語科指導法（英語）
教育実習（小学校）
教育実習指導（小学校）
介護等体験
専門演習
施設実習Ⅰ
施設実習指導1
施設実習Ⅱ
施設実習指導2
保育・教職実践演習（幼）
教職実践演習（小）
卒業研究・卒業制作　など

※2020年4月現在 今後変更となる場合があります

実習から生まれる自信と実践力

名古屋芸大では、教育・保育の理論をしっかりと理解し、それらを実践できるようにすることが大切だと考えています。そのために、大学附属のクリエ幼稚園や滝子幼稚園などでの実習により、子どもたちと向き合いながら、実践の中で学びを深めています。

幼稚園実習での1日

7:40	**朝礼** 掃除、片付け、クラスの環境整備
8:00	**子どもたちの登園出迎え** 自由遊び
9:30	**朝の会** 片付け
10:00	**クラスの主活動** 制作、体操、発表会の練習など
12:00	**昼食**
13:30	**帰りの用意・帰りの会** 降園の見送り
14:00	**反省会** 掃除、片付け、翌日の主活動の準備など
17:00	**帰宅後** 日誌や記録の記入など

小学校実習での1日

始業前	**朝礼・打ち合わせ**
1時間目	**国語**（観察実習）
2時間目	**算数**（観察実習）
3時間目	**体育**（参加実習）
4時間目	**社会**（指導実習）
昼休み	**給食・掃除**
5時間目	**理科**（観察実習）
6時間目	**クラブ活動**（参加実習）
授業後	**帰りの会** 実習日誌記入、教材研究など

名古屋芸大では、免許・資格取得を視野に、様々な実習を行っています。初歩的な観察や、生活や遊び活動の援助、応用的な授業の運営や学級づくりなど、4年間で段階的にレベルアップできるように、実習計画を組み立てています。そして事前準備や実習中のフォロー、アフターケアまですべてを重要視しており、保育者・教育者への道筋を確かなものにしていきます。園児や児童に教えることを通して学ぶことも多く、実習での体験や思い出は、免許・資格取得の意欲をさらにかきたてます。

実習の目的

- 子どもの目線に立ち、心に寄り添い思いを汲み取る力をつける
- 子どものやる気や自主性を育む保育・教育のあり方を学ぶ
- 音楽や手遊び、絵本の読み聞かせ、教科の学習など、保育の技術や指導法を事前に身につけ、現場で生かし「自分らしさ」を見つける
- 理論と実践をつなげ、子どもたちと保護者から信頼される人間性を養う

4年間で学ぶ、豊富な実習体験※

1年次	地域活動（希望者のみ）／2週間
2年次	保育所実習Ⅰ／2週間 教育実習（附属クリエ幼稚園、滝子幼稚園）／1週間
3年次	教育実習（幼稚園）／3週間 保育所実習Ⅱ／2週間 介護等体験／7日間
3年次 または 4年次	教育実習（小学校）／3週間
4年次	施設実習Ⅰ／9日間 施設実習Ⅱ（希望者のみ）／9日間

※実施する実習は取得する免許・資格によって異なります。

個別サポート　初めての実習でも安心です

実習に際して、名古屋芸大では、事前学習の授業のほかに、個別サポートも手厚く行っています。例えば、実習先に提出する書類を担当教員が丁寧に添削したり、実習先への電話のかけ方などの指導も。
実習先の子ども達と仲良くなるコツは、「遊びの引き出し」をたくさん持つことです。そのため例えば、様々な年齢の手遊び集を作成し、学生同士で演じたり練習し合って、自信をつけてから実習に向かえるようにするなどサポートしています。また、4年制大学の強みとして、先輩学年の学生との「実習交流会」で悩み相談ができるなど、不安を解消する体制も整えています。

芸術・文化にふれる多彩なイベント

かけがえのない体験で充実した4年間を

春を呼ぶ芸術フェスティバル

学生による合奏やピアノ演奏、ダンス、和太鼓演奏など、個性豊かな特技を披露するイベント。会場ホールは一般の方にも開かれ、地域の子どもたちに楽しんでもらえる合唱や体操も用意しています。

世界の保育を体験！アメリカ語学研修

世界の実情を知り将来の教育・保育に生かすため、海外での研修を実施。現地の保育園や幼稚園を視察し、異なった環境の様々な教育を肌で感じ日本と比較することで、グローバルな視点や考え方を身につけます。

感性を育てる公開イベント 文化創造セミナー

多様な文化にふれることで感性豊かな保育者・教育者の養成を目指す公開セミナー。各分野の第一線で活躍する様々な方を講師に招き、学生は実際に接したり体験したりしながら、教育・保育への見識を深めます。（写真／フランスの絵本研究家 パスカル・アンベール氏を招いて）

創造的な環境が育む、豊かな感性

名古屋芸大附属の幼稚園や保育所と連携し、実践的な教育を行っています。
芸術大学という創造的で自由な環境のもと、日頃から学生が子どもたちとふれあえる場が充実しています。

地域と一緒に子育ち・子育て「にこにこワークショップ」

学内の子どもコミュニティセンターに地域の子どもたちを招き、楽しみながら感性を磨くワークショップを週2回開催。学生たちは屋内外での「自由な遊び」と工作などの「テーマ遊び」を組み合わせて実践を重ねることで、保育現場のニーズを理解し、学びを深めていきます。

子どもコミュニティセンター

11号館

就園前の地域の子どもたちが遊びに来ます。授業やボランティアで、子どもたちや保護者の方と接することができる大学内の施設です。

ピアノ練習室

5号館・9号館

芸術大学ならではの、充実したピアノ練習環境。東キャンパスには約200台のピアノが用意されています。

幼児教具コーナー

1号館2階ロビー

世界で初めて幼稚園をつくったドイツのフレーベルの恩物やイタリアの教育学者モンテッソーリの教具の数々がコレクションされています。

主な系列園

名古屋芸術大学附属クリエ幼稚園

東キャンパスに隣接する附属幼稚園。木のぬくもりあふれる園舎で教育実習なども行います。ときおり園児が大学のキャンパス内で遊んでいる姿も。

滝子幼稚園

ダンスやバイオリン、ピアノなどの課外活動や各種、教室、レッスンも充実してます。

たきこ幼児園

滝子幼稚園に隣接する保育園。モンテッソーリ教育やリズム遊びに力を入れています。

愛知保育園

地域で60年以上の歴史を持つ保育園。2017年4月から名古屋芸大グループの一員となり、2020年に園舎リニューアル。

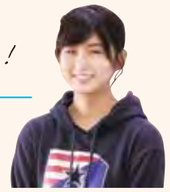
認定こども園　森のくまっこ

2020年4月開園の幼保連携型認定こども園。芸大の系列ならではの「感性教育」を重視をしています。

なりたい自分があるから、頑張れる

同じキャンパス・同じ学科で学びながらも、興味や関心は人それぞれ。
子ども発達学科で学ぶ先輩たちに、いま打ち込んでいること、
こうしたいと思っていることを聞いてみました！

積極的に子どもとふれ合って、
日々学んだことを即実践！



阿部 唯 Yui Abe

人間発達学部　子ども発達学科
名古屋女子大学高等学校出身

Q どんなことに力を入れて学んでいますか？

A 授業で学んだ知識を、実践に移してみること。

名古屋芸大には、附属幼稚園などもあり、実習以外でも子どもたちとふれ合うチャンスにあふれています。子どもの発達心理学や障がい児保育など、授業で学んだ知識をその場で実践できます。私も積極的に子どもたちと接する機会をつくり、試行錯誤しながら勉強しています。

Q これからの目標や将来の夢は？

A 可能性をひとつに絞らず、いろいろ挑戦したい。

まだ卒業後の進路は模索中ですが、保育士と幼稚園教諭の資格・免許を取得する予定です。資格は自分の強みになると思っています。大学生はやろうと思えばなんだってできる貴重な期間。私自身も可能性をひとつに絞らず、子どもと関わる仕事以外も含め、将来をじっくり見極めたいです。

障がいを持つ子どもを支えるために、
もっと知識を深めたい。

宮本 優香 Yuka Miyamoto

人間発達学部　子ども発達学科
美濃加茂高等学校出身

Q どんなことに力を入れて学んでいますか？

A 児童福祉施設や保育園でのボランティア活動。

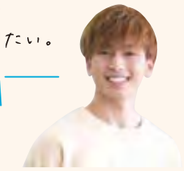
医療機関で働く保育士に憧れて、発達・福祉コースへ進みました。このコースでは、保育実習や施設実習に加えて、福祉や発達支援の専門施設へボランティアに行く機会が多いんです。様々な障がいを持つ子どもたちと直接関わりながら、現場でしか学べないことを吸収しています。

Q これからの目標や将来の夢は？

A 医療や福祉の現場で、子どもたちの力になること。

病院や児童福祉施設で働きたい気持ちは変わらないですが、授業や実習を通して、もう少し選択肢を広げてみたいとも思っています。子どもの病気や障がいの専門知識は、どんな職場でも必ず役立つからです。先生たちは親身に色々と協力してくれるので、チャンスを無駄にせず、自分らしい道を見つけたいです。

子どもたちと濃い時間を過ごし、
記憶に残る先生になりたい。



瀬口 啓太 Keita Seguchi

人間発達学部　子ども発達学科
静岡県立磐田西高等学校出身

Q どんなことに力を入れて学んでいますか？

A 教育実習に向けた準備です。指導案や模擬授業に奮闘中！

3年次から始まる小学校の教育実習に向けて、指導案の作成や模擬授業の練習に励んでいます。学年に合わせた教え方、接し方を考える必要があり、子どもの反応を予想しながら指導案を組み立てるのに苦労しています。しっかり準備をして、実習に臨みたいです。

Q これからの目標や将来の夢は？

A 「瀬口先生が担任でよかった」と言われる小学校の先生になる。

僕が小学校の先生をめざす理由は、6年間という長い時間を子どもたちと一緒に過ごせるから。1年生から6年生になるまでの成長を、日々実感できる仕事だと思ったからです。「瀬口先生が担任でよかった」と言ってもらえる先生になりたい。誰かの記憶に残る存在になれたら、自分を誇りに思います。

実習を経験し、自分が進むべき
新たな方向性が見えてきた。

西 多美子 Tamiko Nishi

人間発達学部　子ども発達学科
天理高等学校出身

Q どんなことに力を入れて学んでいますか？

A いろいろな絵本を読み、子どもに伝えるメッセージを理解する。

保育園や幼稚園の実習では、必ず絵本の読み聞かせをします。いきなり初見で読むのではなく、事前に自分で読み、どんなメッセージを子どもたちに伝えるのかを理解することが大切。年齢に合わせた本を選ぶ必要もあります。大学の図書館には新書が揃っているので、いろいろな絵本を読んで勉強中です。

Q これからの目標や将来の夢は？

A 児童福祉や障がい児保育に興味が湧き、勉強を始めました。

名古屋芸大で学ぶうちに、「子どもたちを指導する立場でなく、同じ目線で、生活をともにするような仕事がしたい」と思うように。児童養護施設で働くことも視野に入れ、障がい児保育や子どもの食と栄養といった専門的な分野も学び始めました。今後の授業や実習を通して、自分がやりたいことを見極めたいです。

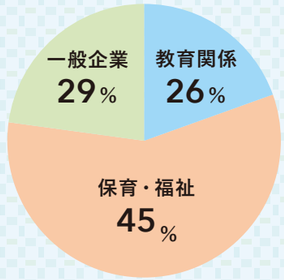
データで見る、子ども発達学科

学生たちの進路、就職の状況は？ 学びの環境や充実度は？
子ども発達学科の今と将来がわかるデータの数々、お見せします。

主な進路

教育・保育の現場で即戦力となる人材の育成を目指す子ども発達学科。卒業生の希望者全員が教育・保育・福祉関係の施設や企業へ就職しています。公務員試験の対策にも力を入れており、愛知、岐阜、三重の東海エリアの公立施設で活躍する先輩を多く輩出しています。

就職・進学率
100.0%



教育関係…26%
愛知県・岐阜県・三重県他
公立小学校／
公・私立幼稚園 認定こども園 他

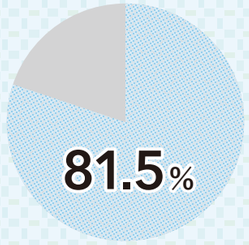
保育・福祉…45%
公・私立保育所／児童養護施設／
学童保育所 他

一般企業…29%
小売業／サービス業／
郵便業／製造業 他

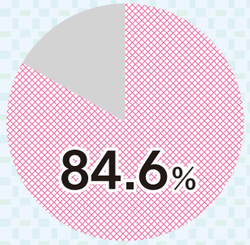
［2019年度］

卒業生の免許・資格取得率※1

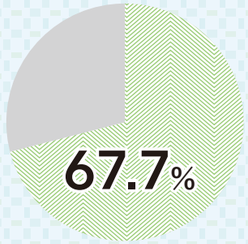
教育・保育の力に芸術の力を身につけて活躍している卒業生多数！



保育士
2020年3月卒業生



幼稚園教諭
2020年3月卒業生



小学校教諭
2020年3月卒業生

名古屋芸術大学ならではのポイント

展覧会の回数
年 **37** 回

演奏会の回数
年 **19** 回

ピアノの台数
音楽領域と同じキャンパスなので、初心者でも思いっきり練習できます！
約 **200** 台

楽譜の数※2
約 **43,000** 冊

絵本・大型絵本・紙芝居の数
8,076 冊

※1／2020年3月31日現在　※2／2020年4月現在

音楽領域

芸術学部 | 芸術学科

School of the Arts - Department of the Arts

Music Division

声楽コース

鍵盤楽器コース（ピアノ）

鍵盤楽器コース（電子オルガン）

弦管打コース

ウインドアカデミーコース

ポップス・ロック＆パフォーマンスコース

ワールドミュージック・カルチャーコース

ミュージカルコース

ダンスパフォーマンスコース

声優アクティングコース

サウンドメディア・コンポジションコース

ミュージックエンターテインメント・ディレクションコース
※2021年度からコース名称変更

音楽ケアデザインコース

音楽総合コース

学びの
特徴

自分だけの「音楽」を奏で
人と人をつないでいく

「音楽とともに、一生を幸せに生きること」。
これが、名古屋芸大の音楽領域が目指していることです。

音楽でつくる「幸せ」な生き方には、様々な形があります。
技術を磨きプロの演奏家となること、舞台技術を学び魅力的なステージを作ること、音楽で人をケアし福祉や医療分野に貢献することなど、形はひとつではありません。
領域やジャンルの垣根を越え、多様なキャリアを持つ教員やOB・OGと携わりながら、自分に合った音楽との関わり方を模索していきましょう。
そして社会の中で自分だけの音楽を奏で、語れる人になってください。

音楽が持つもっとも大きな力は、人と人をつなげる力。
あなたの音楽はどのように人をつなげ、幸せにするでしょうか。
その方法が、きっとここで見つかるはずです。

特徴
01

多様な選択肢の中から、自分の「音楽との関わり方」を見つける

音楽の世界は、「プロ」と「アマ」2つの選択肢だけではありません。たとえば海外や東京で活動することはもちろん、地元に根ざした音楽家として地域と関わりを持ったり、他の仕事で活躍しながら、音楽フェスの主催者という一面も持っていたり。
身につけた高度で豊かな音楽の素養を、人生の様々な場面で発揮させていく生き方。名古屋芸大は、そんな「プロ」や「アマ」とは異なる「ハイアマチュア」というあり方も新たに提唱し、音楽とともに生きていく上でのあらゆる選択肢を提供しています。
自分の可能性を広げる、横断可能なカリキュラム。そして多様なキャリアを持つ教員やOB・OGとの出会い。様々な選択肢に触れ、チャレンジを重ねることで、まだ描いたこともなかった自分の未来が現れるはずです。
一人ひとりが自分だけの「音楽との関わり方」を見つけられるよう、全力でサポートします。

Teacher's VOICE

遠藤 宏幸 准教授
Hiroyuki Endo

「プロとアマの二分ではなく
ハイアマチュアという言葉を肯定し、
音楽に関わる人のキャリアの
選択肢を増やしていきたい」

特徴を実現するための授業や取り組み

音楽総合コース

全部で12ある専門コースのカリキュラムから、自由に授業やレッスンを選択することが可能。実際にいろいろと試しながら、自分の興味や希望の進路にあわせて、自分だけの音楽スタイルを磨くことができます。

パリ・エコール・ノルマル音楽院　ディプロマ取得

名古屋芸大はフランスのパリ・エコール・ノルマル音楽院と学術交流協定を締結。名古屋芸大に在学しながら同音楽院の課程修了に必要な授業やレッスン等を受けることで、休学することなく同音楽院でディプロマ（4e,5e Division）を取得できます。また希望者は留学も可能で、世界の音楽環境に触れ、演奏家としてさらなる高みを目指すことができる制度が整っています。

特徴
02

様々なポジションを体験し、自分をプロデュースする力を身につける

学びは、学内の勉強だけに限らないもの。名古屋芸大の音楽領域では、学内外関わらず多数のイベント・演奏会に参加できる機会が用意されています。自分たちで企画・運営を行い、多くの人と関わることで、他では得られないフィジカルな経験を積む。そしてステージの上で表現したり、その場所をゼロから作り上げ表現を支えたり、お客さんと触れ合ったりと、様々な役割を経験することで、音楽にまつわる視野を広げていきます。
その経験と視野の広がりは、自分自身を理解する大事な手立てとなります。自分は音楽を通して、社会のどの部分にどのように貢献するのか。それを理解して発信できるセルフプロデュース力を、実践的に養います。

Teacher's VOICE

梶田 美香 教授
Mika Kajita

「様々な領域の力がないと、1つのものが完成しない時代になってきています」

ザ・ベストテンコンサート

地元自治体や企業と共催で『ザ・ベストテンコンサート』を開催。ミュージカルコースの学生や、卒業生による団体「ミュージカルカンパニー・ワン」のメンバーを中心に、毎年、地域の方々に音楽のステージを届けています。

高山市でのミュージカル制作

岐阜県高山市の「飛騨・世界生活文化センター」との連携事業として、2009年から市民参加型オリジナルミュージカル「飛騨・童話会議」を毎年上演。音楽領域ミュージカルコースを中心に、地域の方々たちにダンスと歌の指導を行い、約半年間の練習期間を経て本番の舞台に立ちます。初参加時は幼稚園の年少さんだった方が、今や中学生や高校生となって重要な役どころを演じていることも。飛騨の地に、昔はなかった一つの文化が根付こうとしています。

特徴を実現するための授業や取り組み

特徴
03

名古屋発の、世界にオープンな音楽コミュニティが形成されている

学生、教員、OB・OG間でのつながりが強く、卒業後も継続して関われる「音楽コミュニティ」が形成されているのも、名古屋芸大の音楽領域の大きな特徴です。
在学中、教員は学生一人ひとりと向き合い、個人の資質や能力に合わせた成長の機会を作ります。あらゆるニーズに応えられるよう学びの環境を整え、大学全体で一人ひとりをサポートしています。
卒業後は「教員と学生」という関係から「同じ業界の仲間」となり、一緒に仕事を作ったりプロジェクトを発足させたりと、音楽をベースにした共同活動がさかんに行われています。
大学を窓口とした、世界にオープンな音楽コミュニティ。それは、卒業後自らの学びを還元する場所、孤立せず音楽と関われる場所としても機能しています。

Teacher's VOICE

伊藤 孝子 准教授
Takako Ito

「卒業生と一緒に仕事をつくっていくことが、地域・社会の発展にもつながると思います」

音楽療法グループ「マイエ」

音楽ケアデザインコースの教員が中心となって活動する「マイエ」は、多くの卒業生が参加する音楽療法のグループです。近年、医療や福祉の現場で注目されている音楽療法を実践で学べる貴重な場となっており、また実際に音楽療法士として活躍している卒業生同士や在学生らが分け隔てなく交流できるコミュニティにもなっています。

名古屋芸術大学ウインドオーケストラ

名古屋芸大の在学生と卒業生とが一緒になって活動している吹奏楽団。在学中から同楽団での演奏活動を通じて、様々な世代や立場の卒業生と幅広く接することで、普段の授業やレッスンだけでは得られない貴重な学びの場となっています。また卒業生との関係も強く結ばれ、卒業後は引き続き演奏家同士として交流が続いていきます。

特徴を実現するための授業や取り組み

声楽コース
Vocal Performance

「人の心」を魅了する歌声を探求する

声楽は、多くの人の前で歌う喜び、好きな楽曲を歌えたときの感動が魅力です。本コースでは、自発的探究心を育てながら、声楽の知識とスキルを高め、広い分野で声楽との関わりが持てるカリキュラムを用意しています。マンツーマンによるレッスンやワークショップ形式での歌曲研究、オペラ研究の授業などを通して声楽のスキルを習得します。レッスンは、一人ひとりの声質やレベルに合わせて実践。呼吸法や発声法などのトレーニングをはじめ、歌詞の意味の伝え方や音楽的解釈などによって幅広い歌唱法を身につけ、声で人々を魅了する楽しさや、個々の声楽への自信を高めます。

身につく能力

- 美しい声を出すための専門知識と技術力
- 演奏を通して身につく歌唱能力
- オペラによる表現力や創造力

4年間の学び

1年次
まずは4年間の学習の意欲と目標を確認します。声楽の基本である発声法を学び、これまで「好き」「楽しい」と感じてきた音楽を、より深く学んでいくための基礎的な知識と技術を身につけていきます。

2年次
正しい発声法と呼吸法の向上を目指します。外国歌曲と日本歌曲についての理解を深め、表現力を磨きます。また、「歌曲の夕べ」のコンサートに出演し、歌うことの厳しさや喜びを体験します。

3年次
これまでに身につけた基礎の上に、オペラへの学びを重ね、歌唱のみならず体を使った舞台表現の楽しさを学びます。レパートリーを広げることで個性と専門性を磨き、声楽で活躍する自信と将来のイメージを確かなものにします。

4年次
卒業試験に向けて、深い解釈力と豊かな表現力で芸術性の高い演奏を目指します。また、総合芸術であるオペラ公演に、仲間全員のチームワークで取り組み、4年間の学習成果を表現します。

目指せる主な職種・職業 》 声楽家／オペラ歌手／声楽教師／合唱指導者／音楽科教員（中学校・高等学校） など

卒業後の主な進路 》 財団法人日本オペラ振興会 オペラ歌手育成部／びわ湖ホール声楽アンサンブル／Wishボーカルスクール／愛知県公立小・中・高等学校／愛知県立特別支援学校 など

夢は、クラシック音楽の本場で歌手として活躍すること。

天野 彰子
Akiko Amano
芸術学部 芸術学科
音楽領域｜声楽コース
暁高等学校出身

個々の特性にあったレッスンで歌声を引き出す

Q どんなことに力を入れて学んでいますか？

A 様々な声楽の先生から、曲の解釈や歌唱法を学んでいます。

4年間を通して、自分が師事する先生だけでなく、多彩な経歴を持つ先生から特別レッスンを受けることができます。私もドイツ歌曲から日本歌曲まで、様々な先生に指導していただきました。歌に込められた意図や作曲家の人物について語り合ったり、曲の解釈を深めたり…。一人ひとりの先生と距離が近く、とても有意義な時間を過ごせます。そのおかげで、歌唱力はもちろん表現力も磨けました。

Q これからの目標や将来の夢は？

A プロの歌手をめざしながら、日本歌曲の魅力を伝えていく。

名古屋芸大では、1～2年の時からオペラ公演や演奏会で舞台に立つ機会が多くあります。オーディションから本番まで、学生のうちに場数を踏めるのが魅力。将来は、クラシック音楽の本場で活躍できる歌手を目指しながら、日本歌曲のすばらしさをひとりでも多くの人に伝えていきたい。日本人であることを誇りに思い、古くから歌い継がれてきた名曲も、今の時代の新しい曲も、大切に歌っていきたいです。

鍵盤楽器コース（ピアノ）

Keyboards (Piano)

多彩な音と可能性を「指先」からつむぐ

ピアノは、奏者の技法によってあらゆる表現を可能にします。本コースでは、バロックから古典や近代・現代まで長い歴史の中で受け継がれてきた音楽の表現方法や演奏技術をマスターします。個々の能力、進度、感性、素質に合わせ、どんな演奏形態にも即応できる実践力を養います。それぞれの曲に合わせた高度な演奏能力と表現力を身につけることで、奏者、作曲家、編曲家、指導者など多岐にわたる専門家を目指します。また、パリ・エコール・ノルマル音楽院と学術交流協定を結んでおり、休学せずにディプロマ（4e,5e Division）を取得できるのも特徴（※）。世界の音楽環境にふれ、新しい表現へつなげることもできます。

※名古屋芸大にて、卒業までに同音楽院の課程修了に必要な授業やレッスン等をすべて受講し、またパリ本校で実施される修了試験に合格する必要があります。

身につく能力

- 音楽芸術を社会に伝える力
- 様々な形態の音楽を把握し、応用できる表現力
- 音楽を体系的に整理し、論理的に理解する力

4年間の学び

1年次
音楽的基礎能力の向上を目指すとともに、専攻する楽器の技術的な基礎となるテクニックを身につけます。また、音楽史の観点から、バロック音楽、古典派の音楽をテーマにして学びます。

2年次
引き続き、基礎能力の向上を図りながら、ピアノ関連分野についても学びを広げます。専攻分野では、ピアノ音楽の中心となる古典派、ロマン派のマスターに向けて、より高度なテクニックを習得します。

3年次
専攻分野では、ロマン派と近代・現代の音楽に取り組み、3年次でピアノ音楽史を完成させます。これまでの基礎となる学びに加え、応用力を高めるため、年間を通して演奏能力の向上を図ります。

4年次
大学での学びの集大成として、研究対象に自分の目指す音楽として最もふさわしい作品を選び、その演奏表現に取り組みます。作曲家の意図、作品の生まれた背景など、音符のみではない文献講読が自発的にできるようにします。

目指せる主な職種・職業 >> 演奏家／伴奏者／音楽教室講師／音楽科教員（中学校・高等学校）／アレンジャー　など

卒業後の主な進路 >> 財団法人ヤマハ音楽振興会 中日本支部／株式会社河合楽器製作所 カワイ音楽教室中部事務局／株式会社サンデーフォークプロモーション／愛知県公立小・中・高等学校　など

管弦楽や声楽の学生との出会いが、自分の音楽観を広げるヒントに。

飯室 裕太
Yuta Iimuro

芸術学部 芸術学科
音楽領域｜鍵盤楽器コース（ピアノ）
桜丘高等学校出身

パリ・エコール・ノルマル音楽院

Q どんなことに力を入れて学んでいますか？

A 「音を聴く力」を養い、理想とする音色に近づけること。

幼少期から長年にわたり続けてきたピアノ。大学で取り組んでいるのは、「音を聴く力」を養うことです。曲を仕上げるためには、自分が理想とする音楽観を定め、どういう音で表現するのかを見極めなくてはなりません。意思を持って一つひとつの音を変化させ、それをしっかりと聞き分ける力が必要なんです。自分が思い描いた音を奏でられるように、さらに音色の幅を広げていきたいと思っています。

Q これからの目標や将来の夢は？

A クラシックという感情的な音楽の魅力を伝えていきたい。

パリ・エコール・ノルマル音楽院のディプロマと、中学・高校の音楽教諭免許を取得予定です。名古屋芸大では、管弦楽や声楽コースの学生と演奏会をする機会があり、様々な楽器やアンサンブルへの理解が深まりました。こういった経験を生かして、クラシックがもっと身近になるような活動をしていきたい。音楽もAI化する時代の中で、感情的な音楽の魅力を伝えていきたいと思っています。

鍵盤楽器コース（電子オルガン）

Keyboards (Electronic Organ)

「可能性」が広がる電子楽器とともに成長の道を歩む

多彩な表現が可能な電子楽器は、本格的な誕生から50年ほどの“若い”楽器です。その奏者には、演奏力に加えて幅広い音楽力を必要とするため、柔軟性を持ちながら技術や知識を吸収し、感性を育むことが大切です。本コースでは、ソロ演奏以外に共演や伴奏なども積極的に行い、この若い電子楽器の様々な価値を引き出していける研究の場を目指しています。音楽ジャンルもクラシック、ジャズ、ポピュラー、電子音楽などにふれ、音楽への理解を深めながら、新たな可能性に挑戦します。また、コンピュータを使った音楽データの作成や配信なども習得。4年間で、幅広い音楽力とバランスの取れた人間性を養います。

身につく能力

- 多分野にわたる音楽への理解と演奏力
- 音と言葉の両方で音楽を理解する力
- 音楽の創作、編曲、演奏と言葉による裏付け

4年間の学び

1年次
たくさんのジャンルの音楽を演奏し体験して、それぞれの音楽的なポイントを理解し、学んだ知識をもとに自己編曲を試みます。演奏を通してイメージを具現化する基礎を学び、「音楽とは何か？」の問いに自らの回答を持ちます。

2年次
引き続き、ジャンルを広げ、演奏できるレパートリーを増やします。それぞれのジャンルの音楽的なポイントを理解することを継続しつつ、「学ぶ＝真似ぶ」も実践。聴いた曲をコピーして編曲しながら理解を深めます。

3年次
演奏できる曲とジャンルをさらに増やしていきます。自らの音楽を「言葉で捉える」ことをマスター。それに加え、電子オルガンのアイデンティティーの模索の一つとして、電子音のみによる楽曲の創作もしくは編曲を試みます。

4年次
大学での学びの集大成に取り組みます。自分にとって「音楽とは何か？」という問いに対する回答を明確にし、なおかつそれを自らの演奏で、音を使って具現化します。創作と編曲のどちらでも可能です。

目指せる主な職種・職業 >> 演奏家／伴奏者／音楽教室講師／音楽科教員（中学校・高等学校）／アレンジャー／デモンストレーター　など

卒業後の主な進路 >> 財団法人ヤマハ音楽振興会 中日本支部／株式会社ヤマハミュージックジャパン／株式会社ヤマハミュージック東海／島村楽器株式会社／愛知県公立中学校　など

一番の楽しみは、異なるコースの友達とセッションできる定期演奏会。

伊藤 優花
Yuka Ito
芸術学部 芸術学科
音楽領域｜鍵盤楽器コース（電子オルガン）
愛知県立丹羽高等学校出身

電子オルガン 定期演奏会 “earth echo”（アースエコー）

Q どんなことに力を入れて学んでいますか？

A いろいろな技術や楽器演奏を吸収し、自分の視野を広げること。

中学・高校までは個人レッスン中心だったのですが、名古屋芸大に入ってグループレッスンを経験。人によって異なる技術やアレンジ方法にふれられるのが、すごく新鮮なんです。お互いの演奏を聴き合い、意見交換をしながら、自分の表現の幅を広げています。年に1度の楽しみは、定期演奏会で別のコースの学生と組んで演奏すること。私はドラムやパーカッション専攻の友達とのセッションに挑戦しています。

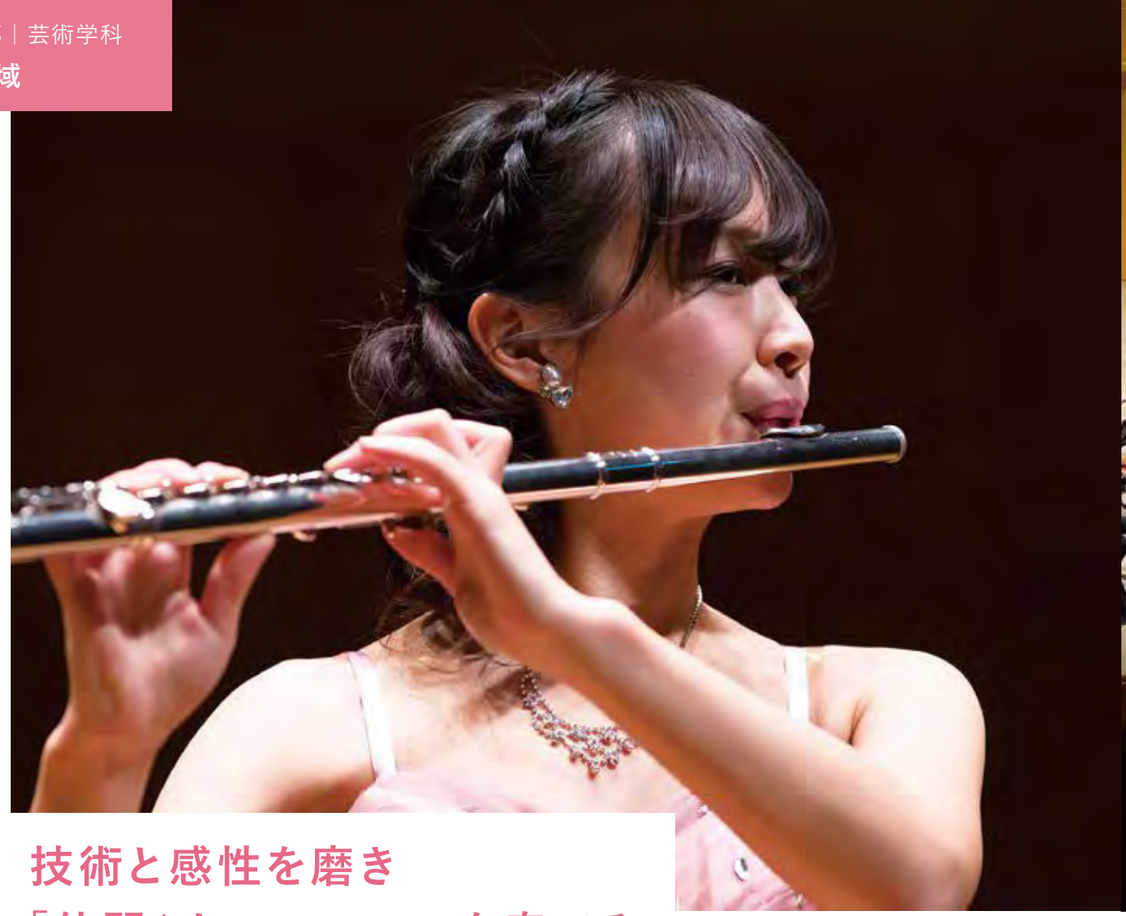
Q これからの目標や将来の夢は？

A 4年間で得た知識や経験を、自分らしく生かしていきたい。

私が名古屋芸大を選んだ理由は、将来の選択肢を広げるチャンスが豊富だから。例えば、自分の専攻だけでなく、コースの垣根を越えて授業を選択できます。音響の知識からデザインに関することまで、幅広い教養を身につけることができるんです。また将来に備えて、中学・高校の音楽教諭になるための教職課程も取っています。残りの学生生活で、4年間の学びを発揮できる進路をしっかりと考えていきたいです。

弦管打コース

Strings,Woodwinds,Brass and Percussion



技術と感性を磨き
「仲間」とハーモニーを奏でる

マンツーマンのレッスンによって専門的技術を習得することはもちろん、演奏の指導法なども含めて総合的に「楽器」について学ぶコースです。演奏家および指導者としてリーダーシップを発揮できる演奏力と技術力を鍛えます。本コースでは、室内楽や合奏において、演奏会やレコーディングといった実戦的な経験を積む場も設け、協調性や主体性を育みます。さらに、ステージでのマナーや所作など、将来演奏家や指揮者になる上で必要となるノウハウを組み込んだカリキュラムも用意しています。気配りなどの人間力も高め、プロフェッショナルにふさわしい技術、高い意識と精神性を身につけます。

身につく能力

- 楽器の演奏技術と指導法
- 楽譜の読解力と演奏解釈力
- 演奏での主体性や、合奏での協調性

4年間の学び

1年次
楽器演奏で最も重要な基礎を中心に、一つひとつの技術を丁寧かつ確実に習得します。楽曲についても、初歩的なエチュードやバロックから古典前期といった比較的取り組みやすいものを用いて、技術の向上を目指します。

2年次
基礎的技術の習得を継続しつつ、表現面においてより深く追究し、さらに成熟した演奏を目指します。楽曲は、古典後期からロマン派といった表現を重視したものを用いて、幅広い表現方法を学びます。

3年次
基礎から応用へ技術を発展させ、楽曲に対して多角的に分析そしてアプローチできるよう、多くの知識を学び、自分なりの表現方法も追究します。楽曲は近現代まで広げ、様々な曲に対応できる技術を身につけます。

4年次
これまでに培った技術を結集して、卒業試験に挑みます。大学での学びの集大成となるため、取り上げる楽曲は、コンチェルトやソナタといった高度な技術が要求されるものになります。

目指せる主な職種・職業 》 ソロ演奏家／オーケストラ奏者／警察・消防・自衛隊音楽隊／アンサンブル・吹奏楽指導者／音楽教室講師／音楽科教員（中学校・高等学校） など

卒業後の主な進路 》 株式会社ヤマハミュージックマニュファクチュアリング／島村楽器株式会社／防衛省自衛隊（陸・海・空）／各都府県警察／名古屋市消防音楽隊／公立小・中・高等学校 など

一つひとつの曲を深く突き詰め、チューバで表現する。

長嶌 萌
Moe Nagashima

芸術学部 芸術学科
音楽領域｜弦管打コース
愛知県立丹羽高等学校出身

指揮法のレッスンの様子

Q どんなことに力を入れて学んでいますか？

A 技術だけでなく、自分ならではの表現力を養うこと。

中学1年の時から、一筋に続けているチューバ。大学では、楽譜に書かれていることを忠実に再現するのはもちろん、自分ならではの演奏方法を探究しています。ひとつの曲に対して、自分は何を伝えたいのか。どう表現するのか。そのために足りない技術は何か。エチュード1曲でも、自分自身で深く突き詰めて音に反映させています。音域の広さや指回し、譜面の初見力など、技術的にも進歩しました。

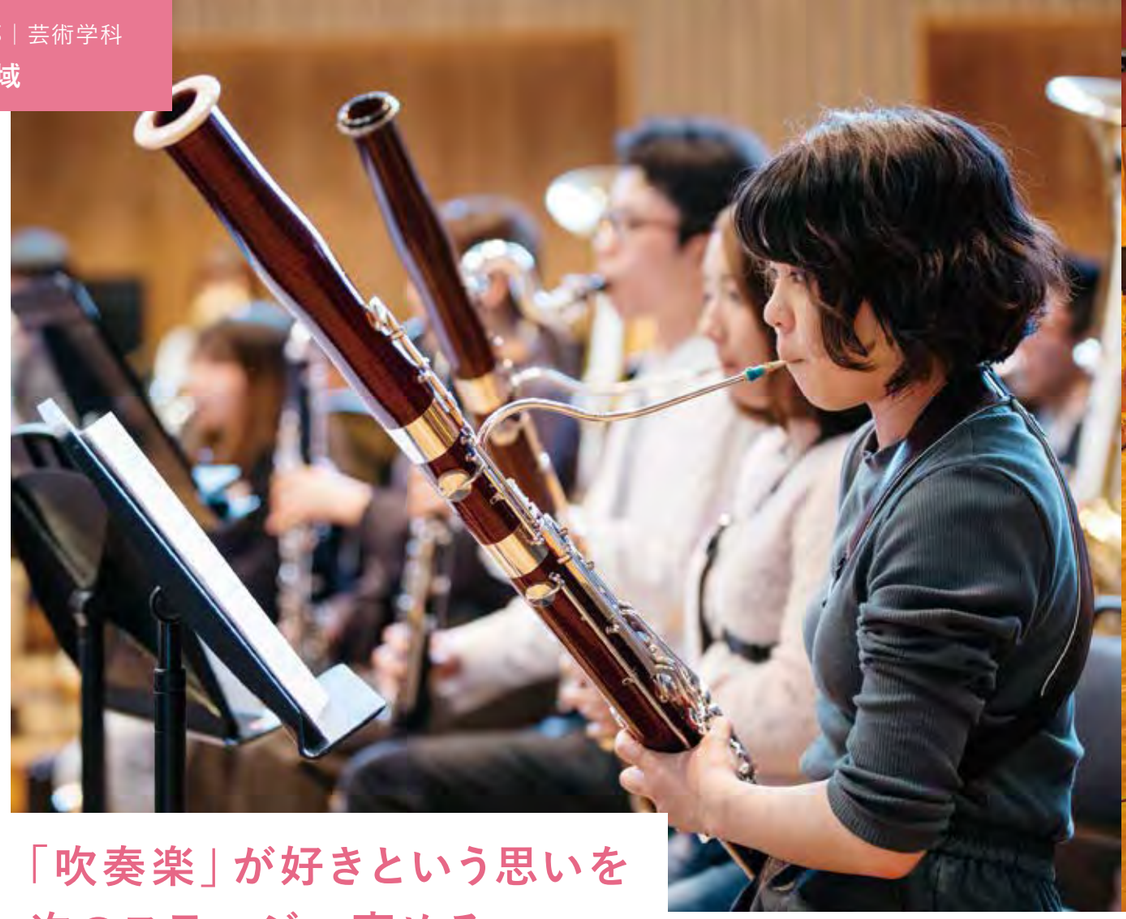
Q これからの目標や将来の夢は？

A 先生になり、子どもたちに音楽を奏でる楽しさを伝えたい。

名古屋芸大の卒業生に誘われて、金管五重奏のアンサンブルグループで活動しています。本番を迎えるたび、その場限りの空気や雰囲気、メンバーの熱量を感じられるのが大好き。私には先生になりたいという夢があって、大学でも中学・高校の音楽教諭になるための教職課程を履修しています。音楽の先生になれたら、舞台でしか味わえない喜びや感動を子どもたちに伝えていきたいと思っています。

ウインドアカデミーコース

Wind Academy



「吹奏楽」が好きという思いを次のステージへ高める

中学生、高校生に特に人気の高い部活動である吹奏楽。これまで楽器に真剣に向き合い、多くの時間を費やしてきた吹奏楽を、より専門的に学びたいという気持ちに応えるコースです。自分の専門の楽器だけでなく、様々な楽器の演奏法や指導法、指揮法、編曲から録音、楽器修理、メンテナンスまで学べる充実のカリキュラムを用意しています。吹奏楽全体にふれ、新たな魅力や可能性を見いだしましょう。そして、音楽全般の幅広い知識やスキルを身につけることで、学校や団体の吹奏楽指導者、演奏家、指揮者などとして音楽とともに広く活躍できるよう育成していきます。

身につく能力

- 指導者・ディレクターとしてのマネジメント力
- 吹奏楽を通した協調性やコミュニケーションスキル
- 様々な楽器の奏法や、構造・仕組みについての理解

4年間の学び

1年次
吹奏楽の学びには、多岐にわたる知識と技術の習得が必要です。まずはそのベースとなる吹奏楽指導法、指揮法、管楽器リペアの基礎を学びます。楽器奏法ではクラリネット、フルート、ユーフォニアムの基本奏法を習得します。

2年次
吹奏楽指導法、指揮法をより実践的に学びます。管楽器リペアについても、楽器の仕組みを深く理解し、リペアで必要となる楽器全体の知識を深めます。楽器奏法では、ファゴット、トランペット、打楽器の基本奏法を習得します。

3年次
進路や興味に合わせて、吹奏楽指導、演奏、指揮法、管楽器リペアなどから、自分が希望する学びを選択し、それぞれの研究に取り組みます。

4年次
専門分野をより特化して、自分のテーマを追求する学びを深めていきます。

目指せる主な職種・職業 >> 音楽科教員（中学校・高等学校）／吹奏楽指導者／演奏家／音楽教室講師／警察・消防・自衛隊音楽隊／指揮者　など

演奏・指揮・リペア、すべての技術を極めた指導者をめざす。

小野澤 諒
Ryo Onozawa

芸術学部 芸術学科
音楽領域｜ウインドアカデミーコース
長野県長野東高等学校出身

管楽器のリペアも学ぶ

Q どんなことに力を入れて学んでいますか？

A 自分が納得する音を求めて、楽器のセッティングを研究中。

楽器の歴史や構造、奏法などを研究するのはもちろん、自分が持っている楽器の様々なセッティングを試しています。楽器は、ネジひとつ変えるだけで音が変わる世界。例えばサックスなら、マウスピース、リード、リガチャーのどれかひとつを変えるだけで音色が変化します。自分の求める音色を表現するには、どうしたらいいか。根拠のある音づくりをするために、試行錯誤する工程が楽しいです。

Q これからの目標や将来の夢は？

A 演奏する人々が、音楽を続けるための原動力になりたい。

楽器演奏と指揮法に加えて、楽器の修理やメンテナンスといったリペア技術にも積極的に学んでいます。将来的には、吹けて、直せて、振れる指導者になるのが目標。名古屋芸大での学びと、これまでの吹奏楽人生で得た経験を、中高生や一般の楽団で演奏する人たちにアウトプットしていきたい。よりよいバンドをつくり、どんな形であっても「音楽を続けたい」と思ってもらえるような指導者をめざしています。

ポップス・ロック&パフォーマンスコース

Pop and Rock Music Performance

表現者として「輝く力」を身につける

あなたはどんな音楽が好きで、どんな曲をよく聴きますか？本コースでは、普段から耳にする機会が多いポップス、ロック、ジャズを専門的に学びます。時代とともに移り変わり、枝分かれを繰り返してきた音楽の歴史や、最新のサウンド表現を学ぶことで、音楽の本質を深く理解し、卓越した演奏技術と幅広い表現力を磨きます。音楽理論、ジャンルを越えた専門実技といった大学ならではの学術的な内容に加え、社会でも大いに生かせるリサーチ・プレゼンテーションスキル、コミュニケーションスキルも身につけ、将来は観客を熱狂させるミュージシャンや音楽業界で幅広く活躍する人材を目指します。

身につく能力

- ポップス、ロック、ジャズを幅広く演奏する力
- 理論と音楽史の知識を音楽表現に応用する力
- 自分の音楽を創造し、社会に反映する力

4年間の学び

1年次
ポップス、ロック、ジャズを専門的なレベルで学ぶ導入となります。ヴォーカルおよび各楽器の個人レッスン、音楽理論、読譜、音楽史の授業を通して、自分の目指すジャンルを深く理解し、演奏する基礎を養います。

2年次
基礎を発展させ、専門性のある演奏テクニックを学びます。自分の目指す音楽ジャンルに求められるスキルや知識がより明確になり、レッスン内容と演奏スタイルもフォーカスされていくことになります。

3年次
自分のジャンルに特化したオリジナリティーのある演奏スキルを、バンドアンサンブルの中で発揮できる能力を身につけます。同時に、理論の知識を応用し、魅力あるバンドアレンジについても実践的に学びます。

4年次
身につけた専門スキルを十分に発揮しながら、オリジナリティーのある音楽を創造し、表現を完成させます。高い演奏スキルと、自分のオリジナル作品やアレンジした音楽を自由に融合させながら、発表することも学びます。

目指せる主な職種・職業 〉〉 ポップス・ロック・ジャズのシンガー・プレイヤー／ヴォイストレーナー／音楽科教員（中学校・高等学校）／ミュージックスクール講師／ソングライター／作曲家／アレンジャー　など

卒業後の主な進路 〉〉 株式会社ソニーミュージックパブリッシング／クラブナージ音楽教室／スナフキンズ音楽教室／ミヤケ楽器／一宮市役所／バークリー音楽大学（留学）　など

自分が音楽から受け取った
元気や感動を、
今度は誰かに与えたい。

法月 結音
Yuine Norizuki

芸術学部 芸術学科
音楽領域｜ポップス・ロック&パフォーマンスコース
名古屋市立名古屋商業高等学校出身

専用のリハーサルルーム・セッションスタジオ

Q どんなことに力を入れて学んでいますか？

A 感情を声にのせて表現する力を身につけること。

先生と相談しながら、その時々の課題克服に向けた楽曲を決め、ボーカルレッスンに励んでいます。これまでの積み重ねで、発声方法や音程の取り方を習得し、すべての音域をきちんと出せる段階まで成長しました。いま取り組んでいるのは、感情を声にのせて表現すること。私はAメロ、Bメロ、サビをすべて控えめに歌いがちなので、力の入れどころ、抜きどころを巧みに操れるようにトレーニング中です。

Q これからの目標や将来の夢は？

A 将来のアーティスト活動に向け、人前で歌う機会を増やす。

私が尊敬するLittle Glee Monsterのように、歌声で人を魅了するアーティストとして活動するのが夢。将来に向けて、学内・学外を問わず人前で歌う機会を増やしています。コース内でも、ジャズの演奏やみんなでコーラスをしたり、ギターやドラム専攻の仲間とセッションをしたり、いろいろな活動に挑戦。バンドの生演奏で歌える機会は貴重だし、自分たちで楽曲のアレンジを考えるのもすごく勉強になります。

ワールドミュージック・カルチャーコース

World Music Culture

国境や文化を越えて「自分たちの音楽」と出合う

世界の国々には、先人たちがのこし、継承してきた素晴らしい音楽が存在します。本コースは、東海地方の芸術大学では初となる、専門的にワールドミュージックを学ぶコースとして2020年4月に誕生しました。民族楽器の演奏技術を習得しながら、その音楽と文化的背景への理解を深めるとともに、音楽の基礎となる理論や、編曲やインプロビゼーション（即興演奏）のスキルなども学びます。楽器の経験がない場合も、初歩から丁寧に指導します。また、コースを越えて多彩な音楽ジャンルとのコラボレーションやセッションも行うなど、世界の様々な音楽を通して、これからの時代の「自分たちの音楽」を探求します。

身につく能力

- ▶ 専門とする民族楽器の高い演奏能力
- ▶ グローバルな視点で新しい音楽文化を創る力
- ▶ 音楽を通して多様な文化･人々と交流する力

4年間の学び

1年次
民族楽器奏法の習得を軸として、ワールドミュージックとは何かについての概要を学びます。楽器の特徴に加え、音楽と歴史・文化的背景との関係について知り、グローバルな視点で学びを進めていく姿勢を身につけます。

2年次
専門とする民族楽器の奏法技術を磨きながら、他コースの学生とも演奏することで、多彩な音楽ジャンルとのコラボレーションにも取り組みます。民族音楽の文化的・社会的背景についてもさらに理解を深めます。

3年次
自らが目指すワールドミュージシャン像を持ち、それに沿った高度な技術と知識を学びます。また、新たな音楽文化の創造や他分野との融合を実現するため、インプロビゼーションや編曲、作曲技法などについても習得します。

4年次
自分が専攻する楽器を軸に、音楽、ひと、文化、社会についてグローバルな視点で考え、それを他者と共有する経験を持ちます。集大成としての演奏を行い、その背景にある文化や歴史についての論考をまとめます。

目指せる主な職種･職業 》 民族楽器奏者･プレーヤー･アーティスト／ソングライター／アレンジャー／作曲家／音楽科教員（中学校・高等学校）／学芸員／ミュージックスクール講師／楽器店スタッフ／舞台･イベントスタッフ　など

民族音楽に音楽の未来がある。

岡野 弘幹
Hiroki Okano
芸術学部 芸術学科
音楽領域｜ワールドミュージック・カルチャーコース
特別客員教授

特別公開講座の様子

一般的な音楽の捉え方は、12音階の中で構成されるものという認識だと思います。ところが民族楽器の場合は、その12音階に収まらない音もあります。そういうものも含めて、音であり音楽である。こういう認識を持ってもらえたら、とても意味のあることだと考えます。西洋音楽が日本に入ってきて以来、西洋音楽が音楽であるという認識になっていますが、音楽の世界はそれだけではありません。ワールドミュージックのことを考えた場合、その凄さは、アフリカの音楽とトルコの音楽、中東の音楽、地中海全体の音楽が一つになったりするところにあります。異なった文化が出合うことで新しい音楽や感動が生まれる。そういった可能性を持っているのが民族音楽であり、そこに音楽の未来があると考えます。本コースでは、これまでの音の既成概念だけに縛られずに、幅広く音楽を捉え、優れたアーティストの感性を養っていきます。

ミュージカルコース
Musical

歌と踊りで「多くの人を魅了」する スターを目指す

ミュージカルは世界中で人気のあるエンターテインメントです。新たに生み出されるストーリーと躍動感で、世界中の観客を魅了し続けています。ミュージカルの世界では、時代のドラマを「音楽」と「ダンス」と「演技」で華やかに飾る若い才能、未来をつくるパワフルな才能が求められています。本コースでは、演劇・歌唱・舞踊の三部門にわたり、基礎から応用までの技術を身につけ、さらにその精神性も学び、立体的なミュージカル作品の創作に携わることのできる力を養います。スタジオでのレッスンとステージでのパフォーマンスを組み合わせ、新しい時代の新しいスターの養成を目指しています。

身につく能力

- ▶ プロとしての歌唱力、ダンススキル、演技力
- ▶ 作品の内容や役割を深く理解し、観客に伝える力
- ▶ 自己をプロデュースし、表現・発信する力

4年間の学び

1年次
身体表現の基本を身につけるべく、歌唱、ダンス、演技の基本を学びます。また、時代のエンターテインメントであるミュージカルの歴史やスタイル、アーティストの役割など基礎的な知識を身につけていきます。

2年次
歌唱、ダンス、演技という個々の基礎力をさらに伸ばしながら、それらを総合的に活用できるように、より実践的なトレーニングを積んでいきます。基本的な知識や技術とともに、ミュージカルならではの表現手法を学びます。

3年次
台詞と身体表現で登場人物の心理や感情を表すことは、最も重要です。ミュージカル作品に登場する様々なキャラクターを理解し、それらを的確に演じることができるよう学ぶとともに、舞台人としての“在り方”を研究します。

4年間
卒業公演に向けて、身につけた歌唱力、ダンススキル、演技力を十分に発揮できるようにさらなる研鑽を積みながら、新しいミュージカルの創造を担うエンターテイナーとなれるように学んでいきます。

目指せる主な職種・職業 >> ミュージカル俳優／舞台俳優／ダンサー／劇団員／振付師／音楽科教員（中学校・高等学校）／ミュージックスクール講師　など

卒業後の主な進路 >> 四季株式会社（劇団四季）／株式会社オリエンタルランド／株式会社ユー・エス・ジェイ／飛騨コンソーシアム（飛騨・世界生活文化センター）／劇団そらのゆめ　など

ミュージカルと真剣に向き合う4年間。
憧れの舞台に立つ、
その日のために。

山本 航大
Kodai Yamamoto

芸術学部 芸術学科
音楽領域｜ミュージカルコース
三重県立白子高等学校出身

ミュージカルスタジオでのレッスン

Q どんなことに力を入れて学んでいますか？

A 歌やダンス、演技など、ミュージカルの基礎を叩き込む。

劇団やミュージカルに携わる両親のもとで育ち、幼い頃から自分も舞台に立ってきました。名古屋芸大に入学したのは、今まで自己流でやってきた歌をはじめ、ダンスや演技の技術を基礎からみっちり修得するため。僕には目標にしている劇団があり、オーディションを受けて早く舞台に立ちたいという気持ちはやまやま。 でも、この4年間はじっくり実力を固める時期だと覚悟を決めて、レッスンに励んでいます。

Q これからの目標や将来の夢は？

A 劇団四季や東宝の舞台で活躍するプロの俳優になる。

小学6年の時、劇団四季の『サウンド・オブ・ミュージック』に出演。 9カ月におよぶ公演が千秋楽を迎えた時、「この舞台に帰ってきたい」と心から思ったんです。その感動を再び味わうため、大学卒業後は劇団四季のオーディションに挑戦します。そして、いずれは映画やテレビなどでも活躍する俳優になりたい。自分のノウハウを子どもたちに指導する側になることも考えて、教職課程も履修しています。

ダンスパフォーマンスコース

Dance Performance

多彩なジャンルに対応する「マルチなダンサー」になる

華やかで躍動的なダンスパフォーマンスは、コンサート、ミュージカル、セレモニー、イベントなど様々なシーンを彩る重要な表現手段となりました。それとともに、ダンサーの仕事も多様化しています。踊れて歌える、踊れて演技ができる、バレエもジャズもヒップホップもできる、そんなマルチなダンサーが求められています。本コースでは、様々なスタイルのダンスを学ぶとともに、アーティストとして必要なヴォーカルやアクティングのレッスンも同時に行います。新しい時代のミュージックシーンを創り上げるダンサーを輩出することを最大の目的としたコースです。

身につく能力

- 異なるジャンルのダンスを融合･創造する力
- 自分の個性を見極め、発展させる力
- スキルをパフォーマンスとして発信する力

4年間の学び

1年次
まずはストレッチで柔軟性を高め、けがを防ぐとともに、ダンサーとしての体づくりを行います。様々なダンスの基礎として必要不可欠なバレエをはじめ、ジャズ、ストリート、タップなどの基礎を学び、身につけます。

2年次
体づくりの反復練習を行い、基礎力をより高めながら、各ジャンルのスキルアップを目指します。また、音楽とアクティングの授業を通して表現力を養いながら、多様化する舞台や仕事に対応する力を身につけます。

3年次
体づくりと基礎力の向上を継続しつつ、コンテンポラリーダンスを学び、体の使い方、表現の幅を広げていきます。様々なジャンルを習得する中で、自分の個性を表現してダンスを進化させていきます。

4年次
日本舞踊の授業を通して、和の世界を知り、所作を身につけます。これまでの学びで習得したスキルを発揮してクオリティーを高めながら、自身の個性を生かした作品づくりに取り組みます。

目指せる主な職種･職業 ≫ ダンサー／アクター／パフォーマー／テーマパークダンサー／タレント／振付師／ダンスインストラクター／音楽プロダクションスタッフ／ステージプランナー　など

世界で通用するダンサーになる。誰にも負けない情熱を武器に。

鈴木 健斗
Kento Suzuki

芸術学部 芸術学科
音楽領域｜ダンスパフォーマンスコース
大同大学大同高等学校出身

専用のダンススタジオが完備

Q どんなことに力を入れて学んでいますか？

A HIP HOP、ジャズ、バレエ。多彩なジャンルのダンスを知る。

このコースでは、ジャズにバレエ、HIP HOP、タップダンスなど、各ジャンルのダンスを基礎からみっちり習得します。この体験は、10歳からHIP HOPダンス一筋でやってきた自分に、発想のヒントを与えてくれました。ジャズのしなやかさ。バレエの正確な動き。様々な要素をHIP HOPに取り入れることで、表現の幅が広がります。自分の強みである即興のダンスも、レベルアップしたと感じています。

Q これからの目標や将来の夢は？

A ダンスだけでなく、ミュージカル俳優にも挑戦したい。

1年次の時、『あいちトリエンナーレ』で初めて演技に挑戦し、その楽しさに開眼。企業が主催するミュージカル公演のオーディションに合格し、出演を果たしました。将来は、ダンサーを主軸に俳優としても活躍し、世界を飛び回るのが夢。まわりには「規模が大きすぎじゃない？」と言われることもあります。でも自分には、誰にも負けないダンスへの情熱がある。それが夢を叶える自信につながっています。

声優アクティングコース

Voice Actor and Acting

声優としての「演技力」と舞台での「表現力」を身につける

声優やアニソン歌手に必要な発声訓練から身体トレーニングまで、幅広いカリキュラムを用意している本コース。アニメやラジオ、バラエティー番組、舞台など、声優の活躍の場が広がっている今だからこそ、演技に必要な技術と深い教養を習得していきます。声優業界の第一線で活躍する現役のアニメ音響監督による演技指導も実施。実践の機会も豊富に設けています。学内スタジオで、アニメや外国映画のアフレコ、ナレーションの実習を定期的に行って即戦力を養うとともに、ダンスレッスン、歌唱レッスン、「2.5次元ミュージカル」に欠かせないアクションのレッスンに取り組み、“舞台に立つ力”を身につけます。

身につく能力

- 声優の基礎となる、俳優としての演技力
- アフレコやナレーションなど、声優の技術力
- 歌やダンスや殺陣など、舞台における表現力

4年間の学び

1年次
前期は、発声、滑舌、身体トレーニングなどを学び、後期は、声優の基礎となる、俳優としての演技レッスンを行っていきます。また同時に、アニソンの授業も行い、歌唱力や表現力も身につけます。

2年次
現役の音響監督である教員の指導のもと、実際のスタジオというプロと同じ環境で、アニメのアフレコ実習を行います。さらに、格闘する演技の定型である殺陣の授業も始まり、舞台での表現力を広げます。

3年次
本番さながらのアフレコ実習をさらに多く行うことで、経験を積んで演技のコツをつかみ、即戦力となる技術を身につけます。同時に、朗読に特化した授業を行い、声による表現力を磨きます。

4年次
前期は、海外の映像作品のアフレコ実習を行い、より幅広い仕事ができる声優を育てます。後期は、卒業公演の舞台発表に向けて、殺陣やダンス、歌などを含めた総合的な表現力を高めていきます。

目指せる主な職種・職業 >> 声優／アニソン歌手／ミュージカル俳優／タレント／司会者／ナレーター／CMナレーター／ラジオDJ／ヴォイストレーナー　など

現実ではできないことを可能にする、アニメの世界が好き。

神戸 みら乃
Mirano Kambe

芸術学部 芸術学科
音楽領域｜声優アクティングコース
東邦高等学校出身

現役の音響監督による演技指導

Q どんなことに力を入れて学んでいますか？

A 物語の世界観に入り込み、絵に負けない演技をすること。

発声や滑舌の基礎、ナレーション、スタジオでのアフレコ練習、2.5次元ミュージカルの歌やダンス…。初めて経験することばかりで、毎日がとても充実しています。実写の映画やドラマと違って、アニメの登場人物は現実世界では起こらない体験や行動をします。絵に負けないような演技をするのは、本当に難しい。コースの仲間と録音した音源を聴き、互いにアドバイスし合いながら練習に励んでいます。

Q これからの目標や将来の夢は？

A 自分の声を生かせる仕事に就くこと。夢は声優！

小さい頃から映画が好きで、特にヒーローものやミステリーの非現実的な世界に惹かれます。私が声優になりたいのも、同じ理由。キャラクターに命を吹き込み、現実では味わえない体験を生み出せるなんて、素敵だと思うんです。『風の谷のナウシカ』で主人公役を演じた島本須美さん（※）のような、表現力豊かな声優になるのが目標です。
（※2020年度声優アクティングコース特別客員教授に就任）

サウンドメディア・コンポジションコース

Sound Media and Composition

「テクノロジー」を生かし音楽をつくり上げる

音楽の表現手法や創作の発想は、急速なテクノロジーの発達によって大きく変化しています。本コースでは、「今」の音楽表現に必要不可欠なデジタル技術やYouTubeなどの映像メディアとのコラボレーションなど、新たな発想による音楽教育を展開しています。そして、クラシックからロック、ゲームミュージック、アニソン、映画音楽、現代音楽まで幅広いジャンルの音楽表現を通して、音楽制作、レコーディング、音響PAについて学びます。音楽的・芸術的に優れた音を見極める能力を養い、多彩な分野で活躍するクリエイターや、アーティスティックな発想を持ったエンジニアなどの人材を育成します。

身につく能力

- 「今」の音楽表現に不可欠なデジタル技術力
- 幅広いジャンルでの音楽的・音響的な表現力
- 音楽的・芸術的にすぐれた音を見極める能力

4年間の学び

1年次
「新しい音楽」を創造する上でまず必要なことは、音楽理論を学び、生の音楽にふれ、感動を体験すること。そして、創造した音楽を音としてどう表現するかという録音音響技術の理解が必須です。その基礎を学び、知識を深めます。

2年次
作曲、録音実習、PA/SR実習に取り組み、音楽や音を人に伝えることがどういうものかを体験しながら理解します。技術面だけではなく、どのような音が人の心に響くかについて考えながら芸術的な音を研究します。

3年次
作曲、録音、音響の分野から一つの専門を決め、実際に作品を制作しながら深く学びます。今後、どの分野にも必要なオーケストラやインスタレーション、音と映像の融合についての知識を深め、自分の糧となる研究をします。

4年次
これまでの学びの集大成として卒業制作に取り組み、ポートフォリオとしてまとめます。音楽や芸術の本質を見極め、質の高い作品を創作し、社会に貢献できるアーティストやクリエイター、エンジニアとしての土台を完成させます。

目指せる主な職種・職業 》 作曲家／編曲家／サウンドクリエイター／コンポーザー／PA・SRエンジニア／音響デザイナー／レコーディングエンジニア／マニピュレーター／放送・MAミキサー／音響効果担当者／音楽科教員（中学校・高等学校）　など

卒業後の主な進路 》 株式会社カプコン／株式会社名古屋テレビ映像／株式会社東海サウンド／松竹ショウビズスタジオ株式会社／ベスティックオーディオ株式会社／株式会社アックス　など

作曲やプログラミングの技術を培い、将来に生かしたい。

小田 智之
Tomoyuki Oda

芸術学部 芸術学科
音楽領域｜サウンドメディア・コンポジションコース
飛鳥未来高等学校出身

作品制作を通して音と向き合う

Q どんなことに力を入れて学んでいますか？

A 学生がつくり上げる、年に1度のカレイドスコープ。

パソコンで楽曲制作するDTMを中心に、幅広い音楽ジャンルの作曲技術を学んでいます。僕が最も注力しているのは、年に1度、自作曲を発表できるカレイドスコープ。プロの管弦奏者の方に生演奏をしてもらえる貴重なチャンスです。音響や録音、映像といったコースの枠を越えた学生が参加し、ひとつの舞台をつくり上げる体験ができるのも魅力。3年次は委員長を任せてもらい、運営側の仕事も学べました。

Q これからの目標や将来の夢は？

A 音楽と異分野のメディアを絡めた仕事がしたい。

作曲はもちろんプログラミングも好きなので、両方のスキルを発揮できる仕事に就けたらと思っています。例えば、ゲームのサウンドプログラミング。プレイヤーの操作に応じて音を変化させる、インタラクティブな音楽制作に興味があります。音楽×ゲーム、音楽×映像など、異なる分野のメディアを絡めた仕事に携わることが目標。学生のうちに多様な技術を身につけて、将来の選択肢を広げたいです。

ミュージックエンターテインメント・ディレクションコース

Music Entertainment Direction

※2021年度に「エンターテインメントディレクション&アートマネジメントコース」から名称変更

ステージを「魅せる」スペシャリストになる

コンサートホールやライブハウス、野外フェスなど、様々な音楽の場面で心躍らせたり、元気をもらったりした経験のある方も多いのではないでしょうか。でも実はどんなに素晴らしい演奏やパフォーマンスでも、そのステージを裏から支えるプロフェッショナルがいなければ、観客に大きな感動は届けられません。本コースは、様々な音楽のライブやコンサートで活躍するステージスタッフを養成するコースです。音響や照明などの舞台技術や、ステージの企画・運営などを中心に学び、あらゆる音楽ジャンルのステージ創出を通して、人々に感動を伝えることができる人材を養成します。

身につく能力

- 音響や照明などステージを支える技術力
- 求められることを見極める洞察力
- チームで動くためのコミュニケーション力

4年間の学び

1年次
まずはエンターテインメントとは何かを学びます。その歴史をひも解きながら、現代社会における意義や役割を考え、技術者としての基礎を学びます。また、音楽を正しく理解する上でベースとなる「音楽理論」も学習します。

2年次
1年次での学びを深めながら、座学と実践・演習を進めていきます。基礎となる技術には理由があることを踏まえて、理論から正しく理解した、説得力のある舞台技術者になるための基盤づくりを行います。

3年次
豊富な実習を通して、自分の適性や興味のある専門分野を見極めていきます。また目まぐるしい技術の進歩によって日々変化するステージ機材とそのオペレーション方法などについて、最新の動向を研究しながら理解を深めていきます。

4年次
自分たちで考えた企画をもとにステージ演目を構築し、自らの表現方法を創り上げていきます。また、チームとして何をすべきかをディスカッションした上で公演をプランニングし、実際に公演を開催して4年間の集大成とします。

目指せる主な職種・職業 》 音響デザイナー／照明デザイナー／舞台監督（ステージデザイナー）／演出家／劇場等の企画制作担当者／音楽系企業および一般企業のイベント企画担当者　など

卒業後の主な進路 》 東海テレビ事業株式会社／株式会社名古屋東通／株式会社パシフィックアートセンター／公益財団法人名古屋市文化振興事業団／株式会社映像センター　など

舞台の裏方に必要なスキルと、挑戦することの大切さを学んだ。

村山 鈴夏
Suzuka Murayama

芸術学部 芸術学科
音楽領域｜エンターテイメントディレクション&アートマネジメントコース
名古屋市立富田高等学校出身

学内外の様々なイベントを裏から支える

Q どんなことに力を入れて学んでいますか？

A 名古屋芸大で開催される、様々なステージの裏方を経験すること。

舞台監督や演出家をはじめ公演の進行、大道具・小道具など、いわゆる舞台の裏方と呼ばれる仕事の基礎を学んでいます。名古屋芸大の魅力は、授業で習った知識を実践できるチャンスが豊富なこと。ミュージカルやダンス、声優、ポップス・ロックなど、各コースの公演の演出を私たちが担当するんです。手がける公演は年間10本以上。自分たちで考え、判断する力を、学生のうちに養える環境だと思います。

Q これからの目標や将来の夢は？

A 舞台まわりの仕事を担う、演出部や舞台部で働きたい。

舞台の制作会社に就職し、演劇やミュージカル、コンサートなど、多彩なジャンルの裏方仕事を経験したいと思っています。以前、凝った造りの舞台装置を依頼されたことがあるんです。骨の折れる作業だったけれど、本番で照明が当たった時、ステージに映えてすごく感動しました。何ごとも、1度挑戦してみないとわからない。新しいことも「自分には無理」と思わず、果敢に挑戦していきたいです。

音楽ケアデザインコース

Music Care Design

心を癒す音楽で「人・地域・社会」を元気にする

福祉や医療の現場における、音楽の新しい可能性に注目が集まっています。本コースでは、音楽ケア・療法の現場で必要とされる音楽療法技法や音楽心理学などの専門的な知識と技法を習得し、関連する疾病や障がい、医学などの理解も深めます。それらを実践に生かすために、学外でのワークショップ、病院や施設などでの実習授業を実施。アートとケアについての広い視野と実践力を身につけ、ケアとしての音楽をデザインすることで社会貢献できる人材や、音楽の持つ効用を医療や福祉の分野で生かし活躍できる人材を育てます。

身につく能力

- 音楽療法士として社会の課題を解決する力
- 音楽療法実践を通した自分と他者への洞察力
- 現場のニーズ達成のため、他者と協働する力

4年間の学び

1年次
学内で音楽療法模擬セッションを繰り返すとともに、学外でも参加型音楽会を行い、基礎的な実践力を身につけます。また、音楽療法理論の基礎を知ることで、4年間で習得すべき知識の範囲を見通します。

2年次
各分野での音楽療法技法や、医学・福祉・心理学などについての知識を習得します。また、人と音楽との様々な出会いの機会を持ちます。こうした知識や実践経験をもとに、現場のニーズを把握する力を身につけます。

3年次
医療・福祉の現場やコミュニティーのニーズに合わせた臨床即興技法や音楽創作を学びます。音楽療法の背景理論についても知識を深め、音楽、自分、他者、社会の関係についてディスカッションする力を身につけます。

4年次
医療・福祉の現場での音楽療法を主体的にコーディネート・実践・評価する協働プロセスを継続的に行います。特に関心を持った分野について自主的に調査し、卒業論文を執筆することで、卒業後の活動につなげます。

目指せる主な職種・職業 》 音楽療法士／医療・福祉・地域の現場での音楽ケアワークショップ実践担当者／音楽教室講師（音楽と健康担当）／コミュニティーイベントプロデューサー／音楽科教員（中学校・高等学校）　など

卒業後の主な進路 》 本町クリニック・服部神経内科／医療法人さわらび会 福祉村病院／公立学校共済組合 東海中央病院／松阪市療育センター／愛知県立特別支援学校　など

音楽やアートを通して、心のケアができるセラピストに。

阪野 美由紀
Miyuki Banno

芸術学部 芸術学科
音楽領域｜音楽ケアデザインコース
同朋高等学校出身

学外での活動も豊富

Q どんなことに力を入れて学んでいますか？

A 自分で考えた音楽ケアプログラムを、実習やボランティアで実践。

障がい児保育園や高齢者施設の実習では、自分たちで考案した音楽ケアプログラムを実践します。その人の特性や症状に合わせたセッション内容にするため、音楽はもちろん福祉、医療、保育、心理学など幅広い知識が必要。さらに現場では、臨機応変に演奏できる技術や、人前でわかりやすく話すスキルも求められます。実践でしか学べないことも多いので、ボランティアにも積極的に参加して勉強中です。

Q これからの目標や将来の夢は？

A 音楽や福祉、教育関係の施設で、セラピストとして働きたい。

高校までは電子オルガンを専門に学び、大学ではギターも始めました。絵を描くこと、舞台やミュージカルの鑑賞も好きです。そんな経験を生かして、音楽・福祉・教育関係の施設でセラピストとして勤め、音楽やアートをケアに取り入れたいと思っています。障がいの有無、子どもや大人といった年齢関係なく、言葉で表すことが難しいモヤモヤした感情を、芸術を通して表現するお手伝いがしたいです。

音楽総合コース

Comprehensive Music

「幅広い音楽」の中で自分の音楽スタイルを磨く

授業を受ける中で、自分の目的や興味を見定め、それに合わせたカリキュラムを選択できることが、本コースの特徴です。最初の2年間は、音楽領域のコースをまたいで自分が受けてみたい科目を選び、実技科目も複数同時に選択することができます。この期間で自分の可能性をいろいろと試し、担当教員による指導やアドバイスを参考にしながら、進路について考えていきます。3年次に進級する時に、希望のコースを絞って選択することも、そのまま音楽総合コースで幅広く学ぶことも可能です。希望を叶えるカリキュラムを自分で組み立て、自分らしさを磨いていくことを目標にしています。

身につく能力

- 自分の適性に合った音楽的専門性を磨く力
- 音楽文化を多角的に捉え他分野と融合する力
- ライフスタイルをコーディネートする力

4年間の学び

1年次
音楽領域の各専門コースの特性を知った上で、学びたい知識や技術を決めてカリキュラムを組みます。それぞれの科目の学びを自由に展開しながらも全体の軸を持ち、4年間の支えとなるよう、徐々にコーディネートしていきます。

2年次
1年次で習得した知識や技術をもとに、自分の学びの方向性を考えます。同じ分野を選んで深く探求するか、まったく新しいコースの知識と技術を学ぶかを、将来像を見据えながら、自分の意思で選びます。

3年次
音楽総合コースを継続するか、各専門コースに進むかを選べます。自分の専門性の軸を決めた上で、コースを横断する多角的な学びを行い、幅広く高度な知識・技術を身につけます。これまでの経験も融合し、自らの力にします。

4年次
具体的な将来像を見据えながら、大学生活で学んだ総括を行い、自分にとっての総合的な意味を熟考します。それを踏まえ、将来像に沿って演奏、論文、企画、音楽舞台創造などの卒業課題に取り組みます。

目指せる主な職種・職業 》 演奏家／プレイヤー／作曲編曲家／音楽科教員（中学校・高等学校）／音楽教室講師／音楽指導者／楽器メーカー・楽器店スタッフ／俳優・パフォーマー／ステージスタッフ／サウンドクリエイター／PAエンジニア　など

卒業後の主な進路 》 一般財団法人ヤマハ音楽振興会 中日本支部／株式会社東海テレビプロダクション／株式会社東海サウンド／株式会社サンデーフォークマネージメント／愛知県公立小・中学校　など

音楽総合コース 学びの流れ

自分の適性や目的に合わせて
全コースのカリキュラムを自由に選択し受講

1・2年次

声楽コース
鍵盤楽器コース（ピアノ）
鍵盤楽器コース（電子オルガン）
弦管打コース
ウインドアカデミーコース
ポップス・ロック＆パフォーマンスコース
ワールドミュージック・カルチャーコース
ミュージカルコース
ダンスパフォーマンスコース
声優アクティングコース
サウンドメディア・コンポジションコース
ミュージックエンターテインメント・ディレクションコース
音楽ケアデザインコース

3・4年次

- 各専門コースへの変更が可能
- 音楽総合コースを継続

ピアニスト × 作曲家。自分だけのスタイルを確立するための4年間。

瀧澤 俊
Shun Takizawa

芸術学部 芸術学科
音楽領域｜音楽総合コース
上野学園高等学校出身

定期演奏会での演奏

Q どんなことに力を入れて学んでいますか？

A ピアノと作曲を専門的に学び、両方のスキルを極めること。

多くの芸大や音大では、ひとつの分野を専門的に突き詰めることが多いと思います。でも僕は、幼少期から続けてきたピアノに加え、作曲も本格的に学びたかった。総合音楽コースは、全コースから興味のある分野を複数選択でき、ピアノと作曲を両方学ぶことができるんです。特別講師の横山幸雄先生、上原彩子先生など、世界で活躍する音楽家からマンツーマンで指導を受けられる貴重なチャンスもあります！

Q これからの目標や将来の夢は？

A 学生のうちに経験を積み、自分にしか歩めない道を見つけたい。

まだ具体的な夢は決めていませんが、ピアノと作曲を学んだ自分にしかできない仕事に就きたいです。ピアノの魅力が伝わるピアニスティックな曲を作曲したり、既存の曲を作曲家ならではの視点で演奏したり…。将来の方向性を見つけるために、この4年間は人前で演奏する機会を増やそうと思っています。コンクールに出場したり、オーケストラとの競演に挑戦したり、自分の可能性に挑戦中です。

舞台芸術領域

芸術学部 | 芸術学科

School of the Arts - Department of the Arts

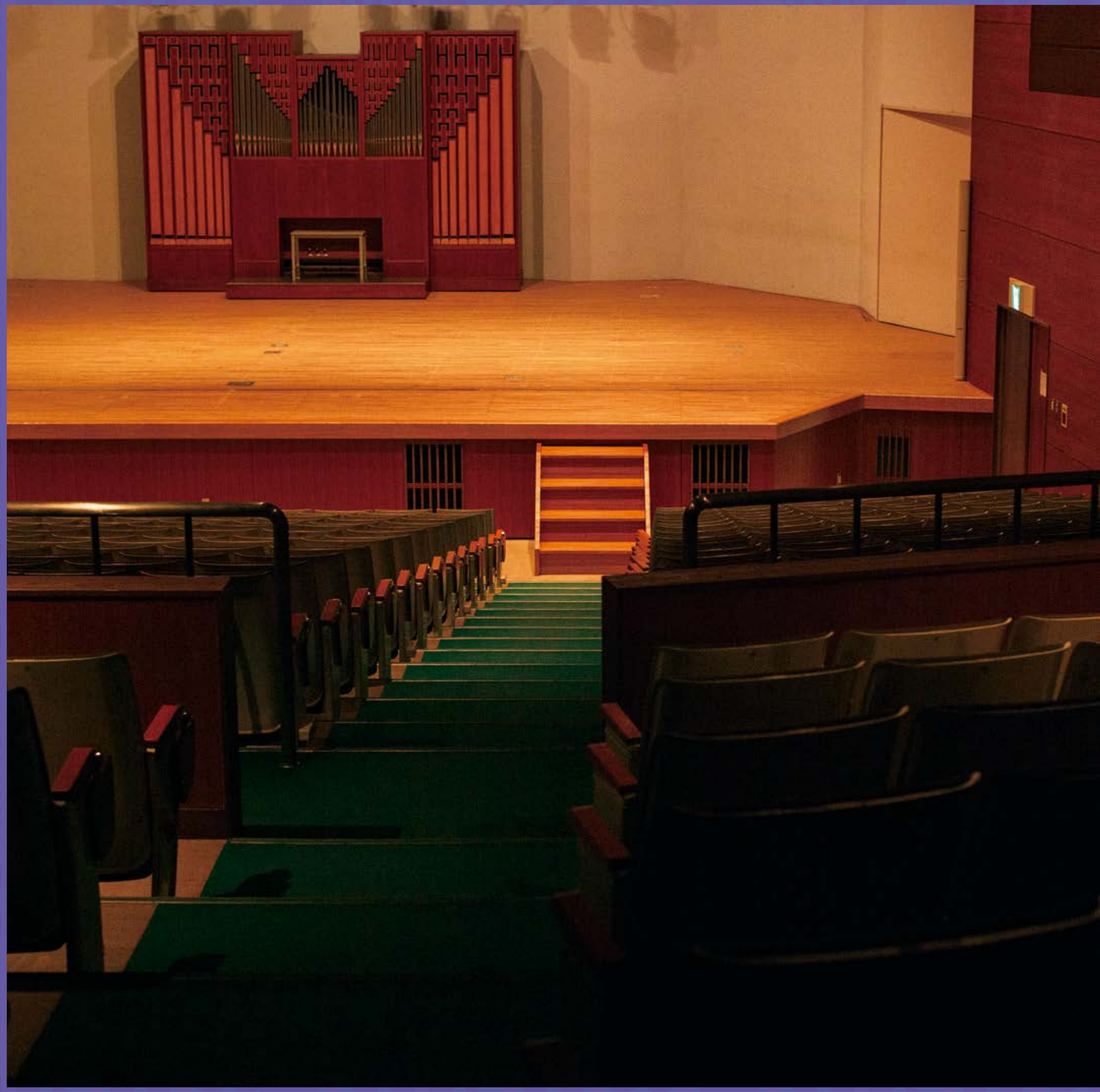
Performing Arts Production and Management Division

舞台美術コース

演出空間コース

舞台プロデュースコース

2021年度
新設！



2021年度
新設！

学びの
特徴

あなたが舞台をつくる

舞台に立つだけが、舞台芸術のぜんぶじゃない

「舞台芸術」とは、「舞台」で上演される音楽や演劇、舞踊のことを指し、そこからさらにオペラやバレエ、歌舞伎、ミュージカル、現代舞踊など多彩なジャンルに分かれています。そんな舞台芸術を創るためには、実は舞台上の出演者だけではなく、舞台美術、舞台技術、企画制作といった専門的な仕事が必要です。たとえば、舞台上の大道具や小道具を創る舞台美術家、光で舞台を演出する舞台照明家、音の演出や音響空間の設計を担う舞台音響家、そして舞台芸術全般をゼロから企画制作していく舞台プロデューサーやディレクターなど、多くの専門家たちの力が集結してはじめて、舞台は幕を開けることができます。近年、劇場内はもちろん、街中やインターネットなどでも身近に楽しまれている舞台芸術。本領域は舞台芸術について幅広くとらえ、様々な側面から学ぶことで、舞台芸術に関する専門的なスキルと総合的な知識を身につけたプロフェッショナルを養成します。

舞台芸術領域の3つのコース

舞台芸術領域では、舞台芸術全般の学びのほか、「舞台美術コース」「演出空間コース」「舞台プロデュースコース」の3コースにそれぞれ分かれ、これらの専門的な内容を、理論と実践の両側面から総合的に学んでいきます。そして卒業後、舞台美術家、舞台照明家、舞台音響家、舞台プロデューサー、ディレクター等、舞台芸術に関わる多様な職業につく人材の輩出を目指します。

舞台芸術領域での4年間の学び

1年次

1年生は3コースのすべての基礎を全般的に学ぶ時間です。どのように企画され制作されていくのか、どのように舞台美術は考案され創られていくのか、どのように照明や音響はデザインされていくのか、また、舞台芸術の歴史や社会的背景、著名な作品、舞台芸術業界の常識等々、様々な内容の基礎を学びます。

POINT
幅広い知識を身に付ける貴重な1年間。1年生の学びは、将来、社会に出た時に実はすごく力になるのです！

2年次

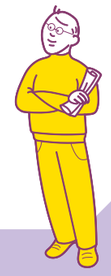
2年生からコースを選択して専門的に学びます。1年次の時の学びに比べて、ぐっと専門的になります。舞台美術コースでは実際に模型や舞台美術セットを創り、演出空間コースでは専門ソフトの使い方を覚えたり、学外のホールも使って機材の操作を学んだりします。舞台プロデュースコースでは実際の公演を企画制作します。※但し、演出空間コースでは、音響と照明の両方を学びます。

POINT
専門コースの基礎を身に付ける1年間。将来、社会で困った時に戻る専門分野の原点は2年次の学び。シンプルだけど奥の深い1年になるはず！

3年次

3年生ではさらに専門性が深まりますが、2年次までともっとも大きく違うことは、演出家との共同作業が本格的に始まることです。舞台芸術は、美的に優れたものを演出家の意図に沿ったり、舞台の大きさや機構に合わせたりしながら、それぞれの担当分野で制作していくという点が重要です。また、公演を宣伝したりチケットを売ったりすることもとても大切です。実習が増えますが、実践を支える理論の学びも継続していきます。

POINT
インターンシップも含めて、外部の人たちとの関りが一気に増える1年間。プロのアーティストの舞台を創ることもあるかも！？



4年次

4年生は大学生活の集大成として、卒業制作公演に向けて領域全体で一致団結して取り組みます。学外の劇場で実施する大掛かりな卒業制作公演のために、1年間かけて準備をしていきますが、それだけではなく、各コースで卒業研究も行い、理論と実践による大学生としての学びを完成させます。

POINT
これまでの夢が、卒業後のキャリアとして現実的になっていく1年間。社会人としての振る舞いも覚えていく1年間になるはず！

卒業後のキャリアはこんな感じ！

舞台プロデューサー

どんな舞台にするかという大元のアイデアを考え、それを現実の形にしていく、舞台芸術に不可欠な存在。企画・立案から予算・演出・キャスティングまで総合的に携わる舞台の総責任者。芸術への造詣はもちろん、ビジネスに関する能力も求められます。

舞台美術家

舞台で使用する大道具・小道具の設計やデザイン、制作を担います。脚本家や演出家などの意向をもとに、作品のイメージを観客により伝えるための舞台装置や衣裳をデザインしたり、美術関係の制作のマネジメントをしたりします。

舞台音響プランナー

舞台における音楽や音響効果を扱います。音に関する演出のほか、観客に届けるための音響空間の設計などを担います。音響に関する深い知識やセンス、そして舞台のコンセプトに合わせた音をデザインする能力が求められます。

舞台照明デザイナー

舞台において照明を用いた演出を行う、光のアーティスト。舞台監督やディレクターなどと打ち合わせながら、使用する照明機材や内容を考え、場の雰囲気や出演者の魅力を引き出すためのライティングをデザインします。

美術領域

芸術学部 | 芸術学科

School of the Arts - Department of the Arts

Art Division

日本画コース

洋画コース

現代アートコース 2021年度New

コミュニケーションアートコース 2021年度New

工芸コース 2021年度New

美術総合コース 2021年度New

学びの
特徴

社会に新しい価値を生み出すアーティストに

「アーティスト」とは、作品を通じて世の中に新しい視点や選択肢をつくり出す人のこと。
自由な自己表現の先に、現代社会に新しい価値を生み出す。それが「アーティスト」の役割です。

名古屋芸大の美術領域ではそんな「アーティスト」を育てるため、様々な取り組みを行っています。まずは表現にまつわる様々な手法を学び、広い視野の中で自らの表現方法を模索。その後、展覧会や産学官連携プロジェクトを通じて、社会や他者に作品を伝える技術を身につけます。また先輩アーティストの話を聞いたり、現代のアートの立ち位置を学びながら、将来の選択肢やイメージを広げていきます。

卒業後も社会で活躍できる「アーティスト」としての基礎を築く4年間です。

特徴
01

「美術＝絵を描くこと」という既成概念を壊し、作品の幅と視野を広げるアート・ファンデーション

最初は「ものをつくるのが好き」という気持ちだけでも大丈夫。やりたいことが具体的に見えないときこそ、柔らかな頭で「美術」と向き合うことができるからです。自己と向き合いテーマを掘り下げるには、まず多様な選択肢を知ることが大切。そこで、1年次からあらゆる表現手法に触れられる仕組みが共通カリキュラム「ファンデーション」です。様々な素材・道具の専門知識を持った教員陣、種類豊富な創作メソッドに出会うことで、早い段階から作品の幅を広げます。
また、絵画以外へのアプローチも多数用意。映像・写真・インスタレーション・批評などを専門とした教員や、ラジオ番組制作・地域の店舗ディスプレイ制作など多岐にわたるプロジェクトを通し、多様な価値観に触れながら視野を大きくします。

Teacher's VOICE

秋吉 風人 准教授
Futo Akiyoshi

「自分の可能性を広げるには
美術に対する固定観念を
最初に壊す必要がある」

特徴を実現するための授業や取り組み

専門家教員による丁寧な指導とサポート

様々な技法や素材・道具に関する確かな専門知識を持った教員が作品制作を丁寧にサポート。漠然としたアイデアやイメージでも、実際にかたちにする際の、制作工程や作業ツールについて具体的にアドバイスを受けられるため、創作の方向性が導かれます。またその過程において素材そのものの魅力や特性も知ることができ、必要な知識や技術を深く体得することができます。

学内外での作品発表の機会

毎年、1年次から3年次にかけて、学内外のギャラリーやアトリエを会場として「レヴュー展」を開催。そこで一年間の集大成を発表します。そのほかにも各コース主催の作品展や、卒業生を交えたグループ展なども多数開催。社会に向けて積極的に作品を発表し、多くの人の目に触れさせることで「伝える力」を養い、今後の作品制作に生かします。

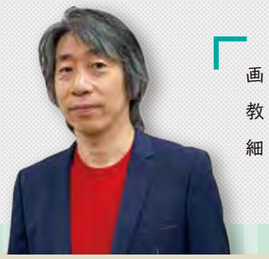
特徴
02

アーティストとして
社会と
どう関わっていくかを
実践的に学ぶ

キャンパスには一人ひとりに与えられたアトリエ・スペースがあり、制作に集中できる環境を用意。そこで自分の表現を模索し形にしたあとは、社会にアウトプットしていくことを大切にしています。
毎年複数回開催される学内外での展示会・グループ展では、作品のプレゼンテーションと講評会を行い、自分の考えを伝えフィードバックを得ることを学びます。また、産学官連携プロジェクトも多数実施。企業や自治体などと連携し、野外や街の空間を魅力的にする作品を設置したり、ファッションショーの舞台を作ったりと様々な内容で、社会に美術を活かす方法を実践的に学びます。
アーティストとして社会とどう関わり、どんな役割を果たしていくのか。在学中から試行錯誤できる環境です。

Teacher's VOICE

長谷川 喜久 教授
Yoshihisa Hasegawa



画材に対する深い知識を持った
教員が、学生個々の要望に対して
細かく対応していきます

ア"ーッ！ラジオ

美術領域の学生が中心となって放送する3日間限定の学内ラジオ番組。学生が毎年テーマを決めてリサーチを行い、制作します。ラジオ番組という特性を生かし、思考の言語化を試みる機会であると同時に、既存の美術分野にとらわれない表現方法に取り組む場ともなっています。また皆で一つのラジオ番組を企画し、創り上げていく体験は、今後の作品制作においても生かされます。

アトリエ・スペース

美術領域では、学生一人ひとりにアトリエ・スペースを用意。それは制作に集中し、自分の表現を模索できるパーソナル空間であると同時に、それぞれの学生の個性が表れたショーケースでもあります。

特徴を実現するための
授業や取り組み

特徴
03

第一線で活躍する
先輩アーティストと接して、
これからの
キャリアを描く

卒業後、大学で学んだことを生かしどうやって社会で生きていくのか？は、とても大事な問題です。自分の表現したいものを作るだけでなく、社会で役割を担って応えていくために、まずはどんなキャリアモデルが存在するのかを知ることが大切。在学中に少しでも多く選択肢を知っておくことで、自分の将来の可能性が広がります。
そのため、国内外の第一線で活躍しているアーティストやクリエイターをゲスト講師として招き、話を聞く場を多く用意。また名古屋芸大のOB・OGとも連携し、卒業後どのように活動しているのかリアルな声を聞く機会も豊富に作っています。様々な先輩の話を聞くことで、自身のキャリアを具体的に描くことができます。

Teacher's VOICE

松岡 徹 准教授
Toru Matsuoka

多様性が必要な時代に、
特定の専門知識だけを
追求していても広がりは出ない

HEIGEN（シリーズ平原）

美術領域の教員や、外部からゲストを招いて行われるトークイベント。第一線で活躍するアーティストを月1、2回のペースで招き、世界のアートシーンの動向や、これからのアートに求められること、制作現場から発表の場に関する様々なスキルやノウハウなどについて直接話を聞くことができる機会です。

OHOC（オーホック）

在学中の4年間で100名のクリエイターに出会い、卒業時には自分が 101 番目のクリエイターになることを目指す講座「OHOC（One Hundred & One Creators）」。様々な分野で活躍する多彩なクリエイターを招き、その考えや活動に触れることで、創作者・表現者としての生き方の幅を広げていきます。

特徴を実現するための
授業や取り組み

日本画コース

Japanese Painting

日本画特有の「繊細さと伝統」を感性に生かす

日本画の伝統や画材の魅力を学び、それを現代に生きるあなた自身の感性と結び付けます。そのためには、表面的な技法に満足することなく、見る・感じる・考えることの追求が大切です。一色ずつ丁寧に絵の具を溶いていく日本画制作は、思考の深まりを育て、完成までの時間が自信を育む貴重な道のりとなります。本コースでは、そうした時間をかけてものと向き合い、発想力を伸ばしながらじっくりと基礎を固めます。そして、自らの意思を持って内面を探り、表現手段としての技法も多種身につけることにより、人として、アーティストとして、大きくスキルアップします。さらに、外部講師の講評や学年の垣根を越えた授業を通して、自己の世界の探求と向上を目指します。

身につく能力

- アーティストとしての絵画的表現力や広域な発想力
- 美術やその歴史に対する豊かな知識
- 画材や技法の基礎を体得し、オリジナリティへと昇華させる力

4年間の学び

1年次
写生、着彩、クロッキーなどを行い、制作の基盤となる「ものを見る力」を高めます。日本画材の基礎と、絹本、截金、箔など様々な画材による表現方法を体得し、制作に役立てる準備を整えます。また、美術領域「ファンデーション」による多様な表現方法もあわせて体験します。

2年次
古典模写を通して、先人が目指した美意識や日本画の伝統的な一面を理解し、技法描法を身につけます。日本画制作では毎回テーマを設定し、イメージを具体化する力を身につけます。

3年次
自由制作を中心とした年間プログラムにより、それぞれの発想力を柔軟で広域なものに育てていきます。作品サイズを小作品から100〜150号と幅広く設定しているため、画面寸法への対応力が向上し、自己表現の充実度も高まります。

4年次
3年次までの制作体験をより深め、それぞれの個性を大切にしながら、前期は自由制作、後期は卒業制作に臨みます。進学や就職など次のステップに必要な知識や技術の習得も、人生の目標に近づく大切な要素として取り組みます。

目指せる主な職種・職業 画家（日本画家・現代美術作家）／文化財修復技術者／伝統工芸作家／舞台道具制作者／絵画教室講師／漫画家／学芸員／美術科教員（中学校・高等学校）／工芸科教員（高等学校）　など

卒業後の主な進路 三浦佛工有限会社／ 株式会社DMM.comラボ／株式会社オリンピア／セントラル画材株式会社／株式会社サンレジャン／有限会社竹正／岐阜県公立中学校　など

自分の心情や思想を
モチーフにした人物を、
日本画で表現。

安藤 祐実
Yumi Ando

芸術学部 芸術学科
美術領域｜日本画コース
愛知県立尾北高等学校出身

「自由」

Q どんなことに力を入れて学んでいますか？

A 表現の幅、思考の幅を広げること。

高校時代、名古屋芸大の卒展で日本画の作品を見て感銘を受け、「これだ」と思ったのがきっかけで日本画コースへ。現在は、いろいろな描き方を研究中。自分の思想や感情をもとに、自分であって自分ではない象徴的な人物を表現しています。救われたい気持ちを表したり、夢と現実の境界の曖昧さを描き出したり…。その時々の内面が作品に反映されるので、思考の幅を広げるために哲学や宗教も勉強しています。

Q これからの目標や将来の夢は？

A 生涯を通して、絵を描き続けたい。

卒業後は大学院進学も視野に入れ、より深く日本画を研究したいと思っています。今は人物画しか自分を投影して描けないので、ゆくゆくは人物画を極めて、ほかのモチーフも表現できるようになりたい。将来的には、作家として活動するのが目標。生涯を通して何かをやり続けることって、とてもすごいことだと思うんです。続けた先には新しい発見があり、自分の価値観も広がっていく。そんな体験をしたいです。

洋画コース
Oil Painting

モノを「見る」力と「表現する」技術を磨く

ものを描くとは、そっくりうまく描くことではありません。自然の造形や妙にふれ、美しさや神秘的なもの、崇高なものなどを感じとり、人の心を動かす、深くて存在感のある作品を生むことです。本コースでは、これから先もずっと制作活動を続けるための基盤となる確かな観察力や描写力や発想力を養い、表現を支える素材の知識や技法の習得を目指します。また、感性や才能を突出させる芸術教育を行うとともに、学内外のギャラリーなどで作品発表の機会を設けています。そこでプレゼンテーションの力を磨くことで、自分の考えを作品を通じて社会や人に伝えることを身につけ、将来は世界で活躍する画家やアーティストになるための実力を養います。

身につく能力

- ▶ 絵画表現の基礎となる観察力･描写力･発想力･表現力
- ▶ オリジナルな作品表現を構築する力
- ▶ 自分の表現や作品を伝えるプレゼンテーション力

4年間の学び

1年次
西洋の伝統的な油彩画にふれ、基本的な技術を習得するとともに、いまの時代に求められる絵画表現を学びます。様々な素材実習を体験して、基礎となる観察力や描写力を養い、知識と技術力を身につけます。

2年次
ゆったりとした個別の制作スペースがあり、そこで様々な教員が投げかける独自の課題に対し、制作を進めます。学生一人ひとりの自由な発想や個性を尊重する実技指導が展開されます。

3年次
学外からの美術関係者や特別講師による授業に積極的に関わり、作品レベルの向上を目指します。また、自らの研究テーマに基づき、のびのびとした空間のアトリエで、多様なメディアを選択し、自由な制作・表現を試みます。

4年次
大作の制作や展示演習など社会を意識した活動や、自分のイメージやアイデアをかたちにした作品制作を数多く試みます。それぞれの個性や感性を磨くことができるよう、卒業後の進路に向けたアドバイスが行われます。

目指せる主な職種･職業 〉〉 アーティスト／画家／学芸員／アニメクリエイター／CGデザイナー／デザイナー／美術科教員（中学校･高等学校）／工芸科教員（高等学校）　など

卒業後の主な進路 〉〉 株式会社スタジオジブリ／株式会社カプコン／有限会社カイカイキキ／株式会社ピーエーワークス／日本写真判定株式会社／有限会社ザットインターナショナル／愛知県公立中学校　など

模索し続けて手に入れた独自のスタイル、「ニューネオンアーツ」。

田畑 玲
Ryo Tabata

芸術学部 芸術学科
美術領域｜洋画コース
三重県立いなべ総合学園高等学校出身

「衝動」

Q どんなことに力を入れて学んでいますか？

A 誰が見ても自分の作品だとわかる、オリジナリティの追究。

私は1〜2年生の間は自分の画風が定まらず、ずっと模索し続けていたんです。蜷川実花さんのように、誰が見てもひと目でその人の作品だとわかる…そんなオリジナリティのある世界観に憧れを抱いていました。そして3年生の時、やっと編み出したのが「ニューネオンアーツ」という独自のスタイル。元々写真だったものをデジタル化、アナログ化し、描いた作品で展示会やSNSでどんどん発信しています。

Q これからの目標や将来の夢は？

A いつか、地元でアートに携わる仕事ができたら。

地元のギャラリーで作品を展示させてもらう機会があり、アートを活用したまちづくりに可能性を感じました。社会人として仕事をしながら制作活動を続け、いつかアートを絡めた地元のまちづくりプロジェクトに携われたら…と思っています。そのほかにも、以前から興味のあるテキスタイルも勉強してみたいし、やりたいことがたくさん。残りの大学生活でチャレンジしていきたいです。

現代アートコース

Contemporary Art

2021年4月新設

「いま」と向き合い 未来への道をつくる

アートや作品制作に関する、高度かつ専門的・体系的な知識と技能の習得を目指します。これまでの美術史を学び、技法を幅広く習得しながら「いま」と向き合い、数ある作品制作の過程から、未来への起点となるアーティストとしての価値観を形成していきます。それらに加え、プロデュースやマネジメントなどの方法論を学び、ゲストによる講座、学内ギャラリーでの展示企画などを通して、主体性と創造性を持つ人材を育んでいきます。また、未来への最善の道を探るため、様々な分野の表現を複合的に取り入れながら、自らが理想とするゴールに向けて粘り強く探求し行動する力を養います。

身につく能力

- 磨かれた感受性、観察力、表現力、技術力
- 課題への挑戦で得られる問題解決力
- 実技と理論で培う、アートを読み解く力

4年間の学び

1年次
洋画コースと共同で、デッサン（ドローイング、素描）、絵画、材料、技法について実習。絵画表現に関する理論、写真や映像などのデジタル機器操作技術、平面・造形・空間設計などの基礎を学びます。また、美術領域「ファンデーション」による多様な表現方法もあわせて体験します。

2年次
多角的な視点で、表現を磨きます。現代アートに必要な専門知識と理論、多様な技術や表現方法を繰り返し学ぶことで、対象に迫る観察力や創造力を養い、コミュニケーション力や考えを伝えるプレゼンテーション力を身につけます。

3年次
現代アートシーンの第一線で活躍する教授陣やゲスト講師が、一人ひとりに寄り添った実技教育を行い、多様で自由な表現を高めます。広い視野と深い思考を育み、表現におけるさらなる教養を身につけることができます。

4年次
自由制作や卒業制作を通して、のびのびとした環境で、新たな価値を発見し創造していきます。これまでに培った高度な知識と体験は、構想力や創作力、そして強い発信力によって将来の社会進出への足掛かりとなります。

目指せる主な職種・職業 》 アーティスト／学芸員（キュレーター）／アニメーター／イラストレーター／グラフィックデザイナー／漫画家／絵本作家／美術科教員（中学校・高等学校）／工芸科教員（高等学校） など

アートの周辺を知り、作品を展開する力を養う。

秋吉 風人
Futo Akiyoshi

田村 友一郎
Yuichiro Tamura

芸術学部 芸術学科
美術領域｜現代アートコース
准教授

様々な表現を取り入れるため、ときにはマンガも現代アートの表現メディアに

現代アートというと、よくわからない、何でもありといったイメージを持たれる方も多いかもしれません。しかし現代アートとは、美術史や歴史の文脈に寄り添いながら、どのような文脈の上に立脚し、自らの問いを作品を通して現代の社会に投げかけるというダイナミックな実践であり実験とも言えます。現代アートコースでは、絵画を描く技術のみならず、様々な側面からアートや社会に関わります。例えば展覧会を開催する場合、企画する人、見せ方を考える人、作品を設置する空間を作る人など多くの人が関わって成り立っています。本コースでは各分野の専門家を招き、その世界を知り、また作品についてのアドバイスやサポートする機会を設け、作品を展開していく力を身につけます。またアート以外の知見も意欲的に取り入れていくことを試みます。アートや社会についての様々な事例を学び、卒業後は作家としてだけではなく、企画やマネジメントといったアートの仕事に関わる人材もここから巣立っていってもらいたいと思っています。

コミュニケーションアートコース

Communication Art

2021年4月新設

アートの力で人をつなぎ、社会をもっと幸せにする

アートの力で人と人を結び、社会のニーズに応える「ものづくり」ができるクリエイターを育てるコースです。様々な素材に触れ、彫刻、立体造形、フィギュア、人形制作、版画、平面など多様な表現を学びながら、造形力と創造力を身につけます。そしてたくさんのクリエイターと作品に出会い、感性を磨きながら、自分の個性を伸ばします。さらに展覧会やワークショップ、学外アートプロジェクトを積極的に行い実践力を磨くことで、視野を広げ、社会への関わりを意識し、コミュニケーション力を養います。それぞれが自分の持つアートの可能性を発見し、卒業後は、これからの社会をより豊かにすることができるプロのクリエイターを目指します。

身につく能力

- 様々な要求に答えることができる造形力
- 社会が求める「ものづくり」を思考する創造力
- 人とアイデアを結ぶコミュニケーション力

4年間の学び

1年次
デッサン、絵画、彫刻、工芸、版画などアートの幅広い表現を体験できる美術領域ファンデーションで基礎的な技術と知識を養い、コース別の授業では立体制作を中心にその表現方法と知識を学び、造形力を身につけます。

2年次
立体造形、フィギュア制作、版画などの技術をより専門的に学びます。様々な素材、多様な技術を習得することで、自分の良い点、自分ならではの切り口を見つけ、自主性を高めてアートの力を伸ばします。

3年次
自分の表現を模索しながら、産学官連携プロジェクトなどの学外活動にも積極的に参加。地域の企業や自治体の要求に応えていく「ものづくり」を体験し、社会の中でのアートの役割と必要性を学びます。

4年次
身につけた自らのアートの力で、何ができるのか、社会に対してどう使うべきかを考え、卒業後に自分の能力を発揮し社会に必要とされるクリエイターになることを目指します。

目指せる主な職種・職業 >> アーティスト／イラストレーター／デザイナー／絵画教室講師／舞台美術・造形制作者／フィギュア・グッズ制作者／ものづくりの職人／学芸員／美術展やイベントなどの企画者／美術科教員（中学校・高等学校）／工芸科教員（高等学校）　など

卒業後の主な進路 >> 1-UPスタジオ株式会社／株式会社動画工房／株式会社ツインエンジン／フタバ株式会社／株式会社世界堂／愛知県立特別支援学校　など　※参考：アートクリエイターコース（コミュニケーションアート）進路実績

個性豊かな仲間から
刺激を受けながら、
舞台美術の仕事をめざす。

武藤 あやみ
Ayami Muto

芸術学部 芸術学科
美術領域｜アートクリエイターコース
愛知県立岩倉総合高等学校出身

「ずっと真夜中でいいのに.」

Q どんなことに力を入れて学んでいますか？

A 学外から依頼されたプロジェクトに参加すること。

大型書店のクリスマスディスプレイ、キャラクターの立体制作、田んぼアートのデザイン提案…。このコースでは、企業や行政から依頼されたプロジェクトが充実しています。学年の垣根を超えて取り組むため、自分にはない発想やスキルを吸収できる絶好のチャンス。ともに切磋琢磨することで、コース全体の士気も上がるんです。社会の中で求められるアートを考えるきっかけにもなりました。

Q これからの目標や将来の夢は？

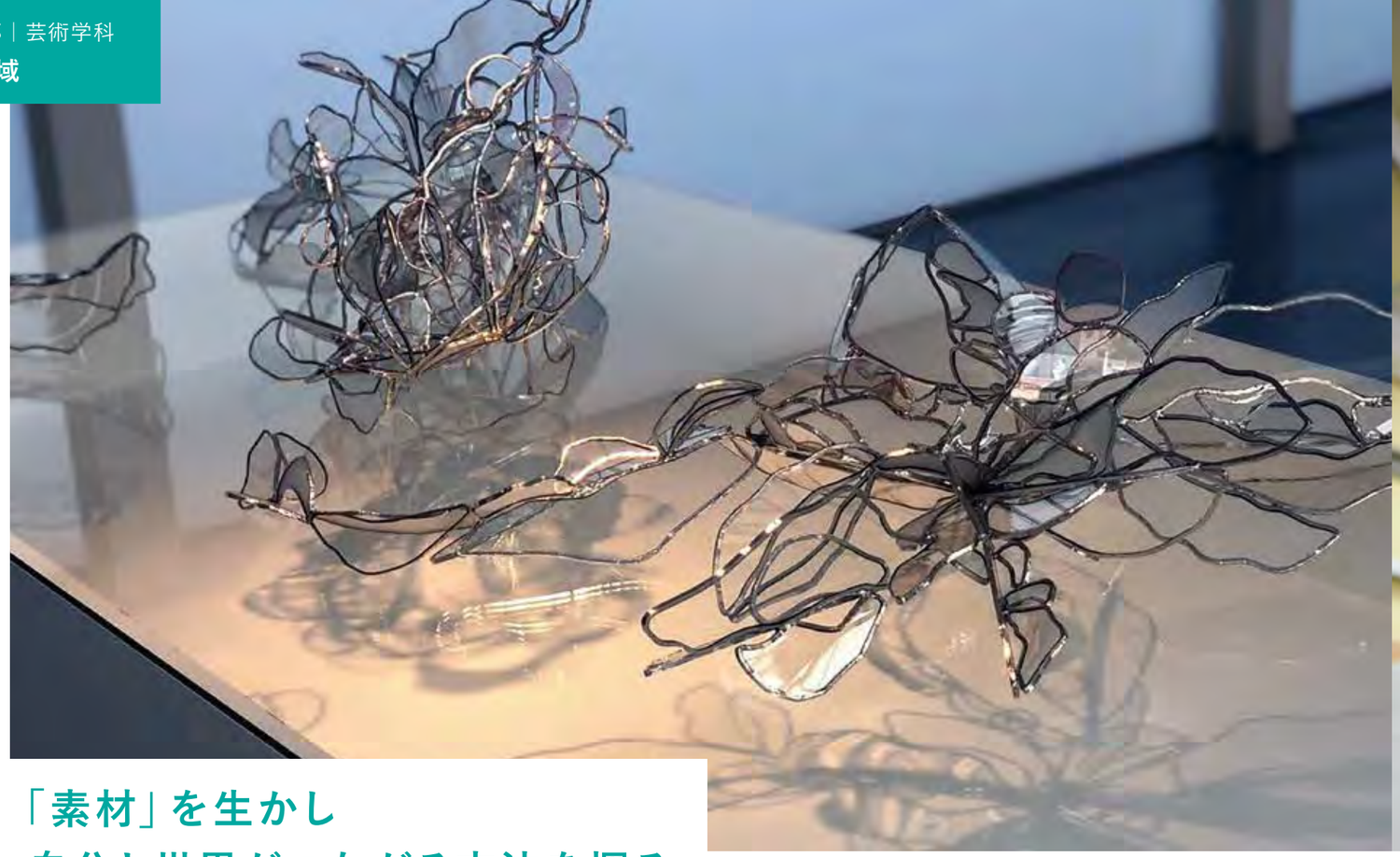
A 舞台美術や美術セットを制作する仕事がしたい！

小さい頃から図画工作が大好き。現在もその延長線で、空きビンや厚紙など身近なものを使った作品を作り続けています。制作の過程で、ふとよみがえった記憶があるんです。物心ついた頃に初めて見に行った『赤ずきん』の劇で舞台美術を目にして、「ここで遊びたい！」と思ったこと。昔の自分が夢見たことを実現できたら、当時の私はどれだけ喜ぶんだろう…。そんな想いで、夢に向かって邁進中です。

工芸コース

Arts and Crafts

2021年4月新設



「素材」を生かし
自分と世界がつながる方法を探る

陶土に触れた時の感覚や、ガラスの熱く輝く姿へのときめきは、リアルな体験から生まれるものであり、実感なくして真実は語れません。陶芸もガラスも、器からステンドグラスなどの私たちの生活に密着したものからアート作品まで、どんな表現にも対応可能な魅力をもった素材です。陶芸では手びねり、ろくろ、型による成形、ガラスでは吹きガラス、研磨、鋳造など多様な技法を学びながら、素材の特性を生かし、制作過程で表情が変化する素材と向き合いながら、独自の表現世界へと導きます。どのように思いや考えを実現すべきか、綿密な対話を重ねて、デジタル化の進む現代においてであっても、手で作ることの意味を問い続けながら自己表現を追求し、世界とつながる方法を見つけます。

身につく能力

- 素材の魅力とともに、自分の魅力を引き出す力（主張する力）
- 身体・思考を通した制作プロセス（つくる力）
- 時代を読み解く力（考察する力、判断する力）

4年間の学び

1年次
ファンデーションで多くの素材や技法に触れ、芽生えた好奇心を最大限に広げます。素材が変化する過程、素材から得た感覚、技法、思考などのあらゆる方向から可能性を導き、2年次からの主となる素材・コース選択へとつなげます。

2年次
陶やガラスの素材を深く知るためには、たくさん作ることが必要不可欠です。手を通して素材の特性を知ることで、思考も技術も向上していきます。素材の持つ多くの表情から可能性を見出し、表現の幅を広げていくことを目指します。

3年次
これまで培った素材との関わりを、思考を伴った展開へと導きます。陶・ガラスの素材再解釈、自己の表現分析などを通し、言語を伴った客観的視点や意見を確立させて、判断する力・主張する力を身につけます。

4年次
4年間の集大成であり、また社会や世界に羽ばたくための助走期間となります。テーマ、コンセプト、素材、技法など、多面的・多視点で積極的なアプローチを行います。心と体と頭で、時代を読み解く表現・自己を展開・確立していきます。

目指せる主な職種・職業 >> 陶芸家／ガラス作家／陶芸教室講師・ガラス教室講師／プロダクトデザイナー（陶磁器・ガラス）／ガラス工房技術員／学芸員／美術科教員（中学校・高等学校）／工芸科教員（高等学校）　など

卒業後の主な進路 >> 愛知県陶磁美術館／セラミックパークMINO／富山市ガラス美術館／岡崎ガラス工房葵／石塚硝子株式会社／曽我ガラス株式会社　など　※参考：アートクリエイターコース（陶芸・ガラス）進路実績

実験的に
いろいろな方法を探りながら、
焼き物で自分を表現。

吉野 英恵
Hanae Yoshino

芸術学部 芸術学科
美術領域｜アートクリエイターコース（陶芸）
大同大学大同高等学校出身

「not from scratch」

Q どんなことに力を入れて学んでいますか？

A 焼き物を通じて、自分の想いや考えを伝えること。

たとえば右の作品は、自分で編んだ毛糸の輪に、粘土を染み込ませて焼き上げたもの。「image」と名づけた1本1本の輪を重ね合わせ、立体作品にしました。これまでの経験の積み重ねがあってこそ、今の自分がある。自分の中で混ざり合ったイメージが絡み合って、ひとつの作品が生まれる。そんなメッセージを「not from scratch（ゼロからではない）」というタイトルに込めています。

Q これからの目標や将来の夢は？

A 小さくてもいいから、いつか自分の工房を開きたい。

毛糸だったり、ネイルラッカーだったり、溶かしたクレヨンやビー玉だったり。土と組み合わせることでユニークな表現が生まれる素材を探し、実験的に焼き物を作っています。自分にしかできない表現方法で、4年間の集大成となる卒業制作を完成させるのが目標です。将来は焼き物の仕事に携わりながら、いつか自分の工房を持ちたい。そして、個展やマーケットなどに出展してみたいです。

美術総合コース

Comprehensive Art

2021年4月新設

「自分の可能性」を探し 個性あるクリエイターになる

1年次では、美術領域共通カリキュラム「ファンデーション」にて様々な表現方法を体験しながら、あわせて他コースの複数の専門実技も選択できます。絵画、彫刻、版画、工芸など幅広い美術の考え方と基礎的な技術を学ぶことができるため、これらを通して将来の進路や自分のやりたいこと、できることを探求します。2年次以降は、他の専門コースに移って、特定の分野に絞って知識や技術を学ぶこともできますし、美術総合コースのまま、美術領域の多様な専門コースの中から身につけたい技術や知識を選択して、自分らしさを発揮するクリエイターを目指すこともできます。

身につく能力

- 幅広い美術の知識と基礎造形力
- 多彩な分野にまたがる技術力と表現力
- 他分野とつながるコミュニケーション力

4年間の学び

1年次
デッサン、絵画、彫刻、工芸などアートの幅広い表現を体験できる「ファンデーション」で、自分がどのようなアーティストやクリエイターになりたいかを模索。様々な分野の造形力と知識を学び、表現の可能性を広げます。

2年次
2つのスタイルがあり、自分の個性に合った分野を一つに絞る場合は、それに沿ってコースを選ぶことができます。さらに幅広い分野を学びたい場合は、美術総合コースのまま、様々な分野の科目を選択することができます。

3年次
自分の個性が生きるクリエイターを目指して、必要となる分野の技術と幅広い知識をより専門的に学びます。また、学内外の枠組みや分野を横断した多様な関わり合いを持ちながら、自分にしかできない表現に挑戦します。

4年次
大学での学びの積み重ねで身につけた専門的な技術と幅広い知識を生かしながら、卒業後、これからの時代にふさわしい新しいタイプの創造的なプロのクリエイターになる道を模索します。

目指せる主な職種・職業 〉〉 アーティスト／デザイナー／学芸員（キュレーター）／美術科教員（中学校・高等学校）／工芸科教員（高等学校）
様々な分野のものづくりの現場におけるクリエイター（先端分野から伝統工芸まで）　など

あらゆる表現方法を体験し、自分に合ったものを見つける。

松岡 徹
Toru Matsuoka
芸術学部 芸術学科
美術領域｜美術総合コース
准教授

多様化した現代のアートシーンでは、興味が多数の領域に及ぶことや、多くの情報があり過ぎて何をすべきなのか決められなくなることが多いように思います。美術総合コースは、あらゆる表現方法を実際に体験しながら、自分に合ったものを選択することができるコースです。そのまま卒業まで、美術総合コースで複数の専門分野の中から自分の身につけたい技術や知識を組み合わせて学び、自分だけの表現を追求していくこともできますし、1年次の美術領域共通ファンデーションや様々な科目を体験して、自分に合った専門分野を見つけ、2年次からは所属コースを変更することも可能です。大学の4年間で自分にとってよりよいものを選択し、卒業後に進みたい道を本コースで見つけてください。

自分だけの表現を追求する

デザイン領域

芸術学部 | 芸術学科

School of the Arts - Department of the Arts

Design Division

ヴィジュアルデザインコース

イラストレーションコース

先端メディア表現コース　2021年度New

メディアコミュニケーションデザインコース

ライフスタイルデザインコース

インダストリアル＆セラミックデザインコース

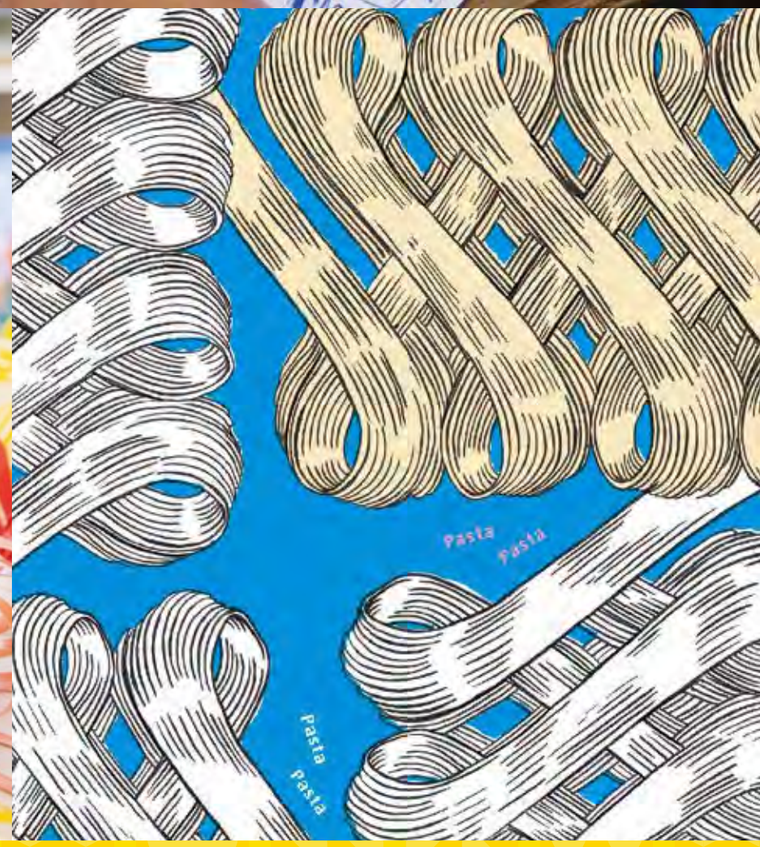
カーデザインコース

スペースデザインコース

メタル＆ジュエリーデザインコース

テキスタイルデザインコース

文芸・ライティングコース



学びの
特徴

「思考×技術＝デザイン」
デザインの力をもっと社会へ

課題を発見し、より良い社会にする方法を模索する「思考」。
様々な素材や道具でアイデアを形にする「技術」。
このふたつを掛け合わせることで、力のある「デザイン」は生まれます。

名古屋芸大のデザイン領域では、4年を通して一人ひとりの「思考」と「技術」を育成。まずはあらゆるデザイン分野を横断し、自らの興味と関心を探りながら、根本にある原理や思考を学びます。また、充実した工房環境で様々な素材や道具に触れることで、身体的に技術を習得。スタッフの手厚いサポートのもと、個々の「思考」と「技術」を伸ばしていきます。

さらにここでの学びを実際に学外で起こっている課題や要求と結びつけることで、より社会に活きるデザインへ。名古屋芸大の豊富な産学官連携プロジェクトのもと、自分のデザインを社会に生かし、育んでいく方法を学びます。

特徴
01

より広い視野で
デザインの世界を学ぶ
デザイン・ファンデーション

名古屋芸大のデザイン領域では、入学時に専門分野が決まっていません（※）。ひとつの専門性を深めることに加え、いろんな分野のデザインを知り、それらを統合する能力が、今のデザイン業界では必須となっているからです。
1年次の共通カリキュラム「ファンデーション」では、デザインの様々な基礎を実際に体験し、あらゆるデザイン分野を横断。既成概念を一度壊し、より広いデザインの世界を知ります。そして根本にある原理や考え方を理解し、自分の興味・適性を模索しながら、2年次からのコース選択を行います。
また1年間の学びを発表するレヴュー展では、1〜3年次の学生が作品を展示。様々な分野の学生の成果を見ることは、自らの立ち位置や今後のキャリアを考える良い機会にもなっています。
※先端メディア表現コース、文芸・ライティングコースは除きます

Teacher's VOICE

水内 智英 准教授
Tomohide Mizuuchi

「ファンデーションが
学生の視野を広げる
役割を果たしています」

特徴を実現するための授業や取り組み

ファンデーションによる基礎カリキュラム

国内では珍しい、200人規模で実施される領域共通の基礎カリキュラム。1年次にデザインに関するあらゆる分野・考え方に触れることで、デザインに対する概念が一新され、視野が確実に広がります。「ファンデーション」を通して色々と体験することで、自身の適性や方向性を見定めることができ、また学生同士が数多く出会う機会にもなるため、その後の、分野や専門性を越えた横断的な取り組みにつながっています。

レビュー展の実施

1年次から3年次の学生が、その年の学びの成果として、自身の作品を展示発表する、1年間の集大成の場。コンセプトから展示方法までをすべて学生たちが自主的に企画し、ブースに全学生の作品が展示されるデザイン領域伝統のイベント。1年生にとっては今後のコース選択のヒントとなったり、2・3年生には他コースの活動や取り組みを知り、新しいアイデアを得る機会ともなっています。

特徴
02

充実した工房環境で、
素材と対話しながら ものづくりを体得する

アイデアを形にするために欠かせないのが、知識と経験です。様々な素材や道具を用い、実際に手を動かしてものを作る。その引き出しが多いほど、自分から生まれるもの、自分にできることの幅は広がっていきます。
名古屋芸大にはあらゆる素材を取り扱う18の工房が存在しており、誰でも利用が可能です。各工房には専門知識を持った技術員がいて、「作りたい」という熱意さえあれば、経験の少ない学生にも丁寧に指導しサポートします。実践を繰り返すことで、身体的にものづくりを会得することができます。
あらゆる素材に触れ、あらゆるものづくりにチャレンジできる4年間。ここでしか得られない知識と体験を、自分の中に存分に蓄えてください。

Teacher's VOICE

米山 和子 准教授
Yoriko Yoneyama

思考力は教養で身につく、
その次に実際に手を動かして
形にすることが大切

充実した18の工房

木材や金属、ガラスをはじめ多種多様な素材を取り扱い、作業することができる工房環境が充実。各工房それぞれには高いスキルと専門知識を兼ね備えた技術員が配置されており、初めての機材操作から特殊な加工方法、素材に関する知識まで、丁寧なサポートとアドバイスを受けることが可能です。また芸術系大学では数少ない、本格的な窯や炉を備えた工房や、カーデザインの本格的なクレイモデルに取り組める環境など、多彩で特徴的な設備で、学生の描くイメージや構想をカタチにすることを後押しします。

特徴を実現するための授業や取り組み

特徴
03

豊富な産学官連携プロジェクトで、
デザインの学びを 社会に生かす

地元・名古屋を中心とした産学官連携プロジェクトを積極的に実施しています。企業や自治体へのグラフィックや新製品の提案、地域の魅力を高める事業の企画・運営などクライアントや内容は様々です。
ここでは自ら問いを立て、他者と協力し課題を解決していくプロセスを段階的に学修。自分のデザインが実社会でどのように役立つのかを確かめ、フィードバックを得る経験は、大学での学びをさらに大きく深いものに。また卒業後に自分がどのように仕事をしていくのか、具体的にイメージする絶好の機会でもあります。
名古屋芸大が地元のプロジェクトにこだわるのは、「他にない魅力があるローカルこそ、グローバルにつながる」という考えがあるから。世界を視野に入れながら、地域社会での着実な実践を通してデザインの力を磨いていきます。

Teacher's VOICE

駒井 貞治 准教授
Sadaharu Komai

産学官連携プロジェクトは
実社会のニーズを
肌で感じ取る場にもなっています。

犬山市のトマトのブランディング

愛知県犬山市にあるシルバー人材センターの会員の方々と一緒に、犬山市で栽培するトマトのブランディングを目的としたワークショップを開催。学生と会員の方々とで意見交換を進めながら、商品の魅力を高めるための調査・分析を実施し、トマトの商品ロゴや、パッケージなどのデザインを行いました。

数珠ショップとコラボレーション

愛知県北名古屋市の企業で、数珠を専門に製造販売する「翔龍念珠堂」とコラボレーション。デザイン領域の各コースの学生が協力し、それぞれの専門分野を活かしながら、お店のロゴマークから包装紙、名刺、商品説明書のほか、数珠を入れる布ケースといった商品をデザインし、大変高い評価を受けました。

特徴を実現するための授業や取り組み

ヴィジュアルデザインコース

Visual Design

「視覚伝達」によって創造的思考で社会に応える

メディア環境の変化に伴い、ヴィジュアルデザインも様々な領域へと広がっています。視覚的な表現へのアプローチや、視覚化によるコミュニケーションで得られる、社会的な効果や価値について考えるのが本コースです。4年間で、どんな領域にも必要な文字、イラストレーション、写真などによる視覚伝達＝ヴィジュアルコミュニケーションの技術と理論をベースに、社会的視野に立ち、情報を編集・構築し、発展させる力を習得します。また、産学官連携プロジェクトや外部コンペへの積極的参加など実践的な学びの中から、社会に求められる創造的コミュニケーションを生み出すデザイナーを育成します。

身につく能力

- デザインを社会で生かすための論理的思考力
- 多様なメディアを駆使して視覚的に解決する力
- 他者と協力しながら計画的に制作する力

4年間の学び

1年次
デザイン領域共通カリキュラム「ファンデーション」によって、オールラウンドにデザインを学び、専門分野の選択肢を広げます。各コース共通の基礎実技を学び、自分が本当にやりたいこと、向いている分野を見つけることができます。

2年次
〈基礎〉ヴィジュアルコミュニケーションの基礎となる視覚言語（色、形、文字など）の知識をはじめ、印刷などのメディアや表現技術、フィールドワークなどを通した情報収集から、デザインに展開する基礎を学びます。

3年次
〈発展〉タイポグラフィー、ブランディング、広告などの専門的領域へと進み、実践的課題を通して社会で通用する問題解決能力と思考力を身につけます。後期は、社会の問題点を調査して企画提案する課題に取り組みます。

4年次
〈統合〉これまでのデザインの学びを整理してまとめ、自分の資質や社会との結びつきから、デザインの方向性を考えていきます。その集大成として、研究対象を決めてコンセプトをつくり、卒業制作に取り組みます。

目指せる主な職種・職業 ≫ ディレクター／グラフィックデザイナー／Webデザイナー／プランナー／イラストレーター／プロデューサー／美術科教員（中学校・高等学校）　など

卒業後の主な進路 ≫ 株式会社スクウェア・エニックス／日本メナード化粧品株式会社／株式会社たき工房／株式会社CTV MID ENJIN／株式会社CBCクリエイション／株式会社中日新聞社　など

「人」と近い距離感で、
地域を支える
デザインを手がけたい。

西川 真衣
Mai Nishikawa
芸術学部 芸術学科
デザイン領域｜ヴィジュアルデザインコース
名古屋市立向陽高等学校出身

「ナゴヤカマチ」

Q どんなことに力を入れて学んでいますか？

A ビジュアルという概念を広く捉え、表現方法を考える。

ポスターや冊子、Webなどの媒体にこだわらず、コンセプトに基づいたデザインを考えることです。例えば、地域研究をテーマにした「ナゴヤ展」という作品展では、名古屋城の本質的価値を伝えるためのデザインを考案。私は城下町の街歩きMAPや、より詳しい情報を入手できるWebサイトを制作しました。また作品展示やPR活動にも携わり、デザインは人に伝えてこそ意味があることを学びました。

Q これからの目標や将来の夢は？

A グラフィックデザイナーからスキルアップし、幅を広げたい。

自分が生まれ育った愛知県で、そこに住む人たちの生活を活気づけられるような地域ブランディングに興味があります。課題を抱えている人々と直接関わり、デザインの力で解決する。「人」と近い距離感で、相手の気持ちに寄り添ったものをつくるデザイナーになりたいです。まずはグラフィックデザイナーとして出発し、Webデザインやアートディレクターの役割も担えるように成長していきたいです。

イラストレーションコース

Illustration

描くことから基礎を学び「新しい表現」の可能性を追求する

表現の基本にある「描く」ことを、様々な角度から追求します。イラストレーションを描くために必要な画材や描写に関わる技術、CG技術を基礎から学び、徐々に多様なメディア環境に対応できるよう、それぞれの表現方法を習得していきます。商品やイメージを的確に捉えるための力を身につけ、自分の創造性や表現方法を探究しながら、デザイン業界に対してのプレゼンテーション能力を養います。そして最終的に目指すのは、身につけた表現力で何ができるかを見つけることです。複雑化した現代社会で、自己の表現がどのように展開できるのかというテーマと向き合い、実践を通して答えを導き出します。

身につく能力

- ▶ イラストレーションの多様な技法や知識
- ▶ ヴィジュアルデザインを応用した多様な表現力
- ▶ 目標に応じてイラストレーションを生かす力

4年間の学び

1年次
デザイン領域共通カリキュラム「ファンデーション」によって、オールラウンドにデザインを学び、専門分野の選択肢を広げます。各コース共通の基礎実技を学び、自分が本当にやりたいこと、向いている分野を見つけることができます。

2年次
イラストレーションの基礎描写をはじめ、様々な表現技法やCGの扱いなど基礎的な技能を習得します。イラストレーションの多様性について理解を深め、表現を取り巻く環境や現状を踏まえ、様々な可能性を追求します。

3年次
表現の応用力に加え、展示、プレゼンテーション、ポートフォリオ作成などに対応できる総合力を強化します。学外での実践なども行い、一人ひとりが目標や進路設定に応じた課題を追求し、個別の制作プランを検討します。

4年次
研究テーマを掘り下げ、企画の立て方、プレゼンテーション、展示などの具体的な実践と、発表するための各種方法論を学びます。テーマに向き合い、解決方法を模索しながら卒業制作に力を注ぎます。

目指せる主な職種・職業 》 イラストレーター／ゲームデザイナー／アニメーター／絵本作家／漫画家／フィギュア作家／グラフィックデザイナー／キャラクターデザイナー／美術科教員（中学校・高等学校） など

卒業後の主な進路 》 1-UPスタジオ株式会社／株式会社ナムコ／株式会社カプコン／株式会社コナミデジタルエンタテインメント／セガサミーホールディングス株式会社 など

自分の想いや世界観を、
美しい色彩のイラストで描き出す。

酒井 美和
Miwa Sakai

芸術学部 芸術学科
デザイン領域｜イラストレーションコース
愛知県立尾北高等学校出身

東京装画賞 学生部門 金賞受賞「夜のピクニック」

Q どんなことに力を入れて学んでいますか？

A 自分らしい色彩表現の探求と、イラストを用いた作品制作。

私が影響を受けたのは、モネやホアキン・ソローリャなど、美しい色彩で光のある風景を描く印象派の画家たち。私自身も色彩で自分らしさを表現したくて、パステルカラーを使った目に心地よい色使いを研究してきました。最近では、自分で描いたイラストを用いて、デザインや映像を制作する技術を勉強中。いろいろな媒体で、自分の想いを込めたイラストをアウトプットしたいと思っています。

Q これからの目標や将来の夢は？

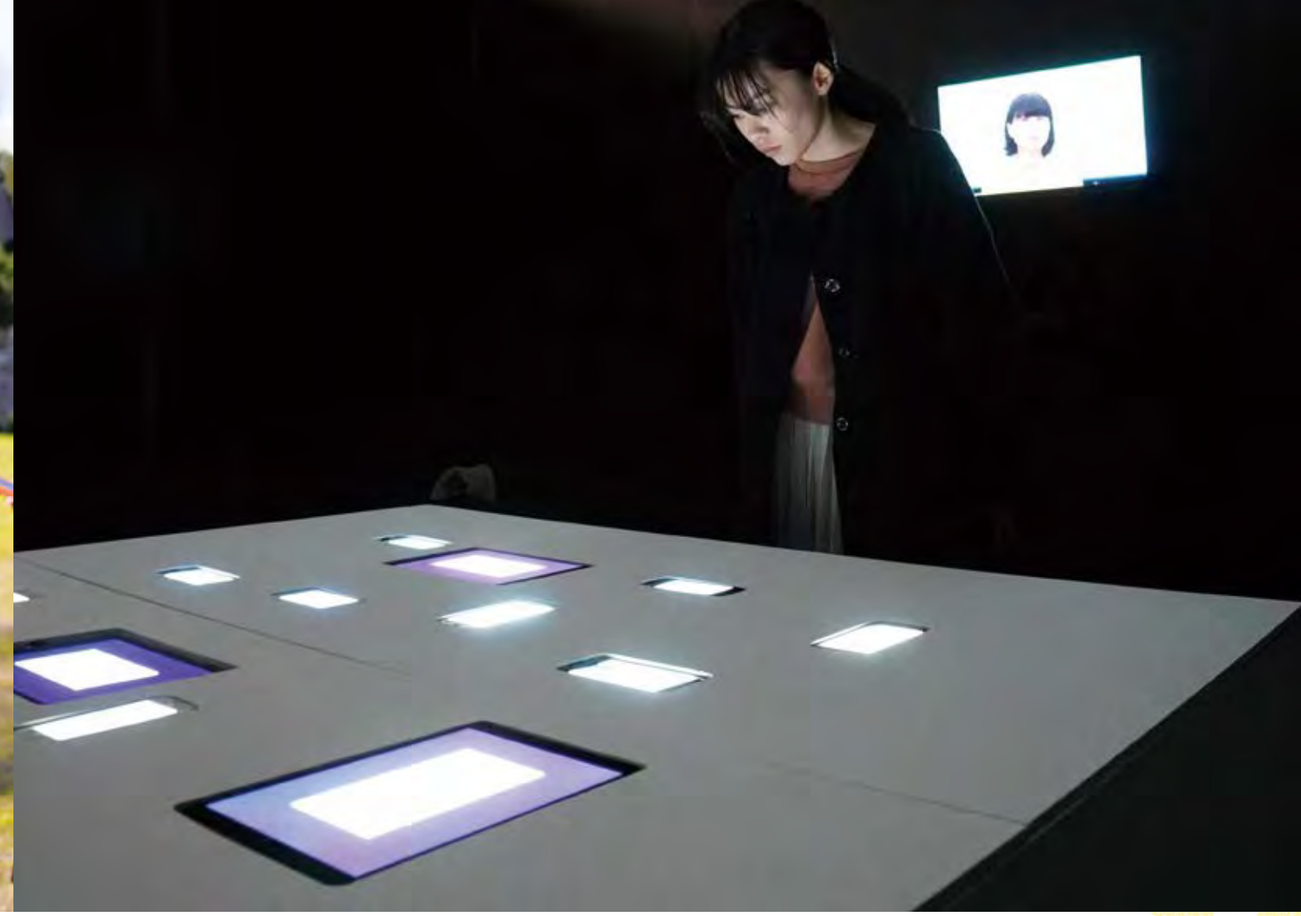
A イラストを仕事にするために、コンペなどで実績を積みたい。

イラストを生かせる会社で経験を積んで、いずれはフリーランスのイラストレーターとして活動できたらと考えています。3年生の時、「東京装画賞」というコンペに応募した作品が、学生部門の金賞を受賞したんです。今まで築き上げてきたものが成果として認められ、すごくうれしかった。今後もこういったチャンスがあればどんどん挑戦して、将来のために実績を積み重ねていきたいです。

先端メディア表現コース

Advansed Media Design

2021年4月新設



「最先端のメディア」を駆使した高度なものづくりの表現者を目指す

デザイン・映像・メディアの3つの分野を横断するテクノロジーを学びます。デザイン分野では、様々なデザイン素材を用いて「伝え方デザイン」の方法を学び、問題の発見と解決力を体得します。映像分野では、時間軸の表現として特殊撮影、モーショングラフィックス、編集、配信のプロセスを学びます。メディア分野では、コンピュータと人間を結びつけるインターフェイスの制作を学びます。3つの分野を交錯させることで、創造的思考力を発揮するものづくりにつなげ、アナログとデジタルの表現を分け隔てなく学ぶことで、変化し続ける社会を柔軟に生き抜くスキルを磨きます。また、デジタルファブリケーション工房（仮称）で様々な素材を使った新しい「かたち」のデザイン、プロジェクトを進めていきます。

身につく能力

- 企画から撮影、編集、発信まで自ら映像で伝える力
- 人とコンピュータを結ぶインターフェイスの開発力
- アナログとデジタルの世界をシームレスにつなぐ力

4年間の学び

1年次
デザイン領域共通カリキュラム「ファンデーション」とコースに特化した授業によって、オールラウンドにデザインを学び、専門分野の選択肢を広げます。各コース共通の基礎実技を学び、自分が本当にやりたいこと、向いている分野を見つけることができます。

2年次
実習・演習を中心に先端メディアデザインの基礎を学び、「創造的思考力」の基盤となるリテラシーを身につけます。また、広範な科目群から自由に選択履修するとともに、メディア表現、現代社会に対する理解を深めます。

3年次
様々なグループ制作やプロジェクトを通して共同制作と問題解決のプロセスを学び、現代社会と未来の要請に応える問題解決力を体得します。

4年次
これまで取り組んできた多様なメディア表現から、自分に合ったオリジナルの先端メディア表現を確立させます。「伝え方デザイン」をテーマに卒業研究・制作を進めていきます。

目指せる主な職種・職業 >> ムービーディレクター／プロダクトマネージャー／プログラマー／システムエンジニア／デザイナー／アートディレクター／プランナー／アニメーション作家／写真家　など

卒業後の主な進路 >> 株式会社博報堂プロダクツ／任天堂株式会社／面白法人カヤック／ヤフー株式会社／ビービーメディア株式会社／株式会社DMM.com ／株式会社Fablic（フリル・現ラクマ）／anno lab　など　※参考：メディアデザインコース進路実績

映像の世界で、
自分にしかできない表現を
確立させたい。

山田 幸
Saki Yamada

デザイン学部 デザイン学科
メディアデザインコース
同朋高等学校出身

「モノの側面」

Q どんなことに力を入れて学んでいますか？

A マルチメディアでものづくりをする能力を磨く。

興味のある映像表現だけでなく、映像とは直接関係のない課題も納得するまで突き詰めてきました。そのおかげで、ひとつの作品を異なる媒体に発展させるスキルが培われたと思います。例えば、名刺のデザインと同じ世界観で、自己紹介のモーショングラフィックスを作ったり、手描きアニメーションから派生したプロジェクションマッピングを制作したり、幅広いメディアを駆使しています。

Q これからの目標や将来の夢は？

A ナンバーワンではなく、オンリーワンの存在をめざす。

卒業後は、東京の映像制作会社でエディター（映像編集技師）として働くことが決まりました。言われたことをこなすだけでなく、自分から新たな表現方法を探り、創造していきたい。そして、私にしかできない表現を求められる人材になりたいです。大学時代は、3DCGアニメーションや擬似ホログラムなど、あえて難易度の高い制作に挑戦してきました。その経験をフル活用したいと思っています。

メディアコミュニケーションデザインコース

Media Communication Design

自分の個性を生かし「社会と連携」するメディアをつくる

写真、イラスト、版画、映像などの視覚表現を研究して、デザインとアートの分野を越えた制作を行います。また、オリジナルブック・絵本・アニメーション・ゲーム・グラフィック・冊子の企画編集、Web制作、産学官連携プロジェクトなどにも取り組みながら、コミュニケーションメディアへと発展させます。独創的なアートからは柔軟な発想力と表現力、普遍性のあるデザインからは分析力やコミュニケーション力を学ぶことで、一人ひとりの特性を生かす専門性を発見します。そして、デザインを幅広く客観的に捉える視野を持ち、新しい価値を生み出すことのできる創造性豊かなクリエイターを目指します。

身につく能力

- 豊かな想像力と「描く」「つくる」表現力
- 構成と編集で「まとめる」「伝える」技術
- 計画的に協働するコミュニケーション力

4年間の学び

1年次
デザイン領域共通カリキュラム「ファンデーション」によって、オールラウンドにデザインを学び、専門分野の選択肢を広げます。各コース共通の基礎実技を学び、自分が本当にやりたいこと、向いている分野を見つけることができます。

2年次
前期は、版画やアートワークを行い、基本的な造形表現力を身につけ、アートブックを制作します。後期は、写真技法や、プロの視点と技術を学びながら、文字組やフォントに徹底的にこだわるブックデザインの課題に取り組みます。

3年次
映像アニメーション、オリジナルブック、Webデザイン、写真集、パッケージデザイン、CI、新聞広告など、多くの課題に向き合い、精度の高い作品制作を目指します。後期は、自分の専門性を高める大型作品を制作・展示します。

4年次
デザインやメディア技法に加え、現代アートの発想から培った感性と思考で、オリジナル表現の追求に向け、リサーチと習作を繰り返します。自分の個性や特性を十分に発揮し、大学での集大成となる卒業作品制作を目指します。

目指せる主な職種・職業 〉〉 クリエイティブディレクター／アートディレクター／グラフィックデザイナー／フォトグラファー／Webデザイナー／映像ディレクター／イラストレーター／ブックデザイナー／エディトリアルデザイナー／ゲームクリエイター／漫画家／美術科教員（中学校・高等学校） など

卒業後の主な進路 〉〉 株式会社博報堂プロダクツ／株式会社中日新聞社／株式会社インパクトたき／株式会社大広／株式会社名大社／株式会社たき C1／ピクシブ株式会社 など

さまざまな分野のデザインを横断的に手がけていきたい。

髙橋 圭祐
Keisuke Takahashi
芸術学部 芸術学科
デザイン領域｜メディアコミュニケーションデザインコース
名古屋市立工芸高等学校出身

昆虫をテーマにした雑誌

Q どんなことに力を入れて学んでいますか？

A 「企画力」を伸ばし、自分の武器にすること。

僕が強化したいのは、デザインで何を伝えるのかを考える企画力。そして、企画の裏付けをするために自分の足で情報を稼ぐスキルです。例えば、オリジナルブックを制作する課題では、昆虫をモチーフにした雑誌を企画し、昆虫の生態や構造、環境問題を独自にリサーチ。昆虫の写真もイラストも記事も、デザインもすべて自分で制作しました。最近は社会問題をデザインで解決することに興味があります。今ある世の中から未来に目を向け、課題解決に取り組んでいきたいです。

Q これからの目標や将来の夢は？

A 異なる分野をつなぐハブ的な存在のデザイナーをめざす。

グラフィックやエディトリアル、Webなどのデザインに加え、写真、版画、映像といった多彩な表現方法を学び、それを生かして独創性を追究しています。将来はグラフィックからプロダクトまで、幅広い分野を横断的に手がけるデザイナーになりたい。異なる分野をつなぐハブのような存在になることが目標です。在学中から着目してきた環境問題や飢餓問題にも、デザインを通じて貢献したいです。

ライフスタイルデザインコース

Lifestyle Design

「創造」のための
気づく力・考える力・伝える力を養う

本コースでは、一つの分野を追求するのではなく、デザインする上で重要な「問題の見つけ方」「問題に対する視点の探し方」「視点からの展開の仕方」を学びます。プロダクトやビジュアルといった表現形式にこだわらず、何かを創造する際に共通して求められる大切な力を身につけます。すべての課題で重要なのは、調査、観察、分析などのプロセスです。さらに、つくり上げた作品の意図が、人に正しく伝わり理解されるよう、情報の編集やプレゼンテーション技術も習得します。将来は、デザイン分野にとどまらず、柔軟な考え方で企画、編集、発信することで、社会で広く活躍できる人材を育成します。

身につく能力

- ▶ 生活や社会から課題と可能性を見つけ出す力
- ▶ 情報を収集し、整理し、分析し、編集する力
- ▶ 目的に合う、形、言葉、仕組みを表現する力

4年間の学び

1年次
デザイン領域共通カリキュラム「ファンデーション」によって、オールラウンドにデザインを学び、専門分野の選択肢を広げます。各コース共通の基礎実技を学び、自分が本当にやりたいこと、向いている分野を見つけることができます。

2年次
グラフィック、プロダクト、映像など表現形式にこだわることなく、創造に共通して重要となる観察、分析、発想といった表現に至るまでのデザインプロセスを丁寧に学びます。自分の興味や関心から、得意分野を見極めます。

3年次
社会の現場で生かせる提案力や表現力を身につけるため、基本となる観察力や編集力をさらに深めます。同時に、プロダクト、ブランディング、イベント、映像など各表現の特性を、実技やプロジェクトを通じて学びます。

4年次
現代的な価値や課題の発見から最終制作までをプロジェクトとして行う卒業制作を通じて、自分の興味と社会との接点を見定めます。リサーチ、企画、プロデュースに秀でた、多彩な分野で活躍できる力を習得します。

目指せる主な職種・職業 〉〉 プランナー／プロデューサー／ディレクター／編集者／デザインリサーチャー／グラフィックデザイナー／コミュニケーター／地方自治体職員／NPO職員／デザイン研究者／美術科教員（中学校・高等学校） など

卒業後の主な進路 〉〉 株式会社博報堂DYホールディングス／株式会社日本デザインセンター原デザイン研究所／株式会社良品計画／株式会社中川政七商店／株式会社ファーストリテイリング など

デザインを通して、
社会的な問題解決に
貢献していきたい。

梶田 鼓
Tsutsumi Kajita

芸術学部 芸術学科
デザイン領域｜ライフスタイルデザインコース
東邦高等学校出身

「MINO TOKI」

Q どんなことに力を入れて学んでいますか？

A 自分の企画やデザインに対し、客観的な根拠を示すこと。

デザインという最終的なアウトプットだけでなく、そこに至るまでのリサーチ、コンセプト提案、制作物の企画といったプロセスに重点を置いています。例えば、土岐の伝統産業である美濃焼をテーマにした課題では、現地調査を実施。実際に産地を歩き、作家さんや店舗取材を行いました。そこから問題点を深掘りし、土岐の美濃焼をブランド化する企画を立案。ロゴマークやパンフレットを制作しました。

Q これからの目標や将来の夢は？

A 経験を積んで、ディレクションや企画提案に携わりたい。

高校も美術科出身で、もちろん自分で手を動かすことも大好きです。でも、大学での制作活動を通して、企画提案やディレクションをもっと探求したいと思うようになりました。卒業後は、まずデザイナーとして実務経験を積んで、ゆくゆくはディレクターの立場でものづくりに関わることが目標です。そして、様々な社会問題を解決するために、デザインで貢献していけたらと思っています。

インダストリアル＆セラミックデザインコース

Industrial and Ceramic Design

確かな造形力を養い、人に役立つ「モノ」をデザインする

日々の生活の中で必要な「モノ」や「コト」を、デザインの力で改善することで、快適な生活に変えていく技術を学びます。たとえば、生まれたての赤ちゃんに必要な哺乳瓶をつくるとしたら、どんなデザインがよいかを様々な視点で考えます。お母さんの体と似ている形や素材で、お湯の分量が一目でわかり、片手で持ちやすく、常に衛生を保つことができる、というふうに赤ちゃんとお母さんのことを考えることが大切です。こうした様々な生活シーンやあらゆる年代の課題を、デザインの力で解決していくことを目指します。本コースでは、これからの人と社会に向けて新たなデザインを提案できる能力を養います。

身につく能力

- ▶ ものごとを立体的に考えられる力
- ▶ 様々なシーンや立場から、物事を多面的に視る力
- ▶ より良いデザインを社会へ提案・発信する力

4年間の学び

1年次
デザイン領域共通カリキュラム「ファンデーション」によって、オールラウンドにデザインを学び、専門分野の選択肢を広げます。各コース共通の基礎実技を学び、自分が本当にやりたいこと、向いている分野を見つけることができます。

2年次
立体を理解し、描く力を養う観察スケッチから始めます。手で使う道具の使い方、製品スケッチ、ペーパーモデルを学び、使う人の立場から製品デザインを行います。3次元立体表現も学び、デザインの面白さや楽しさを体感します。

3年次
スケッチ、図面、模型、表面処理、素材という立体表現技術を身につけます。産学官連携プロジェクトでは、デザインプロセスや商品化の技術を学び、さらに使う人と一緒にデザインを考える手法や人に役立つデザインを習得します。

4年次
企業デザインインターンシップに参加できるポートフォリオの作成や、企業のデザイン分野の仕事を体験します。卒業制作では、これまでに培った力を生かし、デザイナーとして社会へ羽ばたくデザイン総合力を養います。

目指せる主な職種・職業 ≫ プロダクトデザイナー／インテリアデザイナー／トイデザイナー／家具デザイナー／セラミックデザイナー／美術科教員（中学校・高等学校）　など

卒業後の主な進路 ≫ パナソニック株式会社／株式会社LIXIL／ヤマハ株式会社／セイコーエプソン株式会社／株式会社セガゲームズ／株式会社Cygames／ブラザー工業株式会社／株式会社マキタ　など

身の回りの「不便」を解決するプロダクトデザインを追求。

桑野 奏太
Sota Kuwano

芸術学部 芸術学科
デザイン領域 ｜インダストリアル＆セラミックデザインコース
三重県立久居高等学校出身

「Hilcare（ヒルケア）」

Q どんなことに力を入れて学んでいますか？

A リサーチです。自分で動いて得た情報を大切にしています。

授業では、日用品を中心としたプロダクトデザインを学んでいます。僕が意識しているのは、最初から商品を定めず、現状の問題点を調査し、デザインでアプローチしていくこと。例えば、子どもの迷子ひもを制作した時は、附属のクリエ幼稚園に取材を依頼し、職員の方々へのヒアリングや園児の見学を行いました。書籍やネットに頼りすぎず、実際の自分で見聞きしたことをデザインに反映させています。

Q これからの目標や将来の夢は？

A 日常生活で長く使うモノの商品開発を手がけたい。

このコースでは、3D CADを使った図面制作から、陶器や樹脂といった素材の知識、実用レベルの陶磁器を作る技術まで、様々なノウハウを学ぶことができます。卒業後は、4年間で得たものを生かせるプロダクトデザインの仕事に就きたい。特に、日用品や雑貨、玩具など、日常生活で長く使うものに興味があります。身の回りの不便や問題点を、デザインで解決できる人になりたいです。

カーデザインコース

Car Design

「未来」を見据えて学び実力を磨く

自動車産業の中心地・東海地区にある名古屋芸大は、地域性を生かして多くのカーデザイナーを輩出しています。2017年には日本の大学として初めてにして唯一のカーデザインコースを開設しました。本コースの特徴は、基礎を重視した教育方針にあります。スケッチ表現やモデルなどの立体表現にこだわり、手で描き、手でつくることから、一人ひとりの表現力を磨き、感性を伸ばします。これからの社会では、多くの仕事がロボットやAIに置き換わるでしょう。だからこそ、基礎力を大切にしてデザインの本質に迫るとともに、人間のみに備わる感性や創造力を高めて、未来のカーデザイナーを目指します。

身につく能力

- 企画やコンセプトを考える発想力
- 手描きやCGなどのスケッチ表現力
- クレイモデルやCADによる立体の造形力

4年間の学び

1年次
デザイン領域共通カリキュラム「ファンデーション」によって、オールラウンドにデザインを学び、専門分野の選択肢を広げます。各コース共通の基礎実技を学び、自分が本当にやりたいこと、向いている分野を見つけることができます。

2年次
自動車やオートバイのデザインの楽しさを知ると同時に、基礎となる知識と技術を身につけます。実技では、手描きによるスケッチ表現を学び、CAD、スピードシェープの制作を通して立体表現の基礎を習得します。

3年次
発想力と表現力を養う実技を展開します。新しいデザインを生み出す力と、それを的確に表現する手法を身につけ、そのプレゼンテーションまで学びます。また、カーデザインにおける様々な職種を研究し、将来の進路を考えます。

4年次
社会においてデザイナーが果たす役割を学びます。テーマを自分自身で考え、社会に対して提案すべき問題点を探った上で、デザインを展開し、作品を手がけます。この成果をもとに、卒業研究にも取り組みます。

目指せる主な職種・職業 》 カーデザイナー／モーターサイクルデザイナー／モデラー／デジタルデザイナー／カラーデザイナー／美術科教員（中学校・高等学校）　など

卒業後の主な進路 》 トヨタ自動車株式会社／日産自動車株式会社／株式会社ホンダ技術研究所／マツダ株式会社／スズキ株式会社／三菱自動車工業株式会社／株式会社SUBARU／ダイハツ工業株式会社　など

色や素材へのこだわりを、
カーデザイナーとして発揮したい。

前野 瑞希
Mizuki Maeno

芸術学部 芸術学科
デザイン領域｜カーデザインコース
徳島県立鳴門高等学校出身

「BOOMIIBOO」

Q どんなことに力を入れて学んでいますか？

A ユーザーのことを一番に考えた、楽しいデザインの発案。

例えば、移動機器をテーマにした課題では、虫の形をした赤ちゃん用の歩行器を提案。「大人向けではなく、子どもをターゲットにしたらどうか」。そんな発想から、あえて鉄やエンジンを使わず、赤ちゃんに適した柔らかな素材やカラーで仕上げました。赤ちゃんの筋肉や歩き方を研究して形状を考え、口におもちゃを入れられるなど遊び心もプラス。機能性と楽しさを備えたデザインを追究しました。

Q これからの目標や将来の夢は？

A CMF（color・material・finish）デザイナーになること。

CMFデザイナーとは、自動車の素材や色を専門とするデザイナーのこと。同じ車種でも、CMFのバリエーションを増やすことで、新しい価値を生み出すことができる。そんな仕事に魅力を感じています。作品制作の際、私が素材やカラーを重視しているのを見ていた先生から、「こういう道もあるよ」と教えてもらったのがきっかけ。学びの中で、自分がやりたいことが明確になりました。

スペースデザインコース

Spatial Design

「人と空間」の豊かな関係をデザインする

スペースデザインとは家具、インテリア、建築、都市空間に関わるデザインを通して、新しい生活や快適な生活の場をつくり出すことです。本コースでは、家具、公園、建物といった身の回りのものや空間を観察して、スケッチと文章による表現を積み重ねます。デザインの源となる発想力を培い、図面だけでなく、工房で手を動かして原寸大の実物を作ることを重視しています。街のリノベーション提案、コンペへの積極的な参加、産学官連携プロジェクトなど実践的なカリキュラムも豊富です。デザインといっても奇抜なものではなく、その先にある、人とモノと空間の豊かな関係の提案を目指します。

身につく能力

- 豊かな時間のための空間を考え、展開する力
- あらゆる素材の家具を原寸でつくる力
- 自分が思い描いた空間を人に伝える力

4年間の学び

1年次
デザイン領域共通カリキュラム「ファンデーション」によって、オールラウンドにデザインを学び、専門分野の選択肢を広げます。各コース共通の基礎実技を学び、自分が本当にやりたいこと、向いている分野を見つけることができます。

2年次
空間づくりを学ぶ上で基礎となる、寸法でモノを考えるトレーニングを行います。たとえば、原寸でテーブルを制作したり、縮尺のある建築物の模型を制作したり、図面作成の方法などを学びます。

3年次
建築では、周辺環境、クライアントの要望などの条件、構造、素材などを考慮した計画の方法を学びます。家具では、素材、工法、使い勝手、ニーズなどから導きだした制作を行い、実践的な場面での空間づくりを学びます。

4年次
集大成である卒業制作に取り組みます。自分の身の回りで起こることを徹底的にリサーチし、問題点を見つけ出し、これまでの体験や実感した感覚をうまく生かしながら、自分らしい解決策を制作につなげていきます。

目指せる主な職種・職業 >> 建築家／ランドスケープデザイナー／環境デザイナー／ディスプレイデザイナー／家具デザイナー／照明デザイナー／造園家／美術科教員（中学校・高等学校）　など

卒業後の主な進路 >> 積水ハウス株式会社／大和ハウス工業株式会社／株式会社スペース／有限会社フルボデザイン／柏木工株式会社／飛騨産業株式会社　など

空間デザインを起点に、さまざまなモノ・コトをデザインする。

清水 祐作
Yusaku Shimizu

芸術学部 芸術学科
デザイン領域｜スペースデザインコース
三重県立飯野高等学校出身

「octopus pot」

Q どんなことに力を入れて学んでいますか？

A デザインの視点から建築をとらえる力を養うこと。

子どもの頃からものづくりが好きで、高校もデザイン科出身。建築に興味があったんですが、図面や構造を学ぶよりも、デザインの視点から建物をとらえてみたくて。芸大で空間デザインを学ぶ道を選びました。1年次に平面から立体まで多様な技術の基礎を学び、2年次からスペースデザインコースへ。家具の設計・製作、住宅や店舗デザイン、Webページ制作やプレゼンまで、いろいろな課題に取り組んでいます。

Q これからの目標や将来の夢は？

A デザイン会社で経験を積み、いつか自分の事務所を持ちたい。

卒業後は、いろいろなタイプのデザイン会社で働き、経験値を増やしたいです。そしていつか、自分の事務所を構え、空間から家具まで総合的なデザインを手がけるのが夢。名古屋芸大で学んだのは、コツコツと努力を積み重ねれば、チャンスに出会えるということ。僕自身も先生の助手を務める機会をいただき、外部の建築家に会ったり、建物を見せてもらったりと貴重な体験をさせてもらいました。

メタル＆ジュエリーデザインコース

Metal and Jewelry Design

充実した「工房」で創造の翼を磨く

鍛金や鋳造、ジュエリー技法などの金工技術の習得を通して、新しい時代のクリエイターとして活躍できる創造力を培うコースです。近年、情報伝達手段が劇的に変化し、クリエイターは世界に向けて直接アピールできるようになりました。そこで必要となってくるのは、オリジナリティーとそれを支える確かな技術です。本コースでは、多様な表現の実現が可能となる、充実した設備の専用工房で、鋳造、溶接、鎚起、七宝、ジュエリー技法などの高度かつ専門的な技術を習得します。ここでの学びは、企画や販売の道に進む場合にも力となるでしょう。

身につく能力

- 素材と対話し加工する、金属造形の技術
- 創造的な思考力と表現力
- 産業の現場や消費者などの社会とつながる力

4年間の学び

1年次
デザイン領域共通カリキュラム「ファンデーション」によって、オールラウンドにデザインを学び、専門分野の選択肢を広げます。各コース共通の基礎実技を学び、自分が本当にやりたいこと、向いている分野を見つけることができます。

2年次
道具の使い方、金属加工の技術などを学びます。鍛金や精密鋳造などの基本的技法を学びながら素材にふれ、制作する楽しさを体感します。金属加工体験は初めてでも、これらを身につけることで創造的な思考力につなげていきます。

3年次
空間造形、ジュエリー、精密鋳造、さらに専門的な技術を学びながら、作品と空間の関係、アイデアの展開方法などを習得します。海外のコンペや学外展示にも参加し、産学官連携など社会とつながる学びで自分の可能性を探します。

4年次
これまで学んだことをベースにして卒業制作をします。創造的でオリジナリティーのある表現力を発揮するだけでなく、自分自身と向き合い、他者との関係、社会とのつながりなどを考える機会となります。

目指せる主な職種・職業 》 ジュエリーデザイナー／ジュエリー販売者／クラフト作家／造形作家／金工作家／工房スタッフ／美術科教員（中学校・高等学校）／工芸科教員（高等学校）　など

卒業後の主な進路 》 株式会社ケイ・ウノ／株式会社TASAKI／株式会社杢目金屋／株式会社伊藤宝石店／日本放送協会（NHK）／マドラス株式会社　など

異素材や多様な技法をかけ合わせ、
ジュエリーの新しい表現を提案。

長谷川 銀星
Ginsho Hasegawa

芸術学部 芸術学科
デザイン領域｜メタル＆ジュエリーデザインコース
愛知県立愛知工業高等学校出身

有線七宝の翅の耳飾り 「銀のシクジの帯留め」

Q どんなことに力を入れて学んでいますか？

A ミクストメディアによる
コンテンポラリージュエリー制作に挑戦中。

異なる素材を組み合わせたり、様々な金属造形の技法を駆使して、ひとつのアートを生み出すミクストメディアに挑戦しています。例えば、虫をかたどった帯留め。胴体は銀をロストワックス製法で鋳造し、羽の部分は銀のリボン線で描いた模様に釉薬を焼き付ける有線七宝という技法を用いました。最近では、本物の植物から型を取る現物鋳造も勉強中。素材の知識や技術を増やし、新しい表現を考えるのが楽しいです。

Q これからの目標や将来の夢は？

A ジュエリー作家として、
アート・クラフト界で生きていきたい。

子どもの頃から憧れていたシルバーアクセサリー。将来は、ジュエリー作家として制作に携わりながら、自己表現の場としてアート作品を創造していきたいと考えています。現在、グループ展を開催したり、クリエイターが集まるマーケットやマルシェに出店したり、作家活動の足がかりをつくるために準備を始めているところ。生涯をかけてアート・クラフト界で活躍することが目標です。

テキスタイルデザインコース

Textile Design

素材づくりから学び「布」の可能性を広げる

東海地区で唯一、テキスタイルデザインを専門としたコースです。ファッション、インテリア、車両の内装、雑貨など、生活に欠かせない布のデザインを学べます。布を扱う技術や活用方法も研究し、現代的なデザインにアプローチします。伝統的技術による布の作り方は2つあり、本コースではその両方の「染め」と「織り」の技法を学び、素材に応じた柔軟な発想力を身につけます。基礎力がつき、テキスタイルの全体像をつかめたら、大学近郊の工場生産の現場でテキスタイルデザイナーの仕事を体験。産学官連携プロジェクトを通して、繊維産業の活性化に貢献できる人材育成を目指します。

身につく能力

- 幅広い染織の知識と、技法を自在に使う力
- 素材に応じた柔軟な発想力
- 自分の独自性を伝える表現力

4年間の学び

1年次
デザイン領域共通カリキュラム「ファンデーション」によって、オールラウンドにデザインを学び、専門分野の選択肢を広げます。各コース共通の基礎実技を学び、自分が本当にやりたいこと、向いている分野を見つけることができます。

2年次
ハンドメイドでテキスタイルを制作。羊の毛刈りや綿花の栽培を通して、繊維を学びます。スケッチから図案作成、ロウ染、型染なども学び、用途に応じた布を制作。綴織、組織織などの織り技法を体験します。

3年次
社会でのものづくりにふれます。有松絞りの産地で手ぬぐいをデザイン・生産・販売するほか、尾州毛織物産地でデザインや工場での製織を体験。展示会にも出品し、自分のデザインを人に伝える力を身につけます。

4年次
これまで培ってきた知識、経験、技術、思考をベースにしながら、染色、織物、プリント、テキスタイルプロダクト、テキスタイルアートなどのテキスタイル領域から自分のテーマを選び、作品を企画制作します。

目指せる主な職種・職業 》 テキスタイルデザイナー／カラーデザイナー／雑貨デザイナー／着物デザイナー／染織デザイナー／雑貨作家／染織作家／美術科教員（中学校・高等学校）／工芸科教員（高等学校）　など

卒業後の主な進路 》 マツダ株式会社／TBカワシマ株式会社／瀧定名古屋株式会社／宇仁繊維株式会社／中伝毛織株式会社／中外国島株式会社／宮田毛織工業株式会社／三甲テキスタイル株式会社　など

一枚の布が完成した時の
喜びと達成感が
制作の原動力に。

畭 絵美里
Emiri Hari

芸術学部 芸術学科
デザイン領域｜テキスタイルデザインコース
岐阜県立大垣桜高等学校出身

「Starry night」

Q どんなことに力を入れて学んでいますか？

A 有松絞りや尾州毛織物のテキスタイル産地との連携プロジェクト。

ハンドメイドによる伝統的な染めや織りの技法を学び、それを生かして産学官連携プロジェクトに挑戦。有松絞りや尾州毛織物といった大学近郊の産地工場へ足を運び、職人さんに指示を出して布を制作します。尾州毛織物産地では、私の好きなゴッホの「星月夜」をモチーフにしたデザインを作成し、糸や織り方を検討。自分のテキスタイルデザインが、一枚の布になる貴重な体験ができました。

Q これからの目標や将来の夢は？

A テキスタイルデザイナーとして、社会に布の魅力を伝えたい。

3年間を通して、デザインから実際の布になるまでのプロセスを、様々な技法で経験しました。布は、糸を1本変えるだけで雰囲気が変わるし、織り方や加工によっても風合いが変化します。自分の理想を表現するために試行錯誤を繰り返し、一枚の布を完成させる。その時の喜びや達成感は、何ものにも代えがたいもの。テキスタイルデザイナーになって、素敵だと思ってもらえる布を企画したいです。

文芸・ライティングコース

Literature and Writing Design

言葉の表現力と構成力で「作品」をデザインする

言葉と文章による表現のデザインを根幹に、伝えるための様々な文章表現のスキルを身につけ、文章のプロや作家を目指すコースです。言葉を用いて新たな表現の可能性を探り、一人ひとりの個性を生かした作品を創作します。本コースでは、国内外の名著の創作過程を学び、実際に様々な文体を用いて小説や戯曲、シナリオ、絵本など多彩な作品を創作。編集者から本づくりのプロセスや編集方法、また構成のテクニックについても学びます。第一線で活躍中の小説家、劇作家、翻訳家から直接指導を受けることで、将来も書き続けられるライティングの手法を身につけます。また、少人数制による徹底的な実作で磨かれる文章力と表現力は、作家活動や社会で強みとなるでしょう。

身につく能力

- 言葉を用いて豊かに表現する力
- 読書から得た知識を、創作や編集に生かす力
- 将来にわたって書き続けられる力

4年間の学び

1年次
国内外の様々なジャンルの文芸作品を精読し、作家の創作プロセスを学びます。また、エッセイ、ショートストーリー、キャッチコピー、詩、絵本、児童文学の創作を通して、言葉による表現の可能性を探り、書く力を高めます。

2年次
文章表現のテクニックをさらに磨くために、小説、シナリオ、評論などの執筆を行います。読者が魅力的に感じる世界を想像し、異なる読み手やジャンルおよびテーマを意識して文体を書き分ける力を習得します。

3年次
将来にわたって書き続けられる力を得るために、中編・長編小説や舞台脚本の構成方法を学び、創作にじっくりと取り組みます。自らの文章を客観的に見つめ、編集することで、洗練された表現を追究します。

4年次
これまでの学びの集大成として、卒業制作に取り組みます。自らの個性を生かした文章表現を極めるとともに、社会のニーズを的確に捉えて言葉にすることを目標にして、クオリティーの高い作品を創作します。

目指せる主な職種・職業 >> 小説家／劇作家／シナリオライター／漫画原作者／コピーライター／新聞記者／雑誌記者／文学館の学芸員／絵本作家　など

多彩な文章表現を身につけ、憧れのゲームプランナーをめざす。

磯部 成実
Narumi Isobe

芸術学部 芸術学科
デザイン領域｜文芸・ライティングコース
愛知高等学校出身

書籍の魅力を伝えるPOP制作

Q どんなことに力を入れて学んでいますか？

A 制作のために、たくさんの本を読んでインプットすること。

オリジナルの文章をアウトプットするためには、インプットが欠かせません。このコースでは「ワタシタチの本棚」という活動があり、与えられた予算の中で自由に本を購入し、自分の本棚に収めていきます。そして1年の終わりに、どんなテーマで本棚を作ったのかを文章にまとめ、冊子を制作。インプットに役立てられるだけでなく、自分の思考や内面の変化を客観的に理解でき、とても面白いです。

Q これからの目標や将来の夢は？

A ストーリー性でユーザーを魅了するゲームを作りたい。

高校までは小説ばかり読んでいたのですが、このコースで俳句や詩、エッセイなど幅広い文章表現にふれました。短いセンテンスで伝えることや、音を優先した言葉の選び方など、とても新鮮に感じています。将来はゲームメーカーに就職し、シナリオやシステムを創作するプランナーとして活躍したい。大学で培った表現力を発揮して、ストーリーが緻密に作り込まれたゲームを世に送り出すのが夢です。

芸術教養領域

芸術学部 | 芸術学科

School of the Arts - Department of the Arts

Arts and Liberal Arts Division

リベラルアーツコース

学びの
特徴

何者にもなれる君へ

自らが起点やハブとなり
社会に新しい価値を生み出す

現代社会において、あらためて「芸術教養」が必要とされています。
これからさらにテクノロジーは進化し、AIは生活に組み込まれていきます。
変化はより速く、社会はより複雑化するでしょう。
そんな中で、私たち人間にできることとは一体何でしょうか？
私たちは、その答えのひとつが「芸術教養」にあると考えています。

「芸術教養」とは、時代をとらえ、時代が求めるものを見極める力。
知識を蓄えることはもちろん、多様な文化に触れ、自分のことば、そして
ことば以外の表現を身につけながら、問いと答えを模索し続ける力です。

「正解」のない今の時代、私たちは何者にもなれる可能性を秘めています。
そして自らが起点やハブとなり、社会に新しい価値を生み出す人へ。
芸術教養領域では授業やプロジェクトを通して、そんな力を身につけていきます。

特徴
01

学内外での体験型の授業で養う、
ものごとの本質を
「見る力」

教科書だけを読んでいても、本質的なことはわからない。
名古屋芸大の芸術教養領域ではことばだけでなく、自分の体を使って実際に体験しながら、物事をよく見て考察することを大事にしています。
まず舞台となるのはこのキャンパス。様々なジャンル・施設・人々が混在する芸術大学は、もっとも身近な異文化です。キャンパスの案内ツアーを企画運営し、自分たちが身を置く小さな社会から理解します。
そしてフィールドは学外へ。地元・名古屋から国内各所、海外へと視野を広げ、異文化を体験して新たな学びを獲得していきます。
様々な場所を訪れ、定量・定性的な調査をおこないながら、社会を読み解き解釈する。体験型の授業を通して、そんな「見る力」を身につけていきます。

Teacher's VOICE

早川 知江 准教授
Chie Hayakawa

「芸大でリベラルアーツを学ぶ意義は、
文章以外の表現から幅広く
意図を読む力が身につくこと」

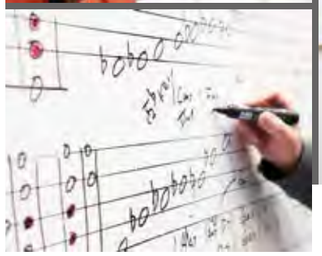
特徴を実現するための
授業や取り組み

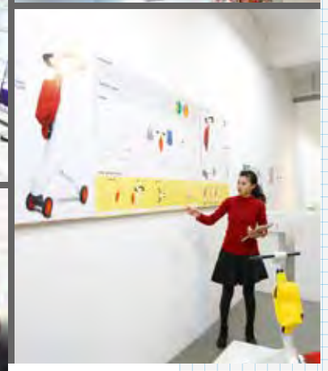
異文化体験フィールドワーク

「異文化はそこら中にある」をキーワードに、日本国内にある異文化を探すフィールドワークを毎年実施。大学近辺では「大須観音」（名古屋市中区）をリサーチしたり、2019年は合宿で姫路に足を延ばしました。様々な場所・エリアの様子をよく観察することで、まだ意識されていない新しい問いを発見し、自らの中で深く考察する体験を通して、本質を見る力を磨いていきます。

東・西キャンパスツアー

全学共通の1年次科目「大学生になる」では、名古屋芸大の2つのキャンパスそれぞれで学ぶ学生が、お互いのキャンパスを案内するというユニークな企画があります。同じ大学にある最も身近な“異文化”を見つけることを通じて、普段意識をしていない「当たり前」に意識を向け、自分たち自身のことを再発見します。





特徴
02

様々なジャンルと交わることで、新しく「問う力」を身につける

変化の激しい時代の中で求められているのは、これまでの常識や当たり前を疑って、新しく問い直す力です。これからの常識や当たり前は、そんな新しい問いからしか生まれません。
そのために必要なのは、ひとつの価値観やジャンルにとらわれず、たくさんのものさしを持って比較検討ができるようになること。身体的な体験を経て、自分のことばで語れるようになることです。
名古屋芸大の芸術教養領域では、他の領域、他の大学との連携・共同プロジェクトを積極的に行っています。領域の異なる人々と同じ目的に向かってひとつのものを作り出す中で、自分の中に新しいものさしや体験が次々と生まれるはず。それらはいつか問いの種となり、社会に出てからも芽を出し続けるはずです。

Teacher's VOICE

茂登山 清文 教授
Kiyofumi Motoyama

「デザインやアートを実践に即して学ぶとともに、抽象的な思考と行き来しながら、「問う力」を身につける」

中川運河宝探し in Factory

工業地帯であり、多数の工場が川沿いに立ち並ぶ中川運河。この地域のモノづくりの魅力を発見し、情報を発信するため、学生たちが中川運河線で現地調査を実施。他大学とも連携しながら、学生が主体となって提案を報告冊子にまとめ、表紙のデザインも芸術教養領域の学生がおこないました。

絵本づくりアートプロジェクト

全ての学部・領域の枠を越えて取り組まれる、学内横断型プロジェクトの一つ。それぞれ専攻分野の異なる学生が4、5人のチームに分かれ、一冊の絵本の完成を目指します。プロジェクトを通じて、それぞれが持つ専門性を生かしながら自発的に自分の役割を見つけ、皆で協力して絵本を創り上げ、音楽も含めた読み聞かせのプレゼンテーションをおこないます。

特徴を実現するための授業や取り組み

特徴
03

人と人、社会と作品をつなぐ「接点をつくる力」を伸ばす

「クリエイト」とは、自分の体を動かし何かを作ったり表現することだけではありません。プロジェクトの起点や、人と人をつなぐハブになること、制作チームを作り目的達成までマネジメントすることも、「クリエイト」に欠かせない大きな一部です。現代社会でその役割を担うプロデューサーやディレクターこそ、芸術教養が必要だと言えるでしょう。
ここでは「世の中が何を求め、誰に何ができるのか」を俯瞰・認識する能力を鍛えていきます。第一線で活躍中の様々なリーダーたちをゲスト講師として招き、ビジネスにおける考え方や事例を学習。そこで得た学びを自主企画プロジェクトで実践し、「制作時に他者を生かし、制作物を社会に生かす力」を養います。

Teacher's VOICE

茶谷 薫 准教授
Kaoru Chatani

「クリエイターの思考やノウハウを知識として知ることで、制作時に他者を生かすことができる」

カフェ作り

芸術教養領域の学生が中心となって、学内外のイベントでカフェを運営。コンセプトから、運用まで学生主体で行い、カフェを通じて芸術がもっと身近になることを目標にしています。

アート作品展の企画・運営

芸術教養領域の学生が注目する作家やアーティストを取り上げ、その作品展を開催。企画から展示、運営まですべて学生自身でおこない、自らが起点となって周りや社会に発信する方法を実践を通して学びます。

特徴を実現するための授業や取り組み

芸術×教養
＝新しい発想

**現代の多様な芸術文化と社会に関心があり、
自らの発想と知恵、感覚を生かし、
地域と社会がかかえる課題を、協働して解決していく意欲のある人へ。**

古代ギリシャ・ローマで「人を自由にする学問」として誕生し、発展したリベラルアーツ。日本では「教養」と訳されています。本コースは、芸術がもつ発想にあふれた創造力と、現代社会で広く活躍できる知見や技術、思考力とを兼ね備えたジェネラリストを育成することを目指しています。自由でクリエイティブな環境の中で、芸術活動と作品に接しながら醸成される経験的な知と「教養」の知の知層を築き、時代が求める複眼的なものの見方、コミュニケーションの力など、社会のどんな場面でも活躍できる力を育んでいきます。

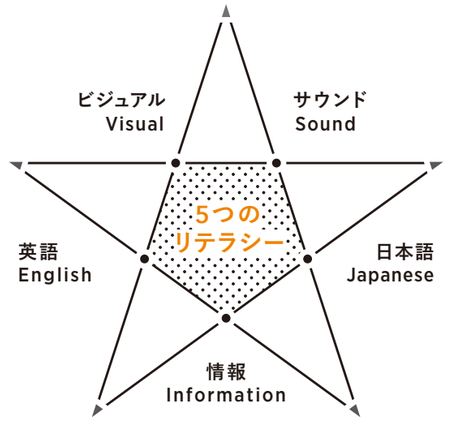
5つのリテラシーから、世界が広がる

芸術教養領域の学びの基幹となるのが、5つのリテラシー、すなわち表現されたものを受け止め、理解し、汎用する力の習得です。少人数ゼミやプロジェクト型の授業を通してスキルを向上させ、グローバルに発想する力、ヒト・モノ・コトをコーディネートする力を伸ばすなど、多彩なカリキュラムを用意しています。

ビジュアル リテラシー
Visual literacy

ビジュアルは国境を越える。

写真、CG、映像など、私たちの生活にあふれているビジュアル。それらを見て、理解し、また使って発信することは、現代に求められる欠くことのできないリテラシーです。この実習では、まず物や風景を自分の目でよく見ることからはじめ、それらを的確に受け止め、写真やグラフィクスを使って表現していく基礎力を養います。続いてそれらのビジュアル・エレメントを使いながら、紙媒体や映像による伝達の基本を学びます。そのために必要なデバイスやアプリケーションを使うスキルも獲得します。



サウンド リテラシー
Sound literacy

音は世界にあふれている。

音楽という世界観にとどまることなく、ノイズや電子音など新しい発想の音媒体による表現に耳を傾けます。実習では、サウンドについての基礎的なリテラシーを獲得します。音環境について理解しつつ、デジタル機器とアプリケーションの基本的な操作のスキルを取得し、着信音や環境音を制作します。さらに、CMやゲーム、舞台などの場面を想定して、音の世界を構築します。そのための具体的な方法論を学び、実際に音の編集や加工を行い、あわせて社会や環境の中における音のありようを理解します。

情報 リテラシー
Information literacy

ICTは、人をつなぐ。

情報社会では、ICT（情報通信技術）を活用することが、コミュニケーションをはかる上で必須のスキルです。まず、ポスターとスライドによるプレゼンテーションについての考えを理解し、デザインと技術を身につけ、コミュニケーションの場やコンテクスト、聴衆への配慮も考えます。次にWebやSNSを使った伝達手法などについて理解し制作技術を習得、その際に使われる言語やアプリケーションの使用法を学びます。インターネットを安全に利用するための、情報セキュリティや情報倫理の知識も習得します。

日本語 リテラシー
Japanese literacy

母語を磨き、ことばの奥深さを知る。

日本語をコミュニケーションの道具として捉え直し、日本語で考え、表現し、コミュニケートし、使いこなす力を訓練します。まず、小説・マンガ・映画・アニメーションなどについて、感想や考えたこと、調べたことを書く訓練を行うことで、自分の考えを文章で表現するライティング力を育てます。次に、日本語を外国語と比較し、その特徴を明確にします。その上で、資料調査等にもとづいたディスカッションを通して、思考とコミュニケーションツールとしての日本語の、実践的な運用能力を養います。

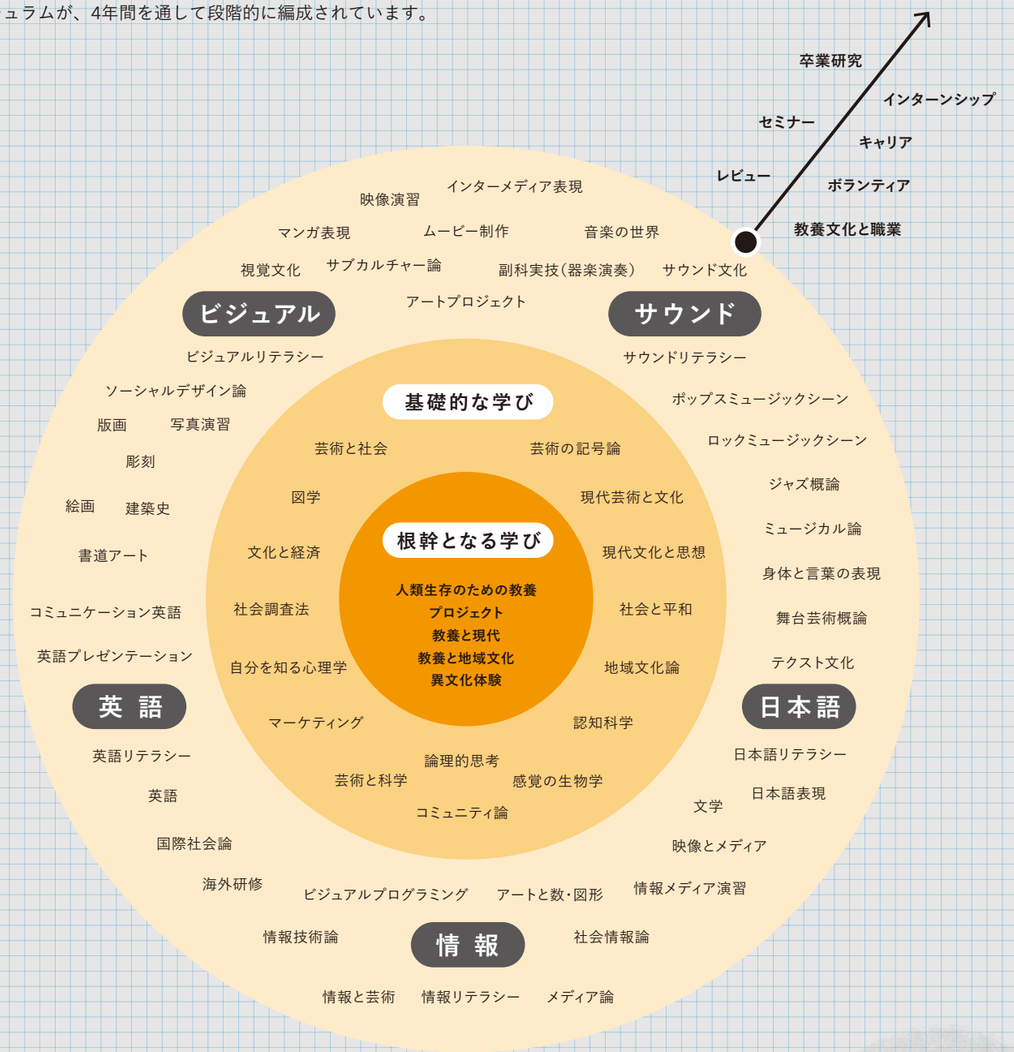
英語 リテラシー
English literacy

共通言語が世界をもっと近くする。

英語の実践的な訓練を通して「ことば」をよりよく知り、様々な場面で生きるコミュニケーション力を身につけます。書きことばでは、物語や絵本、広告チラシ・手紙・電子メール・落書きなど、社会で実際に用いられている幅広い英語使用例を批判的に分析することで、状況にふさわしいことばとは何かや、効果的なことばの使い方を学びます。会話やディスカッションでは、自分の考えを述べ、互いの意見をよく聴き、同意・質問・コメントなどのやり取りで、総体的なコミュニケーション力を養います。

4年の時をかけて、リベラルアーツ学びの小宇宙へ

人類と文化を考える上で根幹となる科目、現代社会に不可欠なスキルを学ぶ基礎科目から、5つのリテラシーを修得し、さらに少人数ゼミとプロジェクト授業へ——世界と現代社会の問題を発見・設定し、その解決に取り組むスキルを修得するための多彩なカリキュラムが、4年間を通して段階的に編成されています。



グローバルな発想を育む、ユニークな授業たち

ビジュアルリテラシー1

対象物を様々な方法で読解することで「見るチカラ」を養います。1枚の写真やものを見て、その成り立ちや背景を探ることは、自分とは異なる視点の存在を意識することにつながります。はじめに風景を楽しみ、カメラの仕組みを理解し、カメラオブスクラをつくり撮影します。次に文字の成り立ちを学び、実際にレタリングをします。また、映画のシーンやビジュアルの中に潜む物・衣装のデザインや背景を調べ、イメージをコラージュします。

芸術教養レビュー1

日頃の学習成果を、ギャラリーに展示します。ビジュアルリテラシーで制作した立体作品や写真、サウンドリテラシーで作曲した着信音などの実技作品とともに、領域で学んだことや、演習での調査・提案を文と画像でまとめ、口頭でプレゼンテーションも。これらを通して、人に見せるためのディスプレイの方法、分かりやすい文章と説明の仕方、伝わりやすいレイアウト、パネルを制作するためのアプリケーションの操作などを学びます。

サウンドリテラシー1

各々の好きな音楽をもちよって発表し、皆で耳を傾けます。まずはいろいろな音楽があることを知りましょう。その要素であるリズムやメロディー、ハーモニーについて理解し、コンピュータを使って実際に音をつくってみます。また、いろいろな音を記録し、それを再構成します。楽器の構造をよく観察し、その発音原理を理解し、簡単な楽器をつくります。現代メディアの特徴である、インタラクションについても音楽の視点から考えます。

海外研修

自分の国を一歩出ると、言葉は不自由になり、代わっていろいろな情報が感覚器官を通して飛び込んできます。目に見える風景、聴こえてくる音、料理の匂いや味…背後には、その国や地域固有の歴史と風土、育まれた文化があります。見知らぬ都市に滞在するなかで、異なるものに接し、限りない多様性を知ります。2019年は、ドイツのウルムから、オーストリア、スイス、イタリアのフィレンツェを経てフィンランドのヘルシンキ へ移動。全12日間の日程で、様々な文化、美術、音楽に触れ、帰国後は各自の調査成果を発表しました。

情報リテラシー2

インターネット上で展開される様々な現象を、背景となる技術と社会の仕組みを交えてコミュニケーションの側面から概観します。Webの仕組みを理解し、ホームページの制作に取り組みます。HTMLの基本からはじめ、マルチメディア、ハイパーリンクを活用し、いろいろな技術を使って、オリジナルなホームページを作成します。また、インターネットの仕組みやセキュリティ、ソーシャルメディアなど実践的で役立つ情報を提供します。

異文化体験

これからの時代、異なる文化で育った人との関わり合いは、ますます増えるでしょう。他の文化を知ると同時に、自身の文化を意識化していく必要があるのです。自分の知らない文化は外国だけではなく、国内にもあります。 この授業では、様々な文化を知るため、学外に赴き、観察をします。その結果をレポートし、プレゼンテーションとディスカッションをすることで、高尚な文化から身近な文化まで幅広く理解していきます。

興味を深めることから、未来はスタートする。

音楽、アート、サブカルチャー。今、あなたが感じている様々なモノやコトへの興味は、実は、未来へのスタートライン。芸術大学という環境の中で、多様なジャンルと交わり、深められた興味と経験は、やがて時代をキャッチし、社会で幅広く活躍するためのゆるぎない土台となります。芸術教養領域リベラルアーツコースでの4年間の学びで、あなたはどんな未来を描きますか？

大学で出合ったのは、
ロジックに基づいたものづくりの楽しさ。

安倍 慎吾
Shingo Abe

芸術学部 芸術学科
芸術教養領域｜リベラルアーツコース
愛知県立豊田北高等学校出身

Q どんなことに力を入れて学んでいますか？

A プログラミングや写真、映像などの技術を駆使した作品制作。

大学で初めてビジュアルや情報リテラシーの分野に触れ、その面白さに引き込まれました。文字フォントやレイアウト、写真に映像、プログラミング…。これらにはすべてロジックがあって、それをきちんと踏襲することで、よりよい結果が生まれる。そんな体験が新鮮だったんです。最近では音楽をビジュアライズするビジュアル・プログラミングや、プロモーションビデオの制作にも挑戦中です。

Q これからの目標や将来の夢は？

A IT企業で、顧客に寄り添ったものづくりに携わりたい。

自己表現が求められる仕事よりも、何かの課題に対してアプローチする仕事の方が自分に合っている。大学での学びを通して、そんな発見がありました。卒業後は、IT企業で営業職に就くのが目標。パッケージされた製品を売るのではなく、顧客の要望や悩みを聞いて課題を洗い出し、技術職に橋渡しができるような仕事がしたい。そのためには、もっと自分の知見を広げる必要があると思っています。

遠藤 美月
Mizuki Endo

芸術学部 芸術学科
芸術教養領域｜リベラルアーツコース
新潟県立高田北城高等学校出身

フィールドワークで身につけた
思考力が、自分の強みに。

Q どんなことに力を入れて学んでいますか？

A 自分の視点で物事を捉え、しっかりとした考えを持つこと。

リベラルアーツコースはフィールドワークが充実していて、これまでに大須や中川運河、伊勢などで活動を行いました。研究テーマは自分で決めるのが基本。さらに、現地調査をもとに問題点を探り、改善策や提案内容を企画書にまとめるのもひとりで進めます。これによって養われたのが思考力です。日々の講義や講演会でも、内容を理解するだけでなく、自分の考えを持つ習慣が身につきました。

Q これからの目標や将来の夢は？

A 在学中に、ドイツ語検定や色彩検定にチャレンジする。

芸術に関わる仕事がしたいという願望はありますが、具体的な進路はまだ考え中です。2年次の海外研修でドイツやスイス、オーストリアなどを回って刺激を受け、外国語や色彩についてもっと学びたいという気持ちが芽生えました。今後は、ドイツ語検定と色彩検定にチャレンジ予定。学芸員資格も取得する予定なので、いろいろな学びを通して、自分らしい将来をじっくり考えたいと思っています。

人とアートをつなげる、
自分なりのアプローチ方法を見つけたい。

加藤 あん
An Kato

芸術学部 芸術学科
芸術教養領域｜リベラルアーツコース
愛知県立碧南高等学校出身

Q どんなことに力を入れて学んでいますか？

A 裏方の仕事に必要な勉強と、クリエイティブな活動を同時進行中。

芸術に関するマーケティングから評論などの文章表現まで、アーティストやアートイベントを支える裏方の仕事に必要なスキルを磨いています。同時に、ビジュアルやサウンドなどのクリエイティブな制作活動も体験。作り手の気持ちを理解することで、将来の仕事に生かせると思っています。アーティストと鑑賞者、どちらでもない中間地点に立ち、両者の刺激になるようなモノを手がけたいです。

Q これからの目標や将来の夢は？

A 展覧会の企画などを積極的に手がけ、大学生のうちに経験を積む。

私は、人がアートやカルチャーに触れる瞬間に興味があります。どんな手法で、その瞬間を生み出すか。いかに新しい視点から、人々に情報を発信するか。自分なりのアプローチ方法を模索しているところ。大学の教室を借りて、自分で企画した展覧会を開催したり、キャンパスのギャラリー新設に向けたミーティングに参加したり…。日々の学びを実践に移す機会を、積極的に増やしています。

溝口 慶一
Keiichi Mizoguchi

芸術学部 芸術学科
芸術教養領域｜リベラルアーツコース
愛知県立豊田東高等学校出身

演劇経験と学びを生かし、
舞台に立つ人々や劇場を支える存在に。

Q どんなことに力を入れて学んでいますか？

A 将来に向けて、芸術分野を総合的に学んでいます。

子どもの頃から、地元の「とよたこども創造劇場」で演劇をやってきました。僕が出演した作品が全国大会で受賞した時、「まわりの人のおかげで、この体験ができた。今度は自分が誰かを支える存在になりたい」という気持ちが生まれて、演劇の企画・運営や舞台管理の仕事を目指すようになりました。現在はサウンド制作や音響・照明、ビジュアル表現、外国語まで、芸術と教養をトータルで学んでいます。

Q これからの目標や将来の夢は？

A 豊田市文化振興財団で、演劇や劇場の仕事に関わること。

「とよたこども創造劇場」を主催する豊田市文化振興財団で働きたい。小学生の時から、そう心に決めていました。自分が演劇に目覚めるきっかけを与えてくれた存在であり、思返しがしたいんです。 思春期の頃、人間関係や受験で壁にぶつかった時に克服できたのは、演劇のおかげ。自分と同じような想いをしている子どもたちがいるのなら、演劇を通じてサポートしていきたいと思っています。

学生のうちに経験を積み、
将来は音楽イベントを手がけたい。

田坂 美夢
Miyu Tasaka

芸術学部 芸術学科
芸術教養領域｜リベラルアーツコース
愛知県立千種高等学校出身

Q どんなことに力を入れて学んでいますか？

A デザインや海外研修など、新しいことに挑戦中！

私の夢は、音楽イベントの企画を手がける仕事に就くこと。このコースでは、幅広く芸術教養を学んだり、海外研修で伝統芸能を体験したり、将来につながる多彩な経験を積むことができるんです。高校までは音楽漬けだったので、自分の知らない世界に出合うたび衝撃を受けています。最近では、デザインの授業で習得した技術を生かして、自分が所属するウインドアンサンブルのポスターを作りました！

Q これからの目標や将来の夢は？

A 自分が所属する楽団の演奏会を、恒例化すること。

中学時代の吹奏楽部の仲間と一緒に活動している「もりきたウインドアンサンブル」。大学1年生の時に初めて演奏会を主催し、イベントの企画・運営を体験しました。大学生のうちに演奏会を恒例化して、将来へのステップアップにしたいと思っています。そのほかにも、好きなアーティストのライブへ行ったり、音楽や舞台技術の講習会に足を運んだり、常にアンテナを張って視野を広げています。

Learning

学びの仕組み

学長メッセージ

君の心の声は、間違っていない。

MBAより、美術館で感性を磨く時代

一般的に音楽であれ美術であれ芸術というものは「なにか高尚なもの」「贅沢なもの」「勉強して理解するもの」であると捉えられており、多くの方々にとって「自分には関係のないもの」として扱われてきたのではないかと思います。

芸術の価値は企業の業績や試験の点数のように数値化することができないため評価が定まらず、芸術大学が果たしてきた役割や、その存在の意義すらもあいまいになり、一般大学にくらべ芸術大学は社会から一定の距離を置いた存在となっていたように感じます。

一方で、芸術が社会に対して果たす役割は、日々、大きくなっていっていると感じます。世界の経営者たちの間ではMBAより美術館へ行けと言われ、芸術で感性を磨くことがとても重要なこととされています。従来の価値が揺らぎ、行き先も不透明で混沌とした現代であるからこそ、芸術が持つ鮮烈な感性や豊かな発想力が社会から求められているのではないでしょうか。

社会や自分の将来に価値あるものを生み出す感性を育む場所

名古屋芸術大学では、学部の垣根を取り払うボーダレスという大学改革を進めてきました。人間発達学部という保育・教育分野を含め、あらゆる学部・領域が自由に行き来することで新しい発想が生まれ、これまでにない創作が行われることを期待してのことです。さらに、ワールディアという教育プロジェクトを興し、芸術で培った感性を社会や世界へ拡げる試みを行っています。新しい発想を生み出す枠組み、そしてそれを大学から外へと拡げる仕組みを整えたわけです。

さて、芸術大学に進学を考える皆さんの心の中には、まだ明確に形作られていないかもしれませんが「こんなことをやってみたい」「あれがおもしろそう」というおぼろげな興味があるのではないかと思います。大人や周りは「そんなことが仕事になるのか」「それで飯が食えるのか」と言うかもしれません。既存の枠組みで考えれば、それは不確かなものにしか見えないからです。しかし、その正体のはっきりしないものが、やがて新しい発想や新しい価値となり、社会に貢献していけるものになると私たちは考えています。そして、それを育み鍛えるための準備が本学にはあります。今はまだもやもやとした気持ちでしかないかもしれませんが、その気持ちは間違ってはいません。その不確かな衝動を確かなものへと磨き上げること、社会や自分の将来に価値あるものを生み出す感性を育む場所が芸術大学なのです。

名古屋芸術大学 学長

竹本 義明

Yoshiaki Takemoto

1972年武蔵野音楽大学卒業後、名古屋フィルハーモニー交響楽団に入団、17年間演奏活動を行う。1989年から名古屋芸術大学に勤務し、1994年から1年間海外派遣研究員として、英国王立音楽大学で古楽器をM・レアード教授に学ぶ。音楽学部長、副学長を経て、2010年から名古屋芸術大学学長として、大学運営のほか地域自治体および文化団体等と連携して大学の社会貢献を推進している。

Global Human Resource Development Program

グローバル人材育成プログラム

芸術大学の枠を越えた、名芸大生の可能性を拡げる・深める教育プログラム。
World クラスの Ideaを自分のものにし、グローバル社会に求められる
スキルの習得を目指す、名古屋芸大オリジナルの教育プロジェクトです。

Worldea（ワールディア）

アート／エデュケーションセクション	グローバルセクション	キャリアセクション
音楽・芸術・教育分野において活躍のステージを広げるための表現力を身につける	世界・異文化に自分を伝えるための語学力を身につける	学びを社会へ還元するための思考力を身につける

事例紹介　アート／エデュケーション セクション

ピアノ エキスパートレッスン

芸術学部芸術学科 音楽領域

日本を代表するピアニスト 横山幸雄、上原彩子の両氏が特別講師として、授業や公開レッスンを担当。また選抜学生を対象にした特別個人レッスンも実施。

横山 幸雄
©アールアンフィニ

上原 彩子
©武藤章

海外研修プログラム

人間発達学部 子ども発達学科

世界の保育・教育現場を体験して、これからの時代の保育・教育の在り方を探求。2019年度はSDGsをテーマに、アメリカ合衆国ハワイ州の小学校や保育園などを視察。

保育園 シーガルスクール
（Seagull School）訪問

授業の様子を見学

事例紹介　グローバル セクション

英会話ラウンジ

ネイティブ講師による英会話ラウンジ。自由に申し込みができ、英語でのコミュニケーションを楽しみながら語学力を養います。留学を視野に入れた学生も多数参加。

英会話ラウンジ

事例紹介　キャリア セクション

ハイパワー講座

NUA 高度就業力養成講座「ハイパワー講座」を実施。“就業力”の養成を目的として各界で活躍する実務家の方々を招き、特別講座を実施。（2019年度 開講講座：国際ビジネス、起業、ビジネス法務、美語学、キャリア支援 など）

キャリア支援講座

国際ビジネス講座

※2019年度実績

Campus Collaboration Project

学内連携プロジェクト

音楽 × 映像 × テクノロジーの異空間

カレイドスコープ

サウンドメディア・コンポジションコースが毎年総力をあげて取り組んでいるコンサートイベント「カレイドスコープ」。普段取り組んでいる音楽制作・音響・録音の発表の場であるとともに、映像をメディアデザインコース（※1）、照明をエンターテインメントディレクション＆アートマネジメントコース（※2）とコラボレーションし、音楽と映像とテクノロジーを駆使した実験的な音楽空間作りを目指したコンサートです。

［参加コース］
●音楽制作・音響・録音／サウンドメディア・コンポジション　●映像／メディアデザイン（※1）
●照明／エンターテインメントディレクション＆アートマネジメント（※2）
※1　2021年度から「先端メディア表現コース」に改編
※2　2021年度から「ミュージックエンターテインメント・ディレクションコース」に名称変更

脚本から演技、録音・編集まで連携

ラジオドラマ制作プロジェクト

文芸・ライティングコースでは、それぞれの学生が想像力を駆使してラジオドラマの脚本を執筆。脚本に登場するキャストを、声優アクティングコースとミュージカルコースの学生が情感豊かに演じました。音楽制作、録音、効果音、ミックスはサウンドメディア・コンポジションコースが担当し、本格的な作品に仕上がりました。完成した作品は、デザイン領域のレヴュー展で展示し、好評を得ました。

［参加コース］
●脚本／文芸・ライティング　●出演／ミュージカル・声優アクティング
●音楽制作・録音・効果音・ミックス／サウンドメディア・コンポジション

新感覚 2.5次元朗読劇

修了公演『手塚治虫　百物語』

手塚治虫の名作漫画『百物語』を題材にした、声優アクティングコース2年次の修了公演。声優アクティングコース学生による朗読のほか、劇中ではアートクリエイターコース（※1）の学生によるライブペインティングが披露されたり、伴奏にはすべて音楽領域教員の作曲によるオリジナル曲が生演奏されるなど、新感覚の2.5次元朗読劇を上演。そのほか舞台美術から音響・照明、ステージ運営まですべて学生が担当し、領域・コースを越えて名芸大生の力が集結した舞台となりました。

［参加コース］
●出演／声優アクティング　●演奏／音楽領域教員・学生　●舞台美術／アートクリエイター（※1）　●音響・照明／エンターテインメントディレクション＆アートマネジメント（※2）
※1　2021年度から「コミュニケーションアートコース」に改編
※2　2021年度から「ミュージックエンターテインメント・ディレクションコース」に名称変更

industry-academia-government collaboration
social contribution

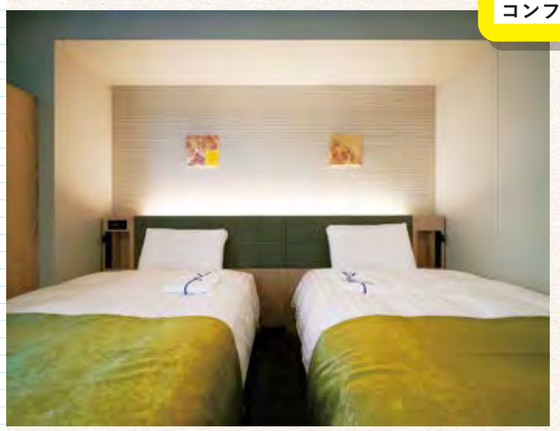
産学官連携・社会貢献

あいちトリエンナーレ
×
名古屋芸術大学

舞台芸術公募プログラム『JAPANESQUE WONDERLAND』

2019年開催のあいちトリエンナーレにて、ミュージカル・コンサート『JAPANESQUE WONDERLAND』を公演。本作品は「情の時代」をテーマに、密やかで華やかな日本人の「情」の世界を、スウィングジャズやタンゴなどの楽曲に乗せて、ダイナミックに、そしてドラマチックに描きました。音楽領域ミュージカルコースやダンスパフォーマンスコース、声優アクティングコースの学生・卒業生らが出演し、また演奏や裏方スタッフにもすべて在学生が携わるなど、まさに名古屋芸大が総力をあげて制作した総合舞台芸術です。

コンフォートホテル × 名古屋芸術大学



アートパネルプロジェクト

「コンフォートホテル名古屋新幹線口」の全客室156室にアートパネルを飾るプロジェクト。名古屋芸大の学生・卒業生計17名の若手作家が参加しました。「One Floor One Artist」をテーマに、フロアごとに異なる作家が、各々の表現や素材を用いてアートパネルを制作。客室すべてに一点ものの作品が飾られることで、作家のことを知ってもらう機会となり、またホテルの客室は作家それぞれの個性に彩られ、「アートと泊まる」ことができる魅力的な空間に生まれ変わりました。

北名古屋市 × 名古屋芸術大学

北名古屋市 紹介映像制作プロジェクト

「北名古屋市」の市制10周年を記念し、同市のPR動画を制作。監修に映画監督の堤 幸彦氏を迎え、デザイン領域メディアデザインコース(※)の学生を中心に、ライフスタイルデザインや音楽領域 声優アクティング、ダンスパフォーマンスといった様々なコースの学生たちが協同で制作しました。日本語版のほか、英語、中国語、韓国語版もそれぞれ制作され、この映像を通じて、名古屋芸大所在地でもある北名古屋市の魅力が世界に広く発信されました。

(※2021年4月から「先端メディア表現コース」に改編)

ららぽーと 名古屋みなと蔦屋書店
×
名古屋芸術大学

X'mas店内装飾プロジェクト

大型ショッピングモール「ららぽーと名古屋みなとアクルス」(名古屋市港区)内の「名古屋みなと 蔦屋書店」にて、美術領域アートクリエイターコース(※)の学生が冬のクリスマス装飾を手がけました。店内ではサンタクロースがカフェでくつろいでいたり、本棚から動物たちが顔を出したりと、来店の多くの方々や子どもたちにクリスマスの雰囲気を楽しんでもらいました。またこれらの装飾アイディアは芸術大学ならではのクリエイティブと高く評価を受けました。

(※2021年4月から「コミュニケーションアートコース」に改編)

NHK × 名古屋芸術大学

「デデデデザインて何?!」クラッチ映像制作プロジェクト

「デデデデザインて何?!」(中部7県のNHK総合、BSプレミアム)の番組内で使用されるクラッチ映像を、デザイン領域メディアコミュニケーションデザインコースの学生が制作。クラッチとは、シーンの切り替わりに使われるスポット映像のことで、短いながらも重要な部分です。この番組はデザインのことを分かりやすくひも解く5分間番組で、NHKと中部エリアのクリエイター、そして名芸大生が集結し制作されました。番組はナレーションが一切なく全編ラップとJUKEミュージックだけで進行し、そのラップ部分は名古屋芸大卒業生のisorokuさんが担当しました。

国際交流

充実した交換留学制度や語学研修制度、訪問教授による特別講義やレッスン、ワークショップ、国際的な共同研究などを通じて、ヨーロッパ、アメリカ、アジア・太平洋地域の大学と活発な学術研究交流が行われ、名古屋芸大の扉は常に世界へと開かれています。

TOPIC 01

優秀な卒業作品に授与される

ブライトン大学賞

名古屋芸大と姉妹校提携を結んでいるイギリス・ブライトン大学との共通イベント。名古屋芸大からは「名古屋芸術大学賞」を贈り、相互の交流を深めています。美術・デザインを学んだ学生の卒業作品から秀作を選出し、優秀賞の学生には賞金を授与しています。

TOPIC 02

パリでアートを学ぶ人のための宿泊施設

パリ・シテ・インターナショナル・デザール

ルーブル美術館、ピカソ美術館などが点在する芸術の街、パリの中心部に位置する「シテ・デザール」。アトリエ付きの芸術家専用長期滞在型の研究施設であり、名古屋芸大関係者は誰でも利用可能。コンサートホールやギャラリーも併設されています。

TOPIC 03

海外の学生の感性にふれられる作品展

交換留学生作品展

文化の交流は新たな芸術を生むチカラ。毎年、アート＆デザインセンターにて、留学中に制作した作品を中心に多数の作品を展示する交換留学生作品展を開催。日本人学生との交流の場としても、海外の学生ならではの感性にふれる機会としても活用されています。

名古屋芸大とつながる各国17大学

音楽、美術の本場ヨーロッパを中心に、全学部合わせ各国17大学と提携。芸術を通した国際交流でお互いを高め合う良好な関係を各校と築いています。

音楽領域

□**デンバー大学ラモント音楽院**｜アメリカ
Lamont School of Music, University of Denver

□**オーストラリア音楽院**｜オーストラリア
The Australian Institute of Music Sydney

□**慶南大学校**｜韓国
Kyungnam University

□**パリ・エコール・ノルマル音楽院**｜フランス
École Normale de Musique de Paris

□**ファルマス大学**｜イギリス
Falmouth University

□**パリ・エコール・ノルマル音楽院**
École Normale de Musique de Paris

フランス・パリの中心地にあり1919年にアルフレッド・コルトーらにより設立。世界的に著名な音楽家を多く輩出した国際的な音楽院です。附属のホール「サル・コルトー」は重要文化財に指定。

□**デンバー大学ラモント音楽院**
Lamont School of Music,University of Denver

アメリカ・コロラド州の都市デンバーにあり、創立150年以上の歴史を持つ音楽学校。名古屋芸大オーケストラによるデンバー交流演奏会以来、教員・学生の交流を行っています。

美術領域・デザイン領域

□**デンマーク王立芸術アカデミーデザイン学校**｜デンマーク
Denmarks Designskole Copenhagen

□**ディジョン国立美術学校**｜フランス
École Nationale des Beaux-Arts de Dijon

□**ブライトン大学**｜イギリス
University of Brighton

□**UCA芸術大学**｜イギリス
University for the Creative Arts

□**龍仁大学校**｜韓国
Yong-In University

□**慶南大学校**｜韓国
Kyungnam University

□**ミラノ新美術学院**
Nuova Accademia di Belle Arti Milano

□**シーナカリンウィロート大学**｜タイ
Srinakharinwirot University

□**モンクット王工科大学ラートクラバン校**｜タイ
King Mongkut's Institute of Technology Ladkrabang

□**ブレーメン芸術大学**｜ドイツ
HFK Bremen

□**新疆芸術学院**｜中国
Xinjiang Arts University

□**中央美術学院**｜中国
China Central Academy of Fine Arts

□**浙江工商大学**｜中国
Zhejiang Gongshang University

※2020年3月現在

留学経験者の声

ブライトン大学

金 里珉 Kim Rimin

美術領域 洋画コース
愛知県立旭丘高等学校

**自分の考えに、
自信を持って向き合えるようになった。**

制作に対する目標や意思が常に漠然としていて、それらを真剣に見つめなおしたく、留学を決意しました。ブライトン大学の先生や学生たちの「個人を尊重し、認めて理解する」姿勢は、人との関わり方や作品創作への向き合い方を真剣に見つめなおすきっかけになりました。制作の合間には構内のカフェや近くの海で息抜きをしたり、また週末にはロンドンでギャラリーを巡って様々な作品や展示を鑑賞するなど、多くの刺激を受けることができました。帰国後は、軸をぶらすことなく自分の考えに自信をもって制作を進められるようになり、現地で学んだことが大きく活かされていると感じています。

ブライトン大学

エヴァ ルイス ジョナス
Eva Louisa Jonas

デザイン学部 メディアコミュニケーションデザインコース
交換留学生

**様々な分野を幅広く学ぶ機会があるのが、
名古屋芸術大学の魅力。**

名古屋芸術大学は設備も授業もとても充実していて、アート制作で必要な様々な専門分野を学ぶことができます。私は短い留学期間に版画、紙漉き、陶芸などの多くの技法を身につけることができました。留学で一番印象に残っていることは、交換留学生作品展で披露した名芸大生二人とのパフォーマンスです。この制作を通じて、彼らと友情を育むことができ、私の表現の幅も広がりました。私にとって一生の思い出です。

デンバー大学（語学研修）

神村 真帆 Maho Kamimura

音楽学部 音楽総合コース
聖カピタニオ女子高等学校

**学生との交流や博物館巡りで、
濃い時間を過ごした日々。**

私は昔から海外への憧れを持ちつづけていたので、語学研修という機会を利用して海外に行くことを決めました。研修では1日あたり3〜4時間のクラスを受講。現地で日本語を学ぶクラスの学生達と交流したり、空き時間に博物館や史跡を巡ったりと、充実した時間を過ごしました。自分自身の意見をしっかりと示すこと、ボディランゲージや片言の単語でも構わないので、積極的に相手と向き合うことの大切さも学ぶことができ、本当に行ってよかったと思っています。

ディジョン国立美術学校

カトレア トリ ヌグラハニングルム
Cattleya Tri Nugrahaningrum

デザイン学部 メディアコミュニケーションデザインコース
Sekolah Pelita Harapan International Sentul City

**新しい生活や経験、
人との出会いが自分の成長につながった。**

海外のアートとデザインを学び、色んな人と交流して違った視点から物事を考えてみたいと思ったことが、フランスへの留学のきっかけでした。海外の人はどのようなもので美しいと思うのか、作品の価値はどこから生み出されているのかなど、文化の違いには必ず面白い発見があると考えたためです。最初は慣れないことも多く大変でしたが、辛かったことも友達と助け合って乗り越えたり、「Disco Noel」というクリスマスイベントにみんなで参加して楽しんだりと、日々様々なことを経験していく中で、自分にとって新しい環境での生活や人との出会いそのものが大切な学びとなり、大きな成長につながったと実感しています。

キャリア教育

夢を描き、将来実現するために

学生一人ひとりの夢を、社会の中で、あるいは世界を舞台にかなえるために、
名古屋芸大では、将来を見据えた実践的なキャリア形成の機会を数多く用意しています。
企業や地域コミュニティとも連携し、学生のうちから社会との接点を意識できる、
生きた教育の場を整えています。

就職・
資格取得
支援

夢の実現を支える3つのポイント

01 キャリアサポート室は一人ひとりにマンツーマン対応

キャリアサポート室には、様々な企業や官公庁、諸団体から収集した、各分野に合わせた進路情報と大学ならではの専門資料が豊富に揃っています。マンツーマンで対応する窓口は、一人ひとりの志望や特性、性格などに合わせて、きめ細かい進路指導が可能。インターネットから探すことのできる求人検索システムを使い、自宅でも就職活動を行えます。

02 NUA 高度就業力養成講座「ハイパワー講座」

他の芸術系大学ではあまり例のない「就業力」の養成を目的とする、名芸大生のための特別講座です。講師陣には起業やビジネスなど各界の第一線で活躍する実務家を招いて開講され、一定数以上の講座の受講を終了した方には、キャリアセンター長から就業に意欲的で優秀な学生であることを記した「NUAキャリア推薦書」が発行され、就職活動を力強く後押しします。

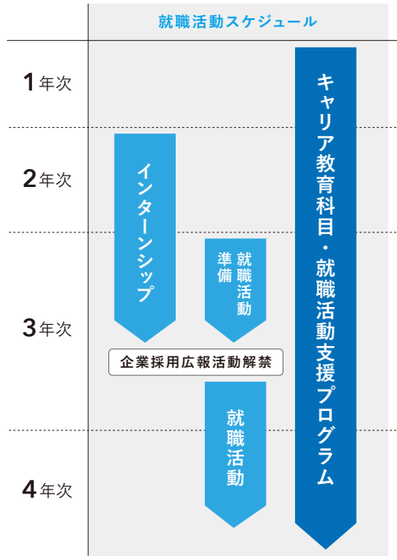
03 職場体験から学べる将来の選択に役立つインターンシップ制度

名古屋芸術大学ではインターンシップ制度を積極的に導入しているため、学生は大学在学中から将来のキャリアに関連した就業体験ができます。専攻に関連した、より専門的な分野の関連企業で職場体験ができるのは、芸術大学ならでは。様々な職業に対する広い視野と意識を育成し、将来の進路や職業を選択するための助けとなります。

就職活動支援／取得できる免許・資格

1年次より意識する就職活動

キャリア教育科目（担当：教員）と就職活動支援プログラム（担当：キャリアサポート室）を連動させることで、1年生から4年生まで徹底的にキャリア形成に向き合います。自らのキャリアについて体系的に学び、段階的に成長していくことで、希望の進路をつかみ取ることができるよう、それぞれの学生の希望に沿うサポートを行っています。



	主な内容	
1年次	・キャリア教育科目 ・就職活動の基本 ・卒業後の進路について	・性格診断・自己分析 ・業界セミナー（複数回）　など
2年次	・キャリア教育科目 ・卒業後の進路について ・インターンシップについて ・業務適正総合診断テスト（クラウドe-進路くん）	・基礎学力養成講座 ・業界セミナー（複数回） ・教員採用試験対策勉強会 ・作文添削　など
3年次	・キャリア教育科目 ・ワークルール基礎知識 ・キャリア＆マネープラン 卒業後の仕事とお金に関する知識 ・業界研究（デザイン、音楽、一般等） ・ポートフォリオ講座（4回） ・ポートフォリオ個別アドバイス会 ・アーティストとして独立するために ・公務員、教員になるために ・4年生による就職活動パネルディスカッション	・4年生内定者との業界別座談会 ・ビジネスマナー講座 ・適性試験対策（WEB模擬テスト）（複数回） ・面接、グループディスカッション対策 ・履歴書エントリーシートの書き方 ・合同説明会のまわり方 就職サイトの活用法 ・教員採用試験対策勉強会 ・作文添削 ・全員個別面談　など
4年次	・キャリア教育科目 ・学内企業説明会（複数回） ・各種採用試験対策（教員・公務員・保育士・幼稚園教諭） ・就職活動リスタート講座 ・ハローワーク登録説明会	・求人フェア（未内定者への就職先の紹介） ・作文添削　など

※各種就職支援・資格取得講座も実施しています。　※2019年度実績

就職に有利な免許・資格取得支援

取得できる免許状・資格など

所定の科目を修得し、学部を卒業することで、就職に有利な免許・資格が取得できます。

子ども発達学科

幼稚園教諭一種免許状※1
小学校教諭一種免許状※1
保育士資格
社会福祉主事任用資格
児童指導員任用資格
レクリエーション・インストラクター資格
幼児体育指導者検定2級
〈学芸員課程を履修〉学芸員資格

美術領域

〈教職課程を履修〉※1
中学校教諭一種免許状（美術）
高等学校教諭一種免許状（美術）
高等学校教諭一種免許状（工芸）
〈学芸員課程を履修〉学芸員資格
レクリエーション・インストラクター資格

芸術教養領域

〈学芸員課程を履修〉学芸員資格
レクリエーション・インストラクター資格

デザイン領域

〈教職課程を履修〉※1（文芸・ライティングコースを除く）
中学校教諭一種免許状（美術）
高等学校教諭一種免許状（美術）
高等学校教諭一種免許状（工芸）
〈スペースデザインコースで指定科目を修得し卒業〉
二級建築士試験・木造建築士受験資格
〈学芸員課程を履修〉学芸員資格
レクリエーション・インストラクター資格

音楽領域

〈教職課程を履修〉※1
（ミュージックエンターテインメント・ディレクションコース、声優アクティングコース、ダンスパフォーマンスコースを除く）
中学校教諭一種免許状（音楽）
高等学校教諭一種免許状（音楽）
〈サウンドメディア・コンポジションコース〉
国家資格 舞台機構調整（音響機構調整作業）2級・3級※2
〈音楽ケアデザインコース〉
日本音楽療法学会認定音楽療法士（補）受験資格
社会福祉主事任用資格
〈ミュージックエンターテインメント・ディレクションコース〉
国家資格 舞台機構調整（音響機構調整作業）2級・3級※2
公益社団法人 日本照明家協会 照明技術者検定2級※2
劇場管理運営技術者技能検定3級※2
〈学芸員課程を履修〉学芸員資格
レクリエーション・インストラクター資格

※1 星槎大学との提携による「特別支援学校教諭免許状」取得制度について
本学の教職課程履修者を対象に、希望者は、上記の幼稚園／小学校／中学校／高等学校教諭一種免許状の取得に加えて、星槎大学共生科学部通信制課程の科目等履修制度を利用して「特別支援学校教諭二種免許状」を取得できる特別制度を設けています。（※本制度の利用には別途費用がかかります。また通常の在学期間（4年間）での取得を保証するものではありません。）
※2 各団体等の実施する試験に合格する必要があります。

就職支援・資格取得講座

就職活動に役立つスキルアップの資格取得講座や、キャリアアップを目指すための講座を開講。

教員を目指す

教員採用試験集団討論・集団面接対策講座
教員採用試験対策講座（小学校全科）
教員採用試験対策講座（一般教養）
教員採用試験対策講座（教職教養）

美術・デザイン業界（デザイナー等）を目指す

初心者のためのIllustrator・Photoshop講座
中級者上級者のためのIllustrator・Photoshop講座

幼稚園教諭・保育士を目指す

公務員試験対策講座（教養分野）
幼・保採用試験対策講座（専門分野）

音楽業界（演奏者等）を目指す

ヤマハピアノ演奏グレード5級対策講座
ヤマハピアノ指導グレード5級対策講座
ヤマハ音楽教育システム講師採用試験対策講座
カワイピアノグレード6級学内認定制度

一般企業就職

MOS（一般）Word対策講座
MOS（一般）Excel対策講座
MOS PowerPoint対策講座
秘書技能検定2級対策講座
SPI試験対策講座
好印象を持たれる話し方講座
集団面接・グループディスカッション実践講座
TOEIC® Listening & Reading Test 対策講座
オンライン英会話

※2019年度実績

大学院

大学を卒業後、さらに専門性を深めたい、技術を高めたい人のために大学院（修士課程／2年）を設置。プロフェッショナルを目指す人、専門的な知見を持って社会に働きかける人など、それぞれの描く将来へのプロセスとして、深く本質に迫り、グローバルな研究を重ねていくことにより、各専攻分野における高い専門性と総合的な考察力を身につけた人材を育成します。

人間発達学研究科

子どもたちは日本社会の未来を担う大きな力。本研究科では、少子高齢化の進む日本における幼児・初等教育の本質的意義、教育内容および発達支援に関わる教育研究を開発。実践力と指導性を高め、人間力を兼ね備えた専門的職業人の育成を目指します。

子ども発達学専攻

［ 基礎科目群 ］
子ども学特論／幼児教育学特論／発達心理学特論／発達臨床学特論

［ 展開科目 ］
◎幼児・初等教育系領域
子ども学特演／幼児教育学特演／教育学特論・特演／表現活動特論・特演／子どもと音楽特論・特演／子どもとアート特論・特演／子どもと自然特論・特演／子どもと算数特論／子どもと国語特論／子どもと英語特論

◎発達・発達支援系領域
発達心理学特演／発達臨床学特演／子ども臨床実習Ⅰ・Ⅱ／認知発達特論・特演／児童福祉学特論・特演／情動・社会性の発達特論／言語発達支援特論／地域支援特論

［ 研究指導科目 ］
子ども発達学特別研究Ⅰ・Ⅱ

取得できる免許・資格
〈教育職員免許状（一種）を所持し、大学院修了〉
小学校教諭専修免許状／幼稚園教諭専修免許状

臨床発達心理士受験資格

美術研究科

専門能力を高めながら、美術を通した歴史観を深めます。制作を中心とする3つの研究領域と、理論を中心とする1領域で構成。自主的にテーマを設定し、どれだけ自身の表現として追求することができるか。新たに挑戦し続ける姿勢を期待しています。

美術専攻

［ 研究領域科目 ］
絵画研究【日本画制作/洋画制作】
造形研究【工芸制作】
同時代表現研究【現代アート・絵画・版画・彫刻】
美術文化研究【芸術学・美術史】
自主テーマによる研究及び修了研究

［ 関連領域科目 ］
絵画技法演習1・2／映像表現演習／スペースデザイン演習／クラフトデザイン演習／地域プロジェクト演習／意匠計画演習／コミュニケーションデザイン＆アート演習／美術史演習／芸術計画演習

［ 理論領域科目 ］
芸術学特論／美術史特論／現代芸術とメディア／ クラフトデザイン特論／芸術特講1・2／デザイン学特講1・2

取得できる免許・資格
〈教育職員免許状（一種）を所持し、大学院修了〉
中学校教諭専修免許状（美術）／高等学校教諭専修免許状（美術）／高等学校教諭専修免許状（工芸）

〈学芸員課程を履修〉
学芸員資格

音楽研究科

芸術としての音楽の高度な専門性を探求し、その創造的発展に寄与できる音楽家の養成を目指します。声楽・器楽専攻分野ではより豊かな表現力と高度な演奏技術を身につけ、音楽学専攻分野では、研究を重ねながら総合的な実践力と考察力を習得します。

専攻共通

［ 基礎科目 ］
外国語研究（英語／伊語／独語）／楽曲分析研究1～3（1.古典・ロマン派作品／2.対位法的作品／3.近代作品）／音楽学特論1・2／指揮法研究

声楽専攻

［ 研究領域科目 ］
声楽演奏研究／声楽特殊研究

［ 関連演習科目 ］
声楽演習1～4（1.日本歌曲／2.ドイツリート／3.英語歌曲または宗教曲／4.オペラ）／舞台言語表現演習／舞台芸術演習

器楽専攻

［ 研究領域科目 ］
ピアノ演奏研究／電子オルガン演奏研究／弦楽器演奏研究／管楽器演奏研究／打楽器演奏研究／器楽演奏特殊研究

［ 関連演習科目 ］
鍵盤楽器奏法演習1～4／電子オルガン奏法演習1・2／器楽合奏演習1～3／作曲法（古典）特殊研究／作曲法（現代）特殊研究

音楽学専攻

［ 研究領域科目 ］
音楽教育研究1～3／修士特別研究（音楽教育）／音楽療法研究1～3／修士特別研究（音楽療法）／アートマネジメント研究1～3／修士特別研究（アートマネジメント）／作曲研究1～3／修士特別研究（作曲）

［ 関連演習科目 ］
音楽教育実践演習1・2／音楽療法実践演習1・2／アートマネジメント特別演習1・2／ 作曲法特殊研究1・2（1.古典／2.現代）／管弦楽法研究

取得できる免許・資格
〈教育職員免許状（一種）を所持し、大学院修了〉
中学校教諭専修免許状（音楽）／高等学校教諭専修免許状（音楽）

デザイン研究科

学士課程での学びをふまえ、より高度な専門知識と技術の習得を目指します。日本や地域についての確かな視点を持ちながらグローバルに活躍できる人材を育成。修得した専門性が発揮できる場を自らつくり、広く社会に貢献していく実行力を養います。

デザイン専攻

［ 研究領域科目 ］
UNIT 1　ヴィジュアルデザイン研究
UNIT 2　メディアデザイン研究
UNIT 3　ライフスタイルデザイン研究
UNIT 4　3Dデザイン研究
UNIT 5　クラフトデザイン研究
自主テーマによる研究及び修了研究

［ 関連領域科目 ］
ヴィジュアルデザイン演習／絵画技法演習1・2／映像表現演習／デザインプロセス演習／プロダクトデザイン演習／スペースデザイン演習／クラフトデザイン演習／地域プロジェクト演習／意匠計画演習／コミュニケーションデザイン＆アート演習

［ 理論領域科目 ］
ヴィジュアルデザイン特論／メディアデザイン特論／現代芸術とメディア／生活デザイン特論／プロダクトデザイン特論1・2／スペースデザイン特論／クラフトデザイン特論／デザイン学特論／デザインリテラシー特論／芸術特講1・2／デザイン学特講1・2

取得できる免許・資格
〈教育職員免許状（一種）を所持し、大学院修了〉
中学校教諭専修免許状（美術）／高等学校教諭専修免許状（美術）／高等学校教諭専修免許状（工芸）

〈学芸員課程を履修〉
学芸員資格

※上記は予定であり、開講科目等は変更になる場合があります。

奨学金・学生支援

学生全員が快適で健やかな毎日を送れるよう、奨学金制度や保険など様々な支援制度を充実させています。大学生活を安心して楽しく過ごし、学生一人ひとりがそれぞれの目標に向かって専念できるよう、多角的にサポートしていきます。

名古屋芸大の主な奨学金・学費減免・特待生制度

［ 学費減免制度 ］※1

対象等	形　態	返　還
経済的理由により修学援助を必要とする学業成績、人物ともに優れた2学年以上の学生（若干名）	当該学年の授業料の1/2額（Ⅰ種）、または1/4額（Ⅱ種）を免除	返還の義務なし

［ 名古屋自由学院緊急奨学金 ］※1

対象等	形　態	返　還
保護者の急変により学費支弁を継続することが極めて困難になった学生の修学を支援	当該学年の年額授業料の半期分相当額を給付する。給付額は1学生に付き原則1回限り	返還の義務なし

［ 名古屋芸術大学兄弟姉妹学費減免制度 ］※1

対象等	形　態	返　還
名古屋芸術大学大学院、名古屋芸術大学の正規課程に同時期に在籍する兄弟姉妹の学生のうち最も高い授業料の1名に対しその学費を減免	当該学年の授業料の1/2額を免除※2	返還の義務なし

［ 名古屋芸術大学親子入学金免除奨学金 ］※1

対象等	形　態	返　還
名古屋芸術大学大学院、名古屋芸術大学、名古屋芸術大学 短期大学部の卒業生の父、母、子が入学した場合	入学手続時に納入した入学金を免除	返還の義務なし

［ 名古屋音楽学校修了生に係る名古屋芸術大学入学金免除奨学金 ］※1

対象等	形　態	返　還
名古屋音楽学校の専攻コース又は特別研究コースに原則として1年間在籍した修了生	入学手続時に納入した入学金を免除	返還の義務なし

※1 学費減免・奨学金制度の利用にあたっては、入学後、所定の期間内に、各自で申請手続きを行う必要があります。

※2 申請により、後期分の授業料が免除されます。

※　上記の各種学費減免・奨学金制度のほかに、名古屋芸大学則に基づき、学校法人名古屋自由学院が設置する大学院、学部もしくは短期大学部または名古屋芸術大学保育専門学校のいずれかに在籍したことのある方が名古屋芸大に入学する場合は、入学手続時に、入学金の納入が全学免除されます。

［ 名古屋芸術大学特待生制度 ］

対象等		形　態
入学特待生	**① 特別選抜「高大接続型 超領域入試」特待生制度** 「高大接続型 超領域入試」の合格者で、当該試験における成績順位が上位の者のうち学長が推挙した者（2名以内） **② 一般選抜「一般入試1期」特待生制度〔A特待〕** 芸術学部および人間発達学部の「一般入試1期」合格者で、当該試験における成績順位が上位の者のうち学長が推挙した者（5名以内）	授業料、教育充実費および 実習費を全額免除（第1学年次のみ）
入学特待生	**③ 一般選抜「一般入試1期」特待生制度〔B特待〕** 芸術学部および人間発達学部の「一般入試1期特待生制度〔A特待〕」に該当しなかった者で、当該試験における成績が上位の者のうち学長が推挙した者（13名以内） **④ 特別選抜「社会人」「海外帰国生徒」「外国人留学生」特待生制度** 芸術学部および人間発達学部の「社会人入試」「海外帰国生徒入試」「外国人留学生入試」における成績が上位の者のうち学長が推挙した者〔「社会人入試（1期・2期）」「海外帰国生徒入試（1期・2期）」「外国人留学生入試（1期・2期）」合計で5名以内〕	授業料、教育充実費および 実習費を年間 計50万円に減免（第1学年次のみ）
在学特待生	芸術学部又は人間発達学部の第2学年から第4学年までに在学する学生、および大学院各研究科第2学年に在学する院生のうち、人格が高潔で学習に取り組む意欲が高く、かつ著しく学業成績優秀又は専門的学術技芸等の実績が高く他の学生の模範と認める者（21名以内）	授業料、教育充実費および実習費を全額免除（特待生として推挙された年度の1年間）

日本学生支援機構

［ 貸与型奨学金 ］（2021（令和3）年度進学予定者用）

種別	形　態
第一種奨学金（無利息）	**自宅通学者** 20,000円 30,000円 40,000円 54,000円より選択（貸与額期間中も変更可能）
第一種奨学金（無利息）	**自宅外通学者** 20,000円 30,000円 40,000円 50,000円 64,000円より選択（貸与額期間中も変更可能）
第二種奨学金（利息付）	20,000円 30,000円 40,000円 50,000円 60,000円 70,000円 80,000円 90,000円 100,000円 110,000円 120,000円より選択（貸与額期間中も変更可能）

［ 給付型奨学金・授業料等減免 ］

国の「高等教育への進学支援」制度に基づき、以下を支援。
① 給付型奨学金の支給　② 授業料・入学金の免除または減額

〔対象者・支援額など〕
主に以下を満たす方が対象で、支援額は世帯収入や家族構成により異なります。
・世帯収入の要件を満たしていること（住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯）
・進学先で学ぶ意欲が認められること

※制度の詳細等については、以下をご参照ください。
A.「奨学金の制度（給付型）」 日本学生支援機構　奨学金ホームページ
https://www.jasso.go.jp/shogakukin/kyufu/index.html
B.日本学生支援機構　進学資金シミュレーター（給付奨学金シミュレーション）
https://shogakukin-simulator.jasso.go.jp/
C.文部科学省　高等教育の修学支援新制度
https://www.mext.go.jp/kyufu/index.htm

A
B
C

奨学金制度は、名古屋芸大の奨学金制度・日本学生支援機構をはじめ地方公共団体や各種法人が直接募集するものがあります。詳しくは教務学生課までお問い合わせください。

学内の事故等

授業中もしくは課外活動中・通学中に発生した事故に関しては、学生教育研究災害傷害保険・学生教育研究賠償責任保険を適用します。また学内の事故については、大学が医療費の一部を補助します。

［東キャンパス］
EAST CAMPUS

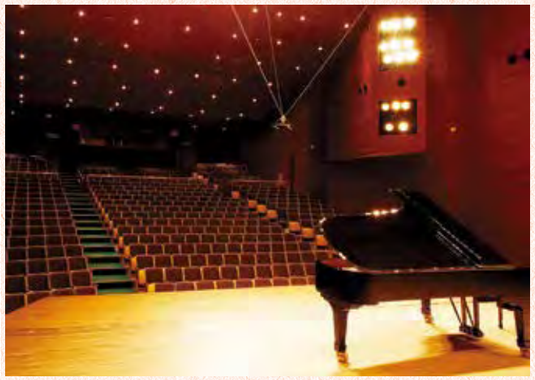
のどかな街に佇む、のびやかなキャンパス。
ホールやスタジオ、レッスン室などの施設が充実しており、
音楽活動に集中できる環境がととのっています。
キャンパスのすぐ隣には附属幼稚園があり、
園児がたまにキャンパス内で遊んでいる姿も。
芸術性あふれる環境の中で学ぶことで、
豊かな「感性」も自然と育まれます。

子ども発達学科／音楽領域／芸術教養領域／
舞台芸術領域（2021年4月新設）

音楽講堂ホール

3号館

高い音響効果や照明を備えたホール。名器と言われるペーゼンドルファーインペリアル、ヤマハCF IIIS、スタインウェイD型（2台）のピアノや、存在感のある音色を奏でるパイプオルガンも設置され、定期的にコンサートや公開講座が開催されます。



大アンサンブル室

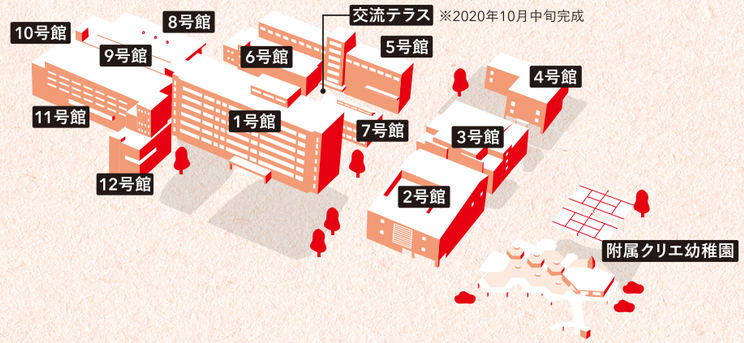
2号館

オーケストラをはじめ、大規模な編成の合奏練習から、各種演奏会、特別講座などにも使用する本格的な大教室です。

ポップス･ロック＆パフォーマンス リハーサルルーム＆スタジオ

9号館

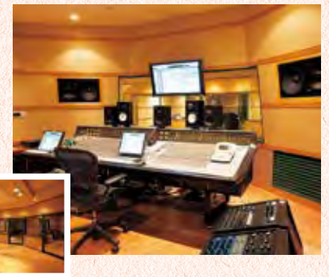
学生の個人練習はもちろん、複数でセッションの練習にも使用することができます。防音・空調完備で集中できる環境です。



レコーディングスタジオコントロールルームⅠ

2号館

プロのレコーディングでも使用されるコンソールSSL SL4000G+を備え、あらゆるレコーディング・シーンに対応しています。



レコーディングスタジオコントロールルームⅡ

2号館

デジタルミキサーを中心に各種MIDI機器、ターンテーブルなどのシステム構成で、プリプロダクション的な利用や幅広い活用が可能です。

多目的ホール

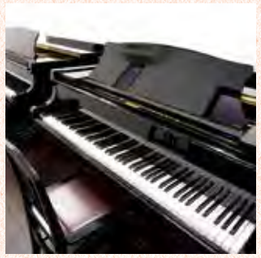
4号館

室内楽やオペラなどの練習、発表会、また特別講座などに使用。ヤマハCFXとスタインウェイD型（2台）のピアノを設置し、音楽性を最大限に引き出します。

ピアノレッスン室／ピアノ練習室

4号館／5号館、9号館、11号館

合唱の練習やピアノの個人レッスンに使用します。また2台デュオできる部屋も複数あり、セッションの練習も可能です。防音・空調完備。



ミュージックラボ

5号館

ソルフェージュや音楽理論の授業で使用します。電子オルガンを完備し、教員の説明や理論を聞きながら技術を高めることができます。

ミュージカルスタジオ／ダンススタジオ

5号館

思う存分踊ることができるよう、広々としたスペースを確保。音響設備も充実しているため、臨場感のあるサウンドでレッスンが受けられます。

ライティングラボ（中アンサンブル室）

2号館

照明を専門に学べるスタジオ。最新のオペレーションシステムをはじめ、LEDムービングライトなどプロ仕様の機材・設備が揃っており、ライブ会場さながらの、実践的な学びができます。

エンターテインメントディレクション演習室

5号館

照明機材のプログラムからスモーク使用まで、ステージを演出・プロデュースするための様々な技術や方法を実践することができる演習教室です。

楽器室

3号館

楽器の保守・点検や修理など、楽器管理全般を行います。様々な楽器が勉強できるよう、貸し出しも可能。学生が使用する楽器をベストコンディションに保ちます。

アッセンブリホール

1号館

収容人数約200人の多目的ホール。最新のAV機器が設置されているため、講演内容に集中でき、学びを深められます。おもに講演会、特別授業に使用。

情報処理演習室

1号館

ソフトウェア、ハードウェアのコンピュータ環境を整え、情報処理技術が習得できます。音楽領域のソルフェージュや作曲法の授業にも使用。

交流テラス

2020年度開学50周年を記念し、東キャンパスに「交流テラス」が誕生（2020年10月中旬）。各建物をつなぐ回廊や、ギャラリースペースの設置など、学部や領域を越えた幅広い交流の場となります。

名古屋芸術大学附属 クリエ幼稚園

キャンパス内にある附属幼稚園。教育実習をはじめ、子どもたちと接する機会を数多く用意しています。

2階ロビー

1号館

子どもの知的好奇心を引き出しながら五感を養う「モンテッソーリ教具」と呼ばれる木製玩具が充実しています。

子どもコミュニティセンター

11号館

子どもたちと遊んだりふれあったり、様々な体験を重ねることで子どもの行動や接し方を学べる教室です。

体育館

8号館

体育関連の授業だけでなく、放課後には体育系のクラブやサークルの活動が活発に行われています。年間を通して学校行事にも利用されます。

トレーニングルーム

11号館

ウエイトトレーニング器具やエアロバイクをはじめ、体育の授業などで使う各種トレーニングマシンが揃っています。

図書館

1号館

図書館の蔵書は約18万冊。楽譜や絵本など、音楽・保育関連の資料が充実し、雑誌類も豊富。落ち着いた雰囲気の中で学びを深めることができます。

食堂

8号館

おいしく栄養バランスが考えられた多彩なメニューを手ごろな価格で提供します。ゆったりとしたスペースで食事を楽しむことができます。

［西キャンパス］
WEST CAMPUS

豊かな自然に囲まれた、美術・デザインの活動拠点。
創作意欲を高めてくれる施設や
専門性の高い設備が充実。
各工房には専属の技術職員が常駐しており、
機材の扱い方や材料のアドバイスを得ることができます。
自由でクリエイティブな雰囲気にあふれています。

美術領域／デザイン領域／芸術教養領域／
舞台芸術領域（2021年4月新設）

ガラス工房
E 棟

吹きガラス溶解炉やガラス鋳造用電気炉、大型電気炉を設置。溶けたガラスに空気を吹き入れる宙吹きやフュージングの技法など、多彩な表現技術に取り組めます。

絵画組成室
Z 棟

絵画を描くためのパネルやキャンバスの制作、経年による劣化を抑えられるテンペラ技法や油彩の混合技法、フレスコ実習や金箔貼りなどを実践することができます。

木彫実技室
J 棟

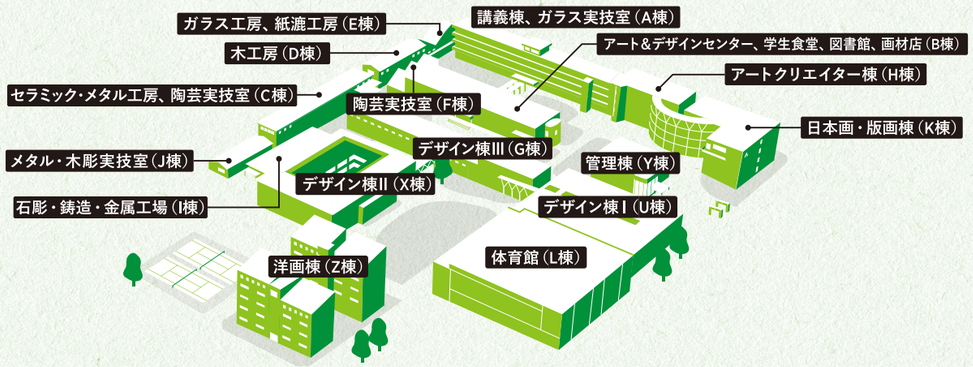
造形実技授業で行う木彫りの木工作品の制作や、木を使った自主制作など、木材を使用する作品に必要な、木彫り道具の技術を実践から学べます。

テキスタイル工房
X 棟

テキスタイルデザインコース専用の工房。20台以上の機（はた）織り機、デジタル孔版製版機、ヒートプレス機、ニードルパンチ機を設置しています。

印刷工房
U 棟

手づくり感があり、大きなサイズで印刷できる「スクリーン印刷」、一般的な印刷技法である「オフセット印刷」、デジタルデータを出力する「大型プリンタ印刷」などが可能です。



石彫場
I 棟

石の表面を仕上げるサンダーなどの加工機械から、フォークリフトや搬送機器などの重機類まで、石材の作品制作に必要な各種機材を使用できます。

メタル工房
C 棟

金属素材全般を加工するための専門工房。加工が比較的困難な金属の、曲げ、切断、溶接、溶解、焼く、削る、着色、磨く、たたくなど、様々な作業を行えます。

金属工房
I 棟

鉄をはじめとした金属素材の切断や溶接加工、ブロンズやアルミニウムの鋳造などを行うことができます。造形制作に必要な、特殊な機材が多数揃っています。

ジュエリー工房
X 棟

ジュエリーに使用する素材を、削り、磨き、伸ばし、曲げ、接合、着色します。様々な素材を加工できる、宝飾品全般を制作する専門工房です。

版画工房
K 棟

リトグラフ、エッチング、シルクスクリーン、木版画のそれぞれ専用の工房があります。銅版画の凹版と呼ばれるシャープで繊細な絵柄のエッチングや、作家の描写力が問われる平版のリトグラフなど、それぞれの版種に合わせた多彩な技法を学びます。

情報処理演習室
A 棟

メディア表現の授業をはじめ、作品づくりのために必要な情報収集およびパソコンの作業、創作の記録や活動のためのポートフォリオづくりなどを行えます。

染色工房

X 棟

テキスタイルデザインの染色工程を実際に体験することで、繊維素材による色の表現力を高めます。糸や布などに色をつける道具や染料、助剤などの薬品が多数揃っています。

木工房

D 棟

木材でつくられる立体のアートやデザインの作品、生活雑貨や家具類、額縁または作品の台座やプラスチック成型の型など、木を加工するすべての作業が可能です。

キッチン工房

X 棟

食に関する生活のスタイルや食とデザインの関係など、食関連の作品の調理と制作が可能です。実践を通して技術を磨き、考察と研究ができます。

セラミック工房

C 棟、G 棟

焼き物特有の多彩な技法に対応する材料と設備を完備。アート作品から生活に密着したプロダクト作品まで、イメージする制作物をつくる環境を備えています。

クレイ･プラスチック工房

X 棟

多様化する実技カリキュラムに対応した体制を整えています。モデル制作、デザイン制作活動などに必要な、プロスペックの設備が合理的に配置されています。

写真工房

U 棟

ライティング設備や各種機材が揃うスタジオは、本格的な撮影が可能。暗室での銀塩モノクロ現像や画像処理を施したデジタルフォトプリントも対応しています。

アート＆デザインセンター

B 棟

学内外の文化情報の収集、発信空間、教育文化施設として、企画展や研究展示が行われます。ギャラリー、スタジオ、展示空間でもあるラウンジスペースも完備。

デジタル工房

X 棟

工房にある100台以上のMacはすべてプロ仕様に整備されており、イラストレーション、編集、Web、映像、3Dなど多彩なデジタル制作をサポートします。

画材店

B 棟

キャンパス内にある画材店。豊富な品揃えで、作品制作に必要な画材を手軽に購入できます。

和室

X 棟

伝統の美とやすらぎが調和する空間で、「和」についての生活様式やデザインについて学びます。制作した陶器を実際に使用してみたり、展示を行うこともできます。

食堂

B 棟

各種定食や丼類・麺類など、豊富なメニューがリーズナブルに味わえます。空き時間には休憩場所として利用可能。

図書館

B 棟

美術やデザインに関する画集や雑誌、図録など専門書を多数所蔵。静かな環境でより深い学びをサポートします。

Club Activities

多くの仲間と出会うクラブ活動は、もうひとつの表現の場。

専門分野以外の自分の「好き」を叶えられる場所がクラブ活動です。学部や領域を越え、感性を刺激し合える多くの仲間と出会うことができます。

特別指定クラブ

吹奏楽クラブ
指導陣は音楽領域のプロの演奏家です！

ゴスペルクラブ
仲間とひとつの曲を歌い切る爽快感を一緒に！

ビッグバンドクラブ Jampa Swing Orchestra
互いに演奏力を高めてつくるオリジナルステージ！

動画漫画研究部
OB・OGには著名な漫画家やイラストレーターも！

レゴ部
コンテストなどの目標を設定し取り組んでいます。

EAST 東キャンパスクラブ

フットサル部
初心者や経験者、男女問わず大歓迎です。

ミュージックボランティア
福祉施設などからの依頼で、ボランティア演奏します。

B·B·Z
真剣にバスケットボールをしたい人にオススメ！

ルーディメンツクラブ
打楽器ルーディメンツの研究、演奏をするサークルです。

和太鼓部
地域のお祭りや幼稚園などで演奏をしています。

Dance Circle
hip-hop、ガールズ、ロック、ブレイクなどを踊っています！

リズム体操部
幼児体操、Gボールやラートを使って楽しく演技。

冒険KID'S
郡上の大自然の中、子どもといっしょに遊びましょう。

自由工房
壁面制作やイベント等、子どもと関わるボランティア！

EXIA's
先輩後輩関係なく、仲がいいバレーボール部です。

録音部
レコーディング、アフレコ、音響まで幅広く活動中！

中音部
定期的にバンドやアコースティックのライブ活動中。

tiny*palette
プラ板やつまみ細工などの作品を制作しています。

Bami☆tooon
みんなで体を動かしながら、ゆるーく楽しみましょう☆

軟式野球
野球を通じ体力の向上を図り、他学年と交流しよう。

名古屋芸術大学 ローターアクトクラブ
大学として愛知県で唯一！学外の社会人と交流を深めよう。

芸大祭実行委員会
笑いあり・涙あり・感動あり。楽しい芸大祭をつくろう！

WEST 西キャンパスクラブ

テニス部
楽しみながらテニスを上達させることが目標です。

GONCE スキー部
スキーはもちろん、色んなスポーツをします！

着付け部
みんなでまったりしながら着付けを練習しています。

バドミントン部
未経験者でも楽しくバドミントンができる部活です！

サッカー部
初心者ばかりなので是非遊びに来てね！！！

自由音楽部
みんなでハッピーになりましょう!!

軽音部
仲間とバンドを組み練習する…これぞ青春ですね〜〜

陶芸部
皿や湯呑み、小物など好きな形を自由に作れます。初心者大歓迎！

版画部
授業外でも版画工房を、年間費500円で使用できる！

バスケットボール部
毎週火、木曜日に体育館で活動をしています！

演劇部
個性豊かな劇団「超熱アトミックス」に入らないか？

フォークギター部
アコギでの弾き語りやセッションをやっています。

Sweet Candy Boys & Girls
春はお花見、夏は海、秋は紅葉狩り、冬はスキー！

書道アート部
アートの視点から書の表現を追求。
指導：横山豊蘭

ワンダーフォーゲル部
月1〜2回山登り、ハイキングでゆる〜く活動中。

サバイバルゲーム愛好会
ルール、マナーを学び、楽しくサバゲー！

ストリートダンス部
ダンスが好きな人なら初心者、経験者問わず大歓迎！

テーブルゲーム部
将棋やトランプ、人生ゲーム等を気まぐれにやります。

サイクリング部
自転車だから、新たに発見できる場所がある。

NUAアクアリウム部
生物の魅力を身近に感じ、作品づくりに生かす。

芸大祭実行委員会
芸大祭以外にも、旅行などのイベントもいっぱい！

NUA HISTORY

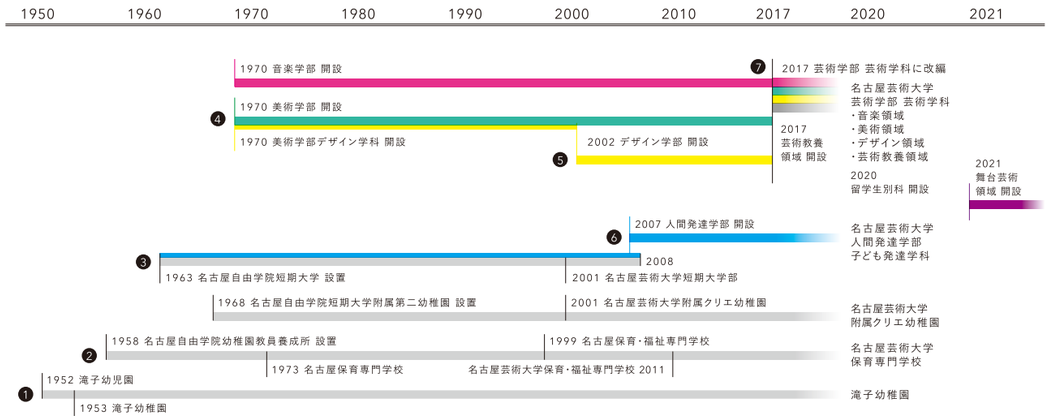
名古屋芸術大学は、
2020年創立50周年を迎えました。

受け継がれ、次なる歴史を拓く創造と挑戦のスピリッツ。

名古屋芸術大学の歴史は、1952年にさかのぼります。当時、公立学校の教員だった水野銛子女史（初代理事長）は「日本の戦後復興の原動力となるのは、教育以外にない」という強い信念を抱き、私財を投げ打って滝子幼児園を開設。さらに「理想的な教育を行うには、まず優秀な教員を」と考え、名古屋自由学院幼稚園教員養成所を、後に名古屋自由学院短期大学保育科を設置するなど、幼稚園教員、保育士の育成に力を注いできました。一方で、芸術文化の創造発展を担う人材の育成を目指し、1970年名古屋芸術大学を開設、中部圏唯一の私立芸術系総合大学として存在感を発揮してきました。そして2017年、名古屋芸術大学はこれまでにない大胆な学部改編を行い、時代に呼応する新しい学びをスタートしました。2020年に創立50周年を迎え、名古屋芸大は今後も目まぐるしく変化し多様化する現代社会において、一人ひとりのニーズに即し、生き生きと学びながら自身の将来を見据えることができる大学を目指していきます。

名古屋芸術大学
2020年・開学50周年

創立50周年記念サイト
トップページはこちら



❶「戦後の我国復興の原動力は教育以外にない」と私学経営の道を歩み始める。

❷「理想的な幼児教育を行うには、まず立派な教員を育成することが大切」という理念のもと、幼稚園教員と保母の養成所を設置。

❸のちの人間発達学部へと受け継がれる名古屋自由学院短期大学・保育科を設置。

❹人間教育を原点とする芸術の探究を目指し愛知県下初の私立芸術大学が誕生。

❺設立当初から美術学部内にあったデザイン学科がデザイン学部として独立。

❻名古屋自由学院短期大学での教育を、人間発達学部へ。

❼芸術の専門教育に加え、横断的な学びを目指し芸術学部芸術学科が誕生。

学校法人名古屋自由学院

名古屋芸術大学 東キャンパス

人間発達学部 子ども発達学科
芸術学部 芸術学科／音楽領域・舞台芸術領域・芸術教養領域
大学院／人間発達学研究科・音楽研究科

名古屋芸術大学 西キャンパス

芸術学部 芸術学科／舞台芸術領域・美術領域・デザイン領域
大学院／美術研究科・デザイン研究科

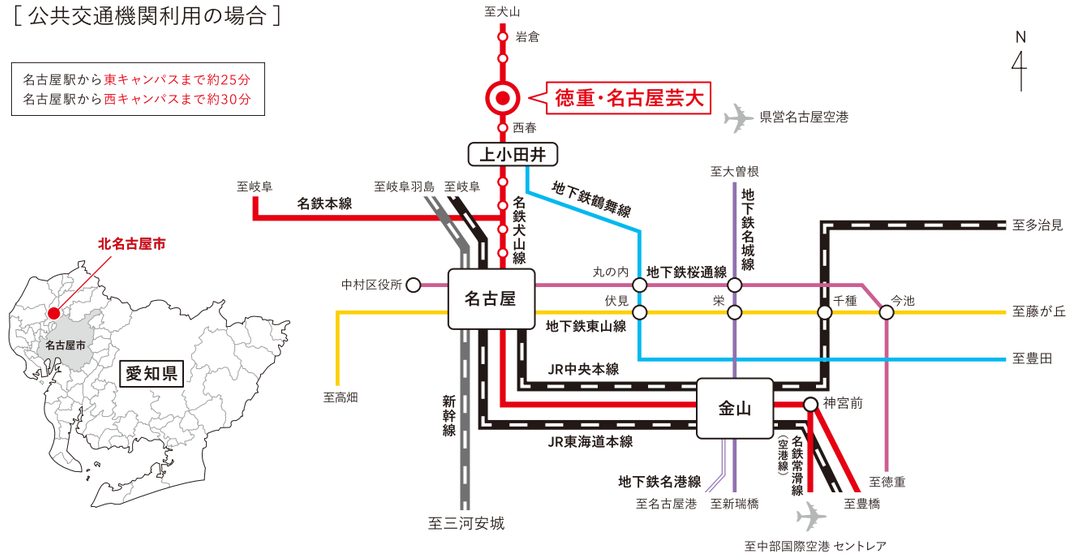
名古屋芸術大学 保育専門学校　名古屋芸術大学 附属クリエ幼稚園　滝子幼稚園

連携校／名古屋音楽学校
1948年に創立され、幼児から成人まで幅広く教育を行い、技能の習熟はもとより、音楽を通して情操の向上、明るさ、豊かさ、ゆとりと和にもとづく音楽の生涯教育を目指す音楽学校。日本で唯一パリ・エコール・ノルマル音楽院と提携する同校を通じた本校学生への留学指導や、公開講座など、双方の教育財産を活用し、地域における音楽文化の向上と発展を推進します。

アクセス

［公共交通機関利用の場合］

名古屋駅から東キャンパスまで約25分
名古屋駅から西キャンパスまで約30分



名鉄名古屋駅	県営名古屋空港
名鉄名古屋本線 普通 約17分	名鉄名古屋本線 急行 約10分
	名鉄バス 名鉄西春駅行 約15分

西春駅
名鉄犬山線 普通 約2分

徳重・名古屋芸大駅
徒歩 約12分 → 本学・西キャンパス
徒歩 約8分 → 本学・東キャンパス

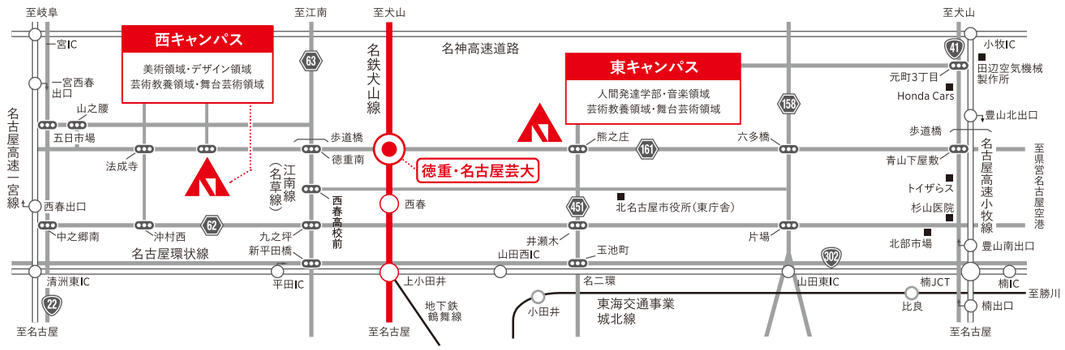
中部国際空港（セントレア）	地下鉄伏見駅
名鉄常滑・空港線 快速特急 約24分	地下鉄鶴舞線 約10分

金山駅	上小田井駅
名鉄名古屋本線 普通 約21分	名鉄犬山線 普通 約4分

徳重・名古屋芸大駅
徒歩 約12分 → 本学・西キャンパス
徒歩 約8分 → 本学・東キャンパス

※「徳重・名古屋芸大駅」は「普通」のみ停車します。快速特急、特急、急行、準急は停車しませんので、ご注意ください。

［自動車利用の場合］



［西キャンパスまで］
- 名古屋高速一宮線 西春出口から約10分、一宮西春出口から約7分
- 名古屋第二環状自動車道（名二環） 平田ICから約15分
- 名神高速道路 一宮ICから約10分

［東キャンパスまで］
- 名古屋高速楠線 楠出口から約15分
- 名古屋第二環状自動車道（名二環） 山田東ICから約15分
- 名神高速道路 小牧ICから約15分

名古屋芸術大学
NAGOYA UNIVERSITY OF THE ARTS

東キャンパス［人間発達学部・音楽領域・芸術教養領域・舞台芸術領域（2021年4月新設）］
〒481-8503 愛知県北名古屋市熊之庄古井281番地　TEL（0568）24-0315　FAX（0568）24-0369
西キャンパス［美術領域・デザイン領域・芸術教養領域・舞台芸術領域（2021年4月新設）］
〒481-8535 愛知県北名古屋市徳重西沼65番地　TEL（0568）24-0325　FAX（0568）24-0326
WEB www.nua.ac.jp

Nagoya University Of The Arts

East Campus
281 Koi Kumanosho, Kitanagoya-shi, Aichi,
481-8503, JAPAN

West Campus
65 Nishinuma Tokushige, Kitanagoya-shi, Aichi,
481-8535, JAPAN

名古屋芸術大学
NAGOYA UNIVERSITY OF THE ARTS